

QuickJack™ ポータブルジャッキ 段取り・操作マニュアル

マニュアル P/N 5900270 — マニュアル改訂版 B3 — 2022 年 5 月

機種 :

- 3500SLX
- 5000TL
- 7000TL
- 6000ELX
- 5000TLX
- 7000TLX

原文は英語です。



オンラインで **QuickJack** の段取りの仕方の動画をご覧ください。

いつでも quickjack.com で、**QuickJack** の段取り・操作マニュアルの最新版をご確認ください。

QuickJack は米国南カリフォルニアの **BendPak Inc.**により設計・開発。製造は中国。



重要な安全上の注意事項です、保存しておいてください！本リフトの組み立て、使用、保守またはお手入れの前に本マニュアルの全内容をお読みになつてください。本マニュアルに記載の手順および安全上の注意事項の順守を怠ると、重大な傷害や死亡事故を招く恐れがあります。他の操作者も全員、必ず本マニュアルを読むようにしてください。いつでも参照できるようマニュアルは本品の近くに保管してください。段取りと操作に進むことで、あなたはあなたが本マニュアルの内容を十分理解していること、および本品の使用において全責任を負うものであること、に同意することになります。

マニュアル : QuickJack™ ポータブルジャッキ、段取り・操作マニュアル、P/N 5900270、マニュアル改訂版 B3、2022 年 5 月。

著作権： © 2022 by BendPak Inc. All Rights Reserved.以下の条件の下に、あなたは本書のコピーを作成できます。即ち、BendPak Inc.に帰属するものであることを完全に表示し、内容に変更を加えることなく、内容に対するいかなる権利も得ることなく、さらに、コピーを商業目的に使用しないこと。

商標： BendPak および BendPak のロゴは、BendPak Inc.の登録商標です。QuickJack および JackPak は、BendPak Inc.の商標です。その他すべての会社、製品、およびサービス名称は、識別目的でのみ使用されています。その他のすべての商標および登録商標は、該当する所有者に帰属します。

限定： 本マニュアルに記載の情報が完全で正確であるよう、最大限の努力が払われています。しかしながら、本マニュアルの発行後に、製品の更新、改訂、または変更が行われている場合もあります。BendPak では、事前または事後に販売された装置に対するいかなる義務も生じさせることなしに、本マニュアル内の情報を変更する権利を留保します。BendPak は本書内の誤字に対する責任を負うものではありません。本マニュアルの最新バージョンは、**QuickJack** の公式サイトから入手可能です。

保証： QuickJack の保証は、お客様へのコミットメント以上のものです。お買い上げいただいた製品の価値に対するコミットメントでもあるのです。保証の詳細および QuickJack 製品のご登録のためには、最寄の QuickJack 販売店に連絡されるか、または quickjack.com/warranty のサイトにアクセスしてください。

安全性： お買い上げいただいた製品は、安全を念頭に設計・製造されたものです。お客様の安全は、適切なトレーニングと慎重な取り扱いにも依存します。本マニュアルおよびユニット上のラベルを読み理解することなしに、ユニットを準備、操作、手入れ、修理などを行わないでください。

オーナーの責任： 本製品を正しく維持され、操作者の安全を確保するために、以下の指示事項を読み、それに従うことは、製品オーナーの責任です。

- 段取り、操作、メンテナンスの手順のすべてに従う。
- 製品の段取りが、州や連邦の労働安全衛生法令や電気規則など、適用される地方自治体、州、連邦の法令、規則、規制に準拠するものであることを確認する。
- その他の政府機関や統一建築基準法 (UBC) または国際建築基準法 (IBC) といった基準により規定される、地域の特別な構造要件または耐震要件に対処するために、資格を有する者または組織に助言を求める。
- 安全上の注意事項はすべて読み、それに従う。操作者がいつでも参照できるようにしておく。
- 操作者は全員適切にトレーニングを受け、本機の安全な操作法を知っており、適切に監督されているようにする。
- すべてのパーツが所定位置にあり、正しく動作することが確かとなるまでは、本品を操作しない。
- 本品を定期的に注意深く点検し、必要とされているすべての保守項目を実行する。
- 本ユニットは認定交換部品によってのみ補修・メンテする。
- 使用要領等は製品とともに永続保存し、またすべてのラベルは汚れがなく視認できる状態に維持する。
- 安全に使用できる場合にのみ、本品を使用するものとする

ユニットの情報： ユニット上のラベルに記載のある機種番号、シリアル番号、製造日を以下に転記しておきます。この情報は、部品や保証関連の問題の際に必要なものです。

機種： _____

シリアル： _____

製造日： _____



目次

はじめに	3	操作	35
発送	5	メンテナンス	48
安全	5	トラブルシューティング	50
構成部品	9	配線図	53
アクセサリ	11	ラベル	55
仕様	12	部品詳細図	58
よくある質問	13	メンテナンス記録	66
段取りチェックリスト	14	ALI ストア	67
段取り	15		

はじめに

本マニュアルは、ユーザーのガレージやコースでの車両のメンテナンス作業を速く容易にする、QuickJack ポータブルジャッキの全機種をカバーしています。QuickJack の機種には以下があります。

- **3500SLX** : 1,588kg (3,500 ポンド) までの車両をリフト、フレーム長さは中程度
- **5000TL** : 2,267kg (5,000 ポンド) までの車両をリフト、フレーム長さは長め
- **7000TL** : 3,175kg (7,000 ポンド) までの車両をリフト、フレーム長さは長め
- **5000TLX** : 2,267kg (5,000 ポンド) までの車両をリフト、フレーム長さは伸長
- **7000TLX** : 3,175kg (7,000 ポンド) までの車両をリフト、フレーム長さは伸長
- **6000ELX** : 2,721kg (6,000 ポンド) までの車両をリフト、フレーム長さは極長

本マニュアルは、QuickJack のユーザーが、段取り、操作、保守、修理する人を含め、全員必読しなければならないものです。いつでも **QuickJack** のウェブサイトにおいて、本マニュアルの最新版をご覧ください。

△ 危険 本ユニットを段取り、操作、または修理する際は、十分に注意を払いながら行ってください。そうすることを怠ると、物的損害や製品の損傷、怪我、または（非常に希ではありますが）死亡事故につながる可能性があります。必ず許可された者のみが本ユニットを操作するようにしてください。すべての修理作業は、認定技術者によって実施される必要があります。本ユニットに改変を加えないでください。改変は保証を無効にし、怪我や物的損害の可能性を高めます。本ユニットに貼られているラベル上の注意書きを必ず読み、従うようにしてください。

QuickJack を使用するまたは補修サービスを行う者は誰でも読むことができるよう、本マニュアルを QuickJack の上または傍らに置いておきます。

技術サポートが必要な場合は、quickjack.com/support にアクセス、または support@quickjack.com 宛にて技術サポートまでメールでお問い合わせください。また、パーツもご用意いただけます（その際には、お手持ちのユニットのシリアルおよび機種のナンバーをお示ください）。



重要！ お読みください

QuickJack フレームは車両を載せた状態でのみ上昇させること！

QuickJack は車両の荷重がかかった状態で使用するよう設計・開発されています。QuickJack のフレームは車両の荷重がかかった状態でのみ上昇させるべきであり、これは初回使用時であってもです（唯一の例外は油圧シリンダーのエア抜き操作時）。単純に言って、車両を載せていない限り、QuickJack フレームを上昇させる理由はありません。

なぜこのようにすることをあえて申し上げるかといいますと。QuickJack フレームを車両の荷重なしに上昇させた場合、時には途中で動かなくなることがあるからです。そうなった場合にもフレームに問題があるわけではなく、素早く簡単に修正できます。ただ単にフレームは、車両の荷重のかかった状態で働くよう設計・開発されているということです。**QuickJack フレームは車両を載せた状態でのみ上昇させること。**

この機会にもう一点注意事項を...

車のタイヤを外しておいて **QuickJack** を床面まで下ろすようなことはしないでください。QuickJack は、車を押し上げるに十分な力を生み出すために、地面と車の間にいくぶんかのスペースを必要とします。完全に平らになった開始位置から全負荷を押し上げることはできません。



このよう
なことは
しないで
ください！

これは通常の作業では問題になりません。即ち、持ち上げたい車はタイヤによって地表から十分に上
に保持されているからです。普通問題が生ずるのは、車のタイヤが取り外されている状態で、
QuickJack を完全に平らな位置まで下げる場合です。

このような問題のいずれかが起きてしまった場合、どうすればよいでしょうか？「[トラブルシューティング](#)」を参照してください。

発送

お買い上げの QuickJack は出荷前に注意深くチェックされています。それでもなお、受け取り確認のサインをされる前に、納入品をしっかりと点検するようにしてください。

貨物受取証にサインをされると、それは、送り状に記載の品目を良好な状態で受領した、と運送業者に対し告げることになります。ご自分の保護のため、納品された品の点検を終えるまでは、貨物受取証にサインしないでください。記載されている品目のうちのいずれかが欠落しているまたは損傷している場合には、運送業者が欠落または損傷している品目を貨物受取証にメモするまでは、納品を受け入れないでください。

納入品を受け取り、貨物受取証にサインをされた後で、欠落または損傷している品目を発見された場合は、直ちに運送業者に通知し、運送業者による検査を要請してください。運送業者が検査を実施しない場合、あなたが運送業者に（特定の日付で）通知したこと、そして運送業者があなたの要請に応じなかった旨を記述した、署名入りの申立書をご用意ください。

サインした貨物受取証を運送業者に手渡した後で、欠品や損傷品の代償金を回収することは、難しいものです。そのような事態が生じた場合には、運送業者に対し速やかに苦情を申し立ててください。苦情には、可能な限り、貨物受取証、運賃請求書、送り状などのコピー、そして写真を添えるようにしてください。お客様の苦情申し立ての処理に対し弊社がお力になりたいとは思いますが、そのことが、欠品・損傷品の代金回収または交換についての責任を弊社に負わずものではありません。

安全

QuickJack の安全な設置に関する詳細情報については、ANSI/ALI ALIS: (R2015) Standard for Automotive Lifts – Safety Requirements for Installation and Service (ANSI/ALI ALIS (R2015) 自動車用リフト規格 – 設置とサービスに関する安全上の要件) を参照してください。

重要 先に進まれる前に、お手持ちの QuickJack 用マニュアルが最新のものであるか、**QuickJack** のウェブサイトにて確認されることをお勧めします。

△ 警告 カリフォルニア州住民投票条例 **65** : 本品は、がん、出生異常または生殖障害を引き起こすものとカリフォルニア州によって特定された 900 以上の化学物質のリストに含まれている、スチレンと塩化ビニルを含む化学物質にユーザーをさらす可能性があります。本品は常に BendPak 社の示す使用要領に従ってご使用ください。詳細については www.p65warnings.ca.gov のサイトをお訪ねください。

安全上の注意事項

本ガレージ機器を使用する際には、常に以下を含めた基本的安全上の注意事項を守る必要があります。

1. 使用説明をすべて読む。
2. 熱くなっているパーツ部分には触れないこと。火傷を負う可能性あり。機器の使用には常に注意する。
3. コードが傷んでいる場合、機器が落下したり損傷したりしている場合には、資格あるサービス担当者の検査を受けるまでは、機器を使用しないこと。
4. コードが作業台やベンチ、カウンターの端から垂れ下がっているような状態にしたり、熱したマニホールドや回転しているファンの羽根に触れたりしないようにする。
5. 延長コードを使用する必要がある場合、使用するコードの定格電流値は機器のそれと同等またはそれ以上であること。機器の定格電流より低いコードでは過熱する可能性あり。コードにつまずいたり、コードが引き抜かれたりしないよう、コードの取り回しに配慮すること。

6. 機器を使用していないときはいつも電源コンセントからコードを抜いておく。コンセントからプラグ抜く際にコード部分を引っ張るようなことはしない。プラグ部を掴んで引き抜くこと。
7. 機器は完全に冷却させてから片付けること。保管時には、コードを機器に緩く巻き付けておく。
8. 火災リスクを低減するため、口の開いた可燃性液体（ガソリンなど）容器の近くで本機器を使用しないこと。
9. 内燃機関エンジンを運転状態で作業する場合には、適切な換気を確保する必要がある。
10. 頭髪や衣服のゆったりした部分、指やその他の身体部分を可動部から遠ざけておくこと。
11. 感電のリスクを減らすために、濡れた床面での使用や雨にさらしたりはしないこと。
12. 本マニュアルに記載されている方法でのみ使用する。メーカーの推奨している付属品ののみを使用する。
13. 常に安全メガネを着用する。普段使用のメガネには耐衝撃性のレンズが使われているだけで、安全メガネではない。
14. 傷害のリスクを減らすため、本品を子どもの居る環境で使用する場合には、厳重な監視が必要となる。
15. 傷害のリスクを減らすため、引き出しや棚に入れすぎないこと。積載手順を参照。
16. 感電や火災のリスクを低減するため、レセプタクルを絶対に過負荷状態にしないこと。レセプタクルに対する適切な負荷についてはラベルを参照のこと。

これら注意事項は保存しておいてください！

QuickJack の安全に関する情報

次の各事項に留意してください。

- 本品は車用のポータブルジャッキです。その意図された目的にのみ使用してください。
- QuickJack の組み立て、使用、保守またはお手入れをされる前に本マニュアルを通読してください。
- 本品は許可された要員によってのみ操作されるようにしてください。
- 本品に対しどのような改変も加えないでください。
- **QuickJack** は屋内での設置・使用専用で認証されているものです。屋外設置は禁止です。とは言え、QuickJack はポータブルなので、屋外に持ち出すようなことになった場合には、風雨から保護すること（例えば、土埃や雨、みぞれ、雪などから）をお忘れなく。
- 本ジャッキの定格容量を絶対に超過しないようにしてください。
- 操作者は全員が、必ずこの段取り・操作マニュアルを読み・理解するようにしてください。常に本マニュアルを本機の近くに置いておきます。
- 疲労時や薬剤・アルコールなどの影響下にあるときに、本品を使用しないでください。
- 使用する前には毎回本品を目視点検してください。損傷や部品の欠損がないかチェックします。こうした問題のいずれかが認められる場合には本品を使用しないでください。使用を停止し、quickjack.com/support 経由でまたは support@quickjack.com 宛にて QuickJack にご連絡ください。
- 少なくとも年に 1 回は徹底した点検を実施してください。損傷したまたはひどく摩耗した電気ケーブル、油圧ホース、ステッカーもしくは警告ラベルは交換します。損傷または摩耗した部品を交換するまでは、本品を使用しないでください。
- QuickJack の設置、使用、保守、または修理時には常に OSHA 資料 3151 認定の個人用保護具を着用する必要があります。即ち、革手袋、つま先部鋼製先しん入り作業靴、バックサポートベルト、聴覚保護具などです。
- 本品で作業する間、装身具は取り外しておいてください。垂れ下がっている装身具が可動部に引っかかってしまう可能性があります。また金属製の装身具は電気を伝導することになります。だぶついた衣類は避けてください。

- 油圧シリンダーや油圧ホースを取り扱う場合には、手袋を着用してください。まれではありますが、作動油の流れが針状に（低圧である場合であっても）、ヒトの手指や腕に突き通ることがあります。そのような刺し傷は、噛まれた、または感電、あるいはチクリと刺されたような感じがする可能性があります。たいした問題ではないように見えるかも知れませんが、いかなる量であろうと作動油がヒトの体内に注入されたということは重大な問題です。そのような事故が発生した場合には、直ちに病院の緊急治療室におもむき、傷害の程度を診断してもらう必要があります。どのような種類の作動油であるかを含め、事故の状況を担当医師に説明してください。作動油によって生じた可能性のある刺し傷を、たいしたことではないと思いつままないでください。命に関わる場合もあり得ます。
- 床面は、乾いており、平らで、500 PSI (3,447 キロパスカル) の最小圧縮強度を有している必要があります。車両の重量によってリフトが床面に食い込んだり、面にひびが入ったりするようであってはなりません。
- 延長コードの使用は避けてください。過熱します。延長コードの使用が避けられない場合には、最小でも No. 14 AWG (米国ワイヤー・ゲージ規格) / 2. 5mm² のものを使用してください。
- 電気ケーブルや油圧ホースの位置を確認するようにしてください。その上を車で乗り越えたり、足で踏んづけたりしないようにします。
- 車がジャッキから落ちそうになったら、周りから離れてください。
- 上昇させた車に近寄る前に両方のロックバーが所定位置に収まっていることを確認します。
- 二重の安全予防措置として、常に両方の QuickJack フレーム上で上昇させた車の下に補助安全スタンドを配置する必要があります。

図記号

以下は本マニュアルで使用されている図記号です。

- ⚠ 危険 死亡または重度の傷害をもたらすことになる、差し迫った危険に対する注意を促します。
- ⚠ 警告 死亡または重度の人身傷害をもたらすことになり得る、危険または安全ではないやり方に対する注意を促します。
- ⚠ 注意 軽度の人身傷害、製品または物的損害をもたらすことになり得る、危険または安全ではないやり方に対する注意を促します。



ヒント

QuickJack をより有効に使用するために役立つ情報に対する注意を促します。

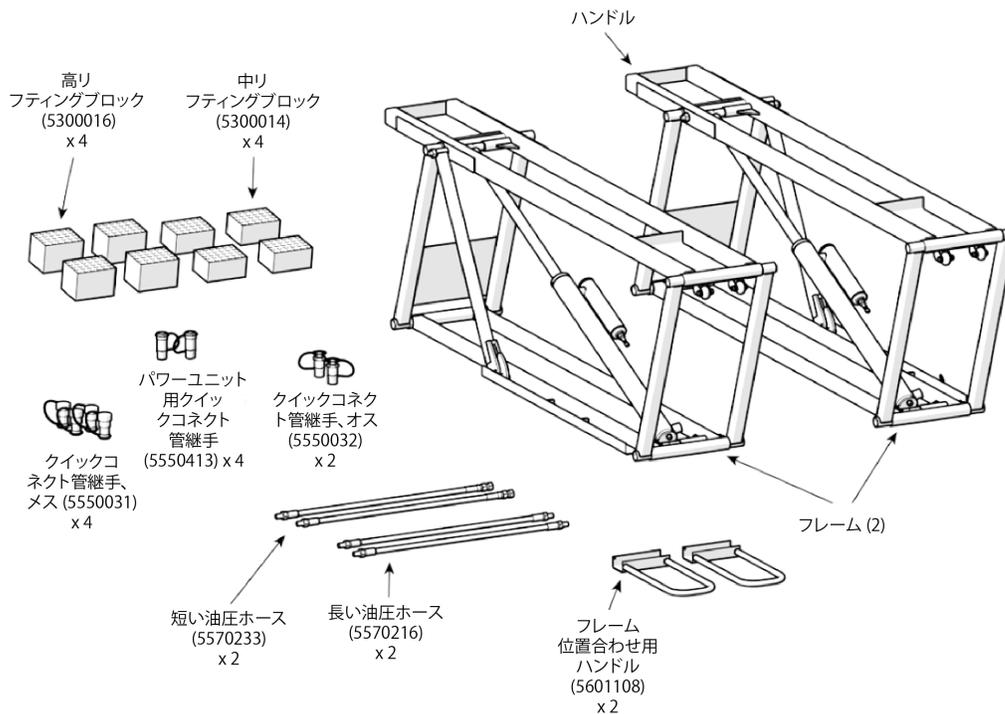
責任に関する情報

BendPak では以下に起因する損害に対する責任は負いかねます。

- 本マニュアルに説明されている以外の目的での本装置の使用
- BendPak よりの書面による事前の承認なしでの本装置の改造
- 安全機能の改変・無効化・オーバーライド・除去したことによる傷害や死亡事故
- 外部要因による本装置の損傷
- 本装置の誤った操作

構成部品

次のイラストで QuickJack の主な構成部品を示します。



すべての構成部品が表示されているわけではありません。縮尺どおりに描かれているわけではありません。

QuickJack の構成部品には以下があります。

- **QuickJack** フレーム、**2** 基。フレームは 2 基一組で動作し、車両を上げたり下げたりします。
2 基のフレームは互いに置き換え可能ではありません。フレームを配置する際、後述のロックバーが外側に来るようにする必要があります。
- ゴム製リフトブロック、**8** 個。4 個は高さ低 (5cm=2 インチ)、4 個は高さ高 (7.6cm=3 インチ)。リフトブロックはレシーバートレイ内で異なる位置に配置することにより、様々な車種に合わせメーカー推奨のジャッキポイントに当てることができます。常にリフトブロックを使用すること。QuickJack フレームだけで車を上げないでください。

注： 低いブロック 1 個と高いブロック 1 個を積み重ねて使用できますが、それ以上はだめです。

モノコックボディ/ピンチ溶接フレームの車両の場合、QuickJack では [QuickJack のウェブサイトから入手可能なオプションのピンチ溶接用ブロック](#) を注文されることを推奨しています。SUV またはトラックの場合は、SUV・小型トラック用アダプターがあり、それもまた QuickJack のウェブサイトから入手可能です。

地上高の非常に低い車両を上げる場合には、低床車用リフトブロックが [アクセサリ](#) としてあります。

- パワーユニット、**1** 台 (ペンダント型制御器付き)。表示無し。QuickJack フレームに電力を供給します。5 種のパワーユニットがあります。交流 110V、交流 220~240V、CE 認証交流 220 V、直流 12V、および CE 認証直流 12V です。
- パーツ収納袋。段取り時に使用する構成部品の収納用です。油圧管継手が含まれています。
- パワーユニット用クイックコネクタ管継手、**2** 個。一端に長い油圧ホースを接続し、他端にパワーユニットの油圧ポートを接続します。

- クイックコネクト管継手、オス、**2** 個。一端に短い油圧ホースを接続し、他端に長い油圧ホースを接続します。
- クイックコネクト管継手、メス、**4** 個。長い油圧ホースの各端部に取り付けます。長い油圧ホース 1 本ごとに 2 個使用します。
- 短い油圧ホース、**2** 本。一端を各フレームの油圧シリンダーに接続し、他の端を長い油圧ホースの 1 本に接続します。短い油圧ホースは必ずフレームの下側に取り回し、絶対にフレームの上側に取り回さないよう注意してください。
- 長い油圧ホース、**2** 本。一端をパワーユニットに接続し、他の端を短い油圧ホースの 1 本に接続します。



ヒント

QuickJack の構成部品を移動したい場合：長い油圧ホースをパワーユニット側か短い油圧ホース側のいずれかで外します。すべての構成部品が接続された状態で QuickJack を動かそうとするよりも、この方が簡単です。

- フレーム位置合わせ用ハンドル、**2** 本。通常は QuickJack を車のメーカー推奨ジャッキポイントの下に位置合わせするのが楽になるよう使用します。
- ロックバー。2 本のロックバー、各 QuickJack フレームごとに 1 本あり、フレームを上昇位置で保持します。

QuickJack から離れる場合は、完全に下げた状態か、ロック位置でロックのかかった状態にしてください。

- 油圧シリンダーとエアシリンダー。各 QuickJack フレームには、油圧シリンダー 1 本とエアシリンダー 1 本が付いています。油圧シリンダーは、パワーユニットから作動油の供給を受け、フレームを上げ下げします。エアシリンダーはエアスプリングとして機能し、フレームが下がる際に力を貸します。
- キャスター。各 QuickJack フレームのステッカーのない側の端部に 2 個のキャスターが付いており、フレームを容易に他の位置に移動できます。床面によっては、キャスターおよびフレームの重さによって跡が付く場合もありますので、気をつけてお使いください。
- ハンドル。各 QuickJack フレームのステッカーのある側の端部は、フレームを移動する際にハンドルとして使用できるようになっています。ハンドルを利用してフレームを持ち上げる際には、片手で大判の黄色のステッカーの下側にてフレームを床面から軽く持ち上げておいて、もう一方の手でハンドルを掴み、続けてフレームを持ち上げます。



警告

フレームを下に置く際には十分注意して、指を挟まないようにしてください。

アクセサリ

以下のアクセサリは、ALI 認定品ではないことにご留意ください。

クロスビーム・アダプター

クロスビーム・アダプターにより、一様でないフレーム/ジャッキポイントのジャッキポイントにも対応可能となります。

クロスビーム・アダプターの構成部品は、クロスビーム 1 本、クロスビーム・リフトパッド 2 個、クロスビーム・ベース 2 個、丸形リフトパッドとベース・アダプター 2 組です。さらなる詳細については、[QuickJack ウェブサイトのアクセサリのページ](#)をご覧ください。

SUV および小型トラック用アダプターキット

オプションの SUV および小型トラック用アダプターキットは、5000TL/TLX と 7000TL/TLX 両機種において、レシーバートレイ内に配置する、積み重ね可能なリフトブロックを提供することで、QuickJack の使用可能範囲を広げます。

アダプターキットに含まれているもの：低い高さの丸形コンタクトパッド 4 個、コンタクトパッドとエクステンダーを受けるベース 4 個、3 インチ (7.6 cm) エクステンダー 4 個。さらなる詳細については、[QuickJack ウェブサイトのアクセサリのページ](#)をご覧ください。

フレーム伸張キット

フレーム伸張キットは **5000TL** と **7000TL** 両機種において、ジャッキポイントの間隔を 6 インチ (15cm) 拡張して、ジャッキポイントの総間隔を 66 インチ (168 cm) まで広げる QuickJack フレーム用の対のエクステンダーです。何らの段取りも必要とせず、QuickJack にきっちりとはまり、その着脱は簡単です。さらなる詳細については、[QuickJack ウェブサイトのアクセサリのページ](#)をご覧ください。

オートバイ用リフトアダプターキット

QuickJack オートバイ用リフトアダプターキットを使用することで、QuickJack フレーム上にプラットフォームを追加することになり、オートバイ用リフトに変換できます。この製品は CE 認証品ではありません。

アダプターキットに含まれているもの：トレッドプレート 1 枚、ヘビーデューティー・タイダウン・リング、支持軸 1 本、トレッドラバーパッド付き大型クランプ 1 個、ホイール固定用の使いやすいクランク 1 個。さらなる詳細については、[QuickJack ウェブサイトのアクセサリのページ](#)をご覧ください。

レンジャーRML-1100オートバイ用ジャッキ

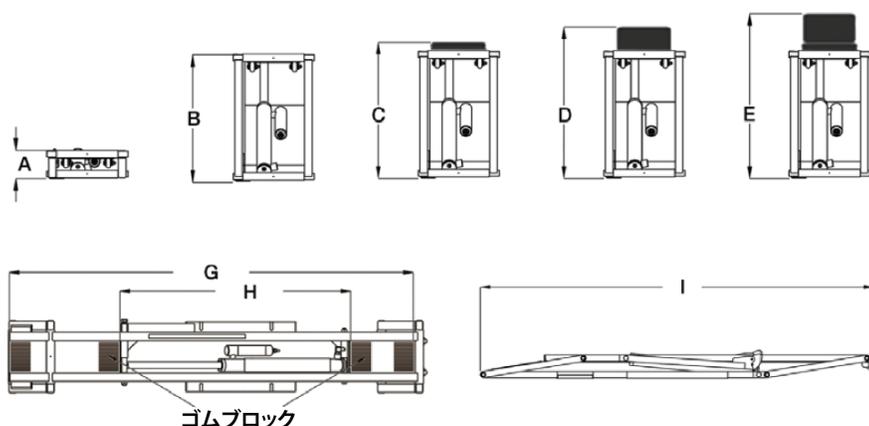
レンジャーRML-1100 オートバイ用ジャッキは、最大 499 kg (1,100 ポンド) までのオートバイや ATV の整備作業に理想的です。

これは QuickJack オートバイ用リフトアダプターキットに最適なアクセサリです。この製品は CE 認証品ではありません。さらなる詳細については、[QuickJack ウェブサイトのアクセサリのページ](#)をご覧ください。

JackPak

携帯型の JackPak により、各 QuickJack フレームのエアシリンダーにエアを追加できます。路上での故障時や緊急時に役立つ追加機能も備わっています。詳細については jackpak.com をご覧ください。

仕様



仕様は予告なしに変更することがあります。

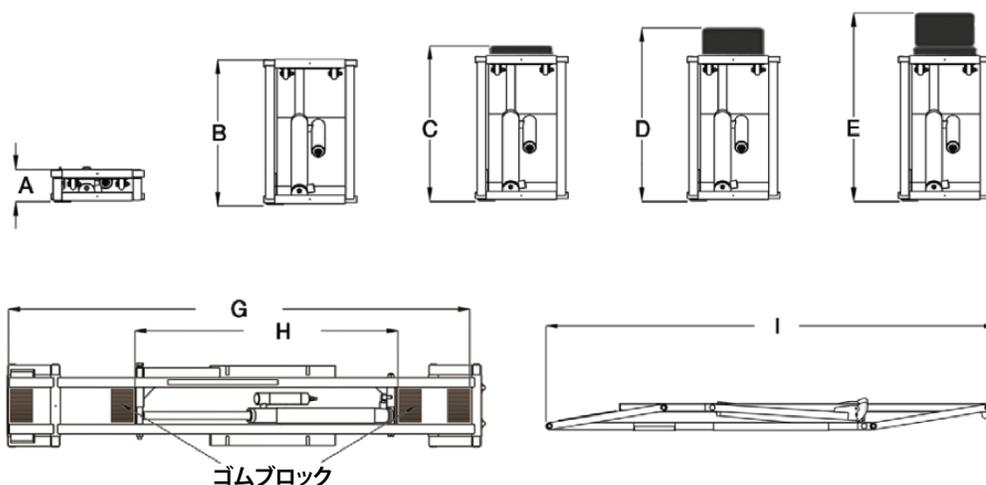
機種	3500SLX	5000TL	7000TL
能力	1,588 kg (3,500 ポンド)	2,268 kg (5,000 ポンド)	3,175 kg (7,000 ポンド)
A 畳まれた状態の高さ (フレームのみ)	76 mm (3 インチ)	76 mm (3 インチ)	89 mm (3.5 インチ)
B 高さ、フレームのみ *	404 mm (16 インチ)	512 mm (20.25 インチ)	527 mm (20.75 インチ)
C 高さ、低ブロック使用	431 mm (17 インチ)	520 mm (20.5 インチ)	533 mm (21 インチ)
D 高さ、高ブロック使用	457 mm (18 インチ)	546 mm (21.5 インチ)	552 mm (21.75 インチ)
E 高さ、ブロック重ね置き	533 mm (21 インチ)	610 mm (24 インチ)	622 mm (24.5 インチ)
F フレーム幅	267 mm (10.5 インチ)	279 mm (11 インチ)	318 mm (12.5 インチ)
G 最大ジャッキポイント間隔	1,283 mm (50.5 インチ)	1,524 mm (60 インチ)	1,524 mm (60 インチ)
H 最小ジャッキポイント間隔	686 mm (27 インチ)	940 mm (37 インチ)	940 mm (37 インチ)
I フレーム長	1,588 mm (62.5 インチ)	1,778 mm (70 インチ)	1,797 mm (70.75 インチ)
個別フレーム重量	27 kg (60 ポンド)	35 kg (78 ポンド)	45 kg (98 ポンド)
パワーユニット重量 (作動油 含まず)	23 kg (50 ポンド)	23 kg (50 ポンド)	23 kg (50 ポンド)
パワーユニットの圧力リリーフ バルブ設定	16,500 キロパスカル (2,400psi)	16,500 キロパスカル (2,400psi)	16,500 キロパスカル (2,400psi)
最大使用圧力	14,400 キロパスカル (2,100psi)	14,400 キロパスカル (2,100psi)	14,400 キロパスカル (2,100psi)
ノイズ (昇降時)	<70 dBA	<70 dBA	<70 dBA
最大許容風速	<96.5 キロメートル/時 (<60 マイル/時)	<96.5 キロメートル/時 (<60 マイル/時)	<96.5 キロメートル/時 (<60 マイル/時)

電源要件については「[パワーユニットを電源に接続する](#)」の項を参照してください。

*あくまで参考用です。リフトブロックなしで車両を上げないでください。

高さの数値は、装置が最大上昇状態での測定かまたは最高ロック位置での測定かで、7 mm (0.25 インチ) ほど違いがあります。

また、測定値は装置上の積載荷重、荷重配分、製造許容差などによって、最大3%の差異が出る場合があります。



仕様は予告なしに変更することがあります。

機種	6000ELX	5000TLX	7000TLX
1 対のフレームの持ち上げ能力	2,722kg (6,000 ポンド)	2,268kg (5,000 ポンド)	3,175kg (7,000 ポンド)
A 畳まれた状態の高さ (フレームのみ)	89 mm (3.5 インチ)	76 mm (3 インチ)	89 mm (3.5 インチ)
B 高さ、フレームのみ *	527 mm (20.75 インチ)	512 mm (20.25 インチ)	527 mm (20.75 インチ)
C 高さ、低ブロック使用	533 mm (21 インチ)	520 mm (20.5 インチ)	533 mm (21 インチ)
D 高さ、高ブロック使用	552 mm (21.75 インチ)	546 mm (21.5 インチ)	552 mm (21.75 インチ)
E 高さ、ブロック重ね置き	622 mm (24.5 インチ)	610 mm (24 インチ)	622 mm (24.5 インチ)
F フレーム幅	318 mm (12.5 インチ)	279 mm (11 インチ)	318 mm (12.5 インチ)
G 最大ジャッキポイント間隔	1,930 mm (76 インチ)	1,676 mm (66 インチ)	1,676 mm (66 インチ)
H 最小ジャッキポイント間隔	1,346 mm (53 インチ)	1,092 mm (43 インチ)	1,092 mm (43 インチ)
I フレーム長	2,203 mm (86.75 インチ)	1,930 mm (76 インチ)	1,930 mm (76 インチ)
個別フレーム重量	51 kg (112 ポンド)	37 kg (81.5 ポンド)	47 kg (103 ポンド)
パワーユニット重量	23 kg (50 ポンド)	23 kg (50 ポンド)	23 kg (50 ポンド)
パワーユニットの圧力リリーフ バルブ設定	16,500 キロパスカル (2,400psi)	16,500 キロパスカル (2,400psi)	16,500 キロパスカル (2,400psi)
最大使用圧力	14,400 キロパスカル (2,100psi)	14,400 キロパスカル (2,100psi)	14,400 キロパスカル (2,100psi)
ノイズ (昇降時)	<70 dBA	<70 dBA	<70 dBA
最大許容風速	<96.5 キロメートル/時 (<60 マイル/時)	<96.5 キロメートル/時 (<60 マイル/時)	<96.5 キロメートル/時 (<60 マイル/時)

電源要件については「[パワーユニットを電源に接続する](#)」の項を参照してください。

* あくまで参考用です。リフトブロックなしで車両を上げないでください。

高さの数値は、装置が最大上昇状態での測定かまたは最高ロック位置での測定かで、7 mm (0.25 インチ) ほど違いがあります。

また、測定値は装置上の積載荷重、荷重配分、製造許容差などによって、最大 3% の差異が出る場合があります。

よくある質問

質問：QuickJack で、どんな種類の車を持ち上げることができるのか？

回答：種類は広範です。主な判断基準は2点あり、一つは対象車両の重量がお使いの QuickJack の耐荷重能力内であるか、2点目は、QuickJack のリフトブロックが車両のメーカー推奨ジャッキポイントに当たるかどうかです。どちらの答えも「イエス」であるならば、ほとんどの車で答えは「イエス」ですが、その車を持ち上げることができます。

質問：私の QuickJack の耐荷重能力をわずか超えるような車を持ち上げたいとしたら？

回答：これは本製品の意図した用途ではありません。お使いの QuickJack の定格荷重よりも重い車を持ち上げようとされることに対しては、そうされないことを強くお勧めします。

質問：QuickJack フレームには左右に配置の区別があるか？

回答：はいあります。各 QuickJack フレームのロックバーがそれぞれ外側に来るように、またステッカーの付いている端を後方に向けてフレームを並べてください。

質問：QuickJack は屋外でも使用できるか？

回答：いいえできません。QuickJack は屋内での設置・使用専用で認証されています。屋外設置は禁止です。とは言え、QuickJack はポータブルなので、屋外に持ち出すようなことになった場合には、風雨から保護すること（例えば、土埃や雨、みぞれ、雪などから）をお忘れなく。

質問：QuickJack フレーム上に運転して乗り入れできるか？

回答：車両は QuickJack フレームの上に乗せられます（まさにそれは正常な使用です）が、車を QuickJack フレームや油圧ホースの上に乗り入れてはなりません。損傷させることになります。

質問：車を QuickJack で持ち上げておいて、ロック位置にしておかなかったらどうなるのか？

回答：第一に、そのようなことはしないでください。安全上の問題です。第二に、QuickJack がロック位置にないため、車の重量によりいつかは全体が地面に降りてきてしまいます。常に次のルールを守ってください。車を持ち上げたら、ロック位置に入れるか、それとも地面まで下げ戻すこと。

質問：どれほどの間、車を QuickJack 上に持ち上げた状態で置いておけるか？

回答：ロック位置に入れてある場合なら、お望みの間そのまま大丈夫です。ロック位置に入れられた QuickJack は、重力によりその位置に保持されます。電源が失われたり作動油が漏れ出たりしても、QuickJack が下降するようなことにはなりません。

質問：私の QuickJack について、他に私が知っておくべきことはあるか？

回答：2つあります。まず、車を載せていない状態で **QuickJack** フレームを最大上昇位置まで上げないこと。QuickJack フレームは車の重量を支えるよう設計されており、荷重がかかっていない状態では最大高さ位置で動かなくなってしまうことがあります。常に QuickJack フレームは車両を載せた状態で上昇させてください。2番目に、無負荷での立ち上がりの余地がない位置から車を持ち上げようとしないこと（例えば、車のタイヤを外した状態で QuickJack フレームを床面まで下げてしまった場合）。QuickJack は、車を押し上げるに十分な力を生み出すために、いくぶんかのスペースを必要とします。

段取りチェックリスト

以下は QuickJack を設置するために必要な手順です。示されている順に実行してください。

- 1. 段取りの安全上のルールに目を通す。
- 2. 必要な工具がそろっていることを確認する。
- 3. 段取りする場所を選択する。
- 4. QuickJack 本体に付属の構成部品を梱包から取り出す。
- 5. 周囲および頭上に十分な空間のあることを確認する。
- 6. エアシリンダーおよび油圧シリンダーを取り出し点検する。
- 7. 油圧エルボー継手を取り付ける。
- 8. 短い油圧ホースを準備する。
- 9. スレッドシーラントについて読む。
- 10. クイックコネクト管継手を理解する。
- 11. 長い油圧ホースを準備し、接続する。
- 12. エアシリンダーを加圧する。
- 13. パワーユニットの配置場所を見極める。
- 14. 油圧管継手をパワーユニットに取り付ける。
- 15. パワーユニットを電源に接続する。
- 16. タンクに作動油を充填する。
- 17. ブリーザーバルブを確認する。
- 18. 油圧ホースを接続する。
- 19. 油圧シリンダーのエア抜きを行う。
- 20. 最終チェックリストに目を通す。
- 21. QuickJack をテストする。
- 22. マニュアルをオーナー／オペレーターのために置いておく。

段取り

このセクションでは QuickJack の段取りをする方法を説明します。

⚠ 警告 **QuickJack** に付属の工場出荷済みのパーツのみを使用してください。機器のロードパスや運転に影響を与える添付、アクセサリ、構成変更コンポーネントを使用する場合、リフトの電気リストに影響を与える、または対象の車両の宿泊施設に影響を与える場合、その製品がこのリフトでの使用が認定されていない場合は、**QuickJack** の保証を無効にし、リフトを設定または使用するすべての人の安全性を損ないます。部品の欠品がある場合は、quickjack.com/support にアクセスするか、support@quickjack.com 宛にて QuickJack の技術サポートにメールで連絡、または、**(888) 262-3880** 番もしくは **(805) 933-9970** 番まで電話連絡してください。

お買い上げいただいた QuickJack には、米国規格「自動車用リフト - 構造、試験、および検証に関する安全要件」ANSI/ALI ALCTV の最新版に規定されている基準に適合する段取り説明書が添付されています。

段取りの安全ルール

QuickJack の段取りをする際、あなたの安全は適切なトレーニングとじっくり考えられた操作に依存します。

⚠ 警告 重量物を移動する場合には、常にフォークリフトやクレーンなどの適切なツールを使用します。本マニュアルおよびユニットに付いているラベルを読み理解されることなしで、本装置の設置を行ってはなりません。

BendPak 社では、お買い上げいただいた QuickJack の安全な段取り、使用、保守に関する詳細について、ANSI/ALI ALIS 規格 (R2015) : *設置とサービスに関する安全上の要件を参照されることをお勧めしています。*

段取り作業中は常に注意を払うこと。適切な工具と機器を使用します。可動部から距離をおいておきます。ピンチポイントに手指を近づけないようにします。

⚠ 警告 段取り作業中は常に防護具を着用する必要があります。即ち、革手袋、つま先部鋼製先しん入り作業靴、バックサポートベルト、聴覚保護具などです。

工具

QuickJack の段取りには次に示す工具が必要です。

- メートル法六角レンチセット
- メートル法ソケット・ラチェットレンチセット
- メートル法レンチセットまたはモンキーレンチ
- ドライバーセット



ヒント 段取り作業時にはウエスを常に用意しておきます。時に作動油の漏れがあつたりします。

段取り作業の一環として、圧縮エア（エアシリンダーに 50psi を）および 2 リッター（2.1 クォート）の作動油を入れる必要があります。

場所の選択

QuickJack を使用する場所を選ぶ場合には以下の事項を考慮してください。

- 十分な空間。 QuickJack と対象とする複数の車のために十分な空間を確保してください。
- 長手方向へのシフト。車を載せた状態で QuickJack を上昇させる際、フレームの形状により、QuickJack のステッカーの付いている端側に多少傾いた角度で、車体を持ち上げます。「開梱」の項のイラストを参照してください。半径方向シフトは常に QuickJack のステッカーの付いている端側へであって、車がどちらの方向を向いていようと変わるものではありません。

半径方向シフトは、QuickJack の機種により異なりますが、28~38 cm (11~15 インチ) の範囲内です。

QuickJack を設置・使用する場所を選ぶ場合には、必ずこの半径方向シフトを考慮に入れてください。

- 頭上に障害となるものがないこと。ヒーターや建屋の支承、電線、低く吊り下げられた照明具、その他障害となる物が頭上にない場所を確保してください。QuickJack で持ち上げられた車両の最上部から上方に少なくとも 91cm (3 フィート) の空きをお勧めします。
- 水平な床面。床を点検し、コンクリートやアスファルト面に損傷がないかをチェックします。床面が乾いており、平らで、3,447 キロパスカル (500psi) の最小圧縮強さがあることを確認してください。
- 適切な位置に電源があること。パワーユニットのために電源が必要です。交流 110V または 220V 電源を使用する場合、コードが十分電源に届くだけ近くにパワーユニットを配置する必要があります。

直流 12V 電源を使用する場合は、お使いの接続手段で十分電源に届くだけ近くにパワーユニットを配置する必要があります。例えば、直流 12V パワーユニットを車のバッテリーで駆動する場合は、パワーユニットは車のバッテリーにつないだブースターケーブルの届く範囲内に置く必要があります。

⚠ 警告

3 度以上の傾斜のある床面で QuickJack を設置したり使用したりしないでください。持ち上げた車が QuickJack から滑り落ちて、傷害事故や死亡事故につながりかねません。傾斜が大きいほど、それだけ車が不安定となり QuickJack から落ちる可能性が大となって、車が損傷し、付近に居た人が傷害を受けることとなります。

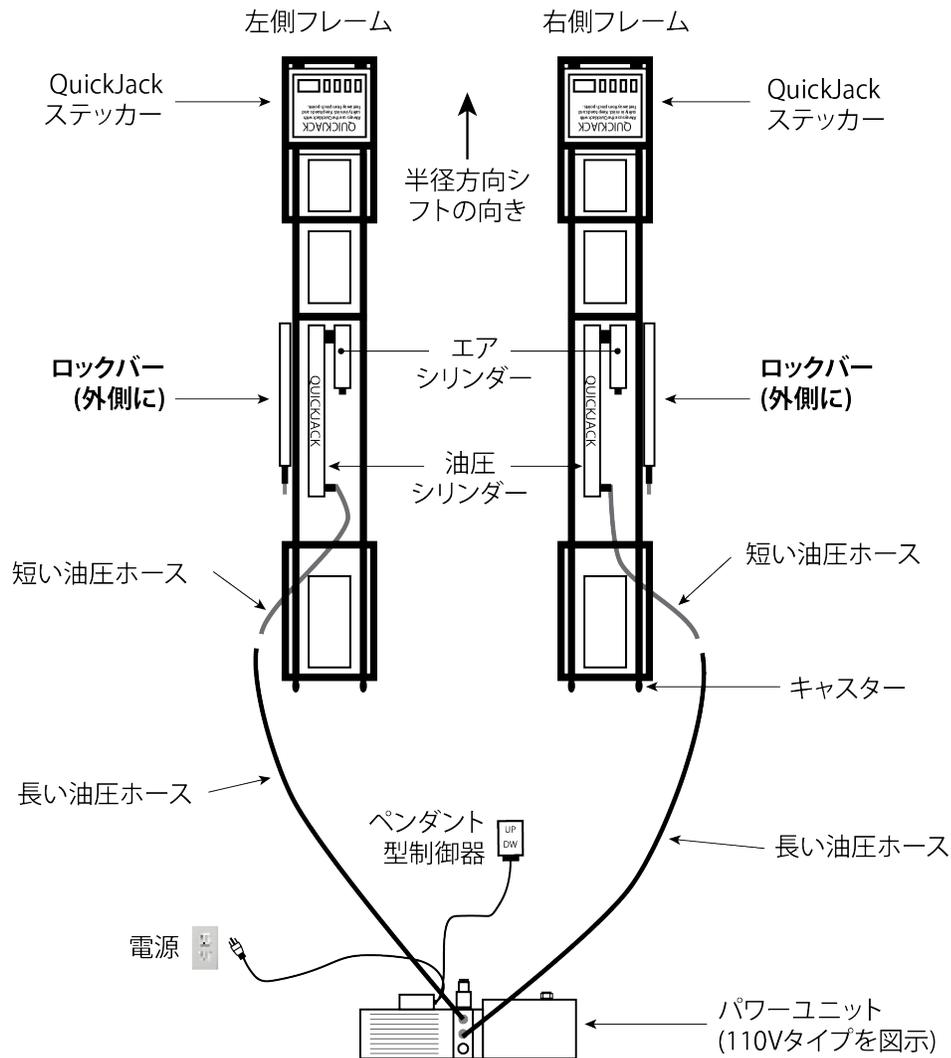
開梱

梱包を解き、QuickJack の構成部品を段取りしようとする場所に並べます。

QuickJack を設置するために必要な構成部品：

- ボックス **1**。左側のフレームが入っています。
- ボックス **2**。右側のフレームが入っています。
- ボックス **3**。パワーユニット (電圧は購入時に選択)、パーツ収納袋、油圧ホース類、低ラバーブロック 4 個、高ラバーブロック 4 個が入っています。

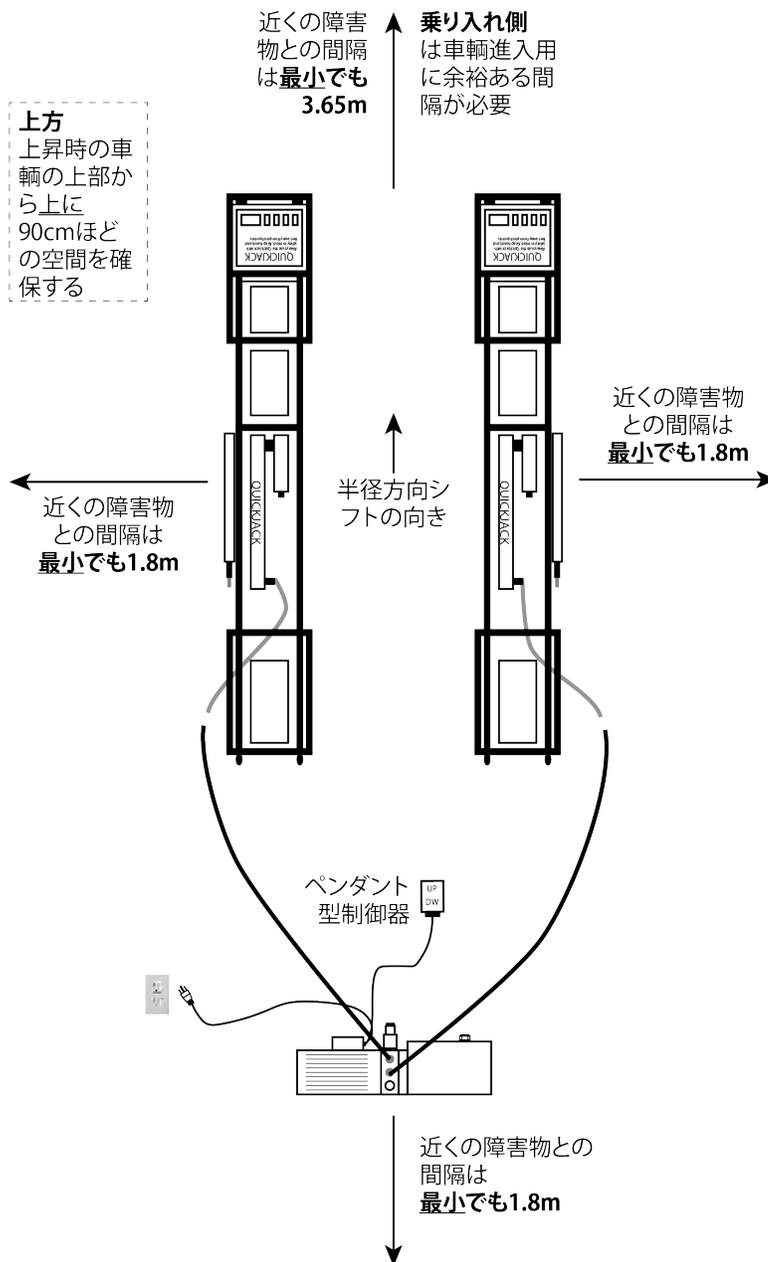
⚠ 警告 2 基ある QuickJack フレームは似通っていますが、入れ替え使用できるものではありません。常にフレームは互いに平行に、ジャッキポイントの位置が合うよう、また、下図に示すようにロックバーが外側に来るように並べます。



⚠ 注意 短い方の油圧ホースは必ず QuickJack フレームの **下側**に取り回すようにします。QuickJack フレームの上側に通すと、QuickJack は正しく動作せず、ホースは損傷することになりかねません。

間隔

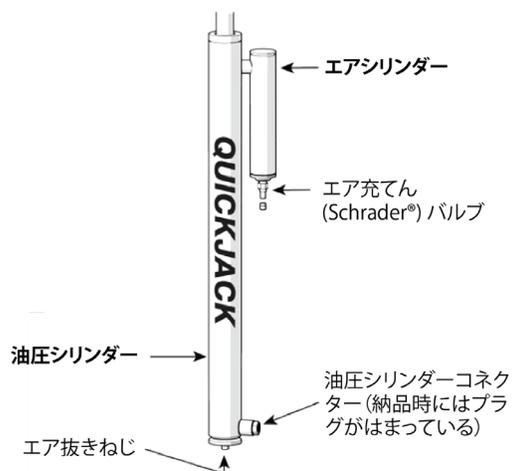
安全を図るため、フレームの周囲には幾分かの空間を確保しておく必要があります。



縮尺どおりになっているわけではありません。すべての構成部品が表示されているわけではありません。車両を近づけるのはパワーユニットのある側とは反対側となります。車を油圧ホースやパワーユニット、またはQuickJack フレーム上に乗り入れないこと。

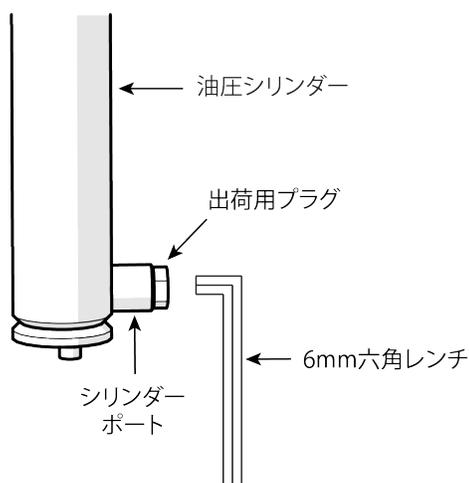
エアシリンダーおよび油圧シリンダー

各 QuickJack フレームには、エアシリンダー1本と油圧シリンダー1本が付いています。



エアシリンダーおよび油圧シリンダーの構成部品：

- エア充てんバルブ。エアシリンダーにエア圧を加えるために使用します。適切なバルブ（シュレーダーバルブ＝米式バルブ）が付いています。
- 油圧シリンダー コネクター。油圧エルボー継手をここに取り付けます。油圧エルボー継手を取り付ける前に、輸送時用のプラグを6mm六角レンチを使用して取り外します。



- エア抜きネジ。必要に応じて、油圧システムからエアを抜くために使用します。詳細については「トラブルシューティング」を参照してください。

油圧エルボー継手を取り付ける

油圧エルボー継手（5550103）を各油圧シリンダーに取り付ける必要があります。



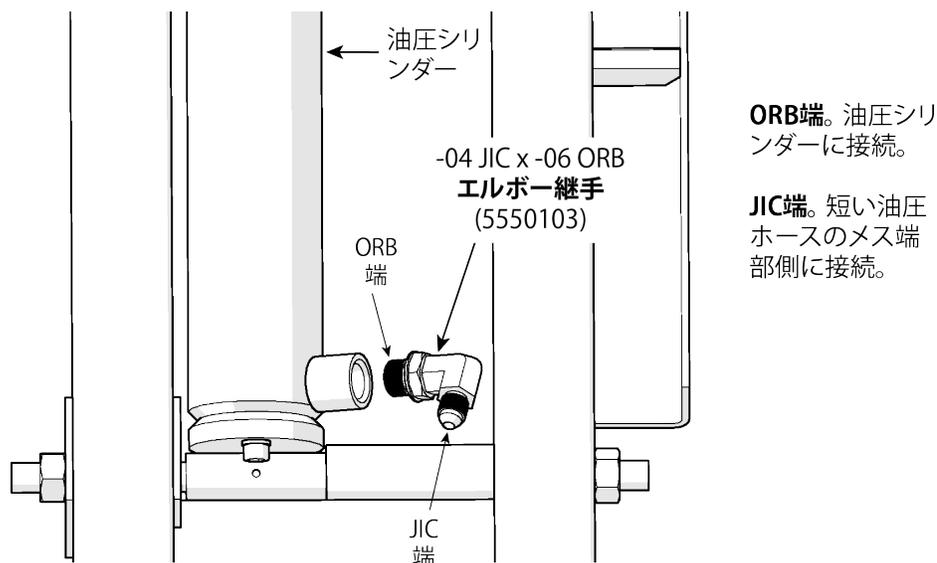
ヒント

QuickJack フレームを上昇させ、その下側にリフトブロックを入れるか、またはプラットフォームを手動でロック位置まで引き上げるかすることで、多少の空間を確保して、油圧エルボー継手の取り付け作業を楽にすることができます。

油圧エルボー継手を取り付けるには：

1. 6mm六角レンチを使用して、油圧シリンダーポートから輸送時用プラグを取り除きます。
2. 油圧エルボー継手をパーツ収納袋から取り出し、Oリングボス端を油圧シリンダーポートに接続します。

重要：油圧エルボー継手のどちらの端部にもスレッドシーラントは使用しないでください。



3. ネジ付きの継手端を図に示されているように、アクセスできるように、しかし上には向けずに位置させます。

ネジ付きの継手端はアクセスできるようにしますが、そこに接続する短い油圧ホースが上に突き出て車両の下側と干渉することになるため、上に向けないようにします。

4. ナットを完全にぴったりになるまで締めます。
5. 他方のQuickJackフレームの油圧シリンダーでも同様の手順を実行します。

スレッドシーラントについて

お買い上げの QuickJack には液状スレッドシーラントのボトルが付属で付いています。スレッドシーラントは管継手のネジの間のギャップを潤滑し埋めます。作動油のコンタミとなるような残留物は残しません。

油圧管継手が組み付けられ、適切に締め付けられた場合、装置の使用中に作動油が漏れるようなことはなく、QuickJack の作動を中断させるような内部の液体のコンタミは生じないはずです。

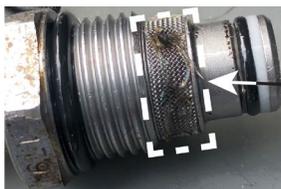
スレッドシール用テープ (Teflon® テープなど) やリキッド TPFE (スレッドシーラー) でも同様です。どちらも QuickJack のスレッドシーラントとして認証されており、正しく使用される場合には、装置使用中の作動油の漏れや、装置の誤作動を引き起こすような作動油のコンタミが認められることはないはずです。

液状スレッドシーラントを使用するには：

1. 使用しようとする管継手やコネクタが清浄であり乾いていることを確認します。
既に別のシーラントを使用していた管継手やコネクタに、スレッドシーラントを追加使用しようとする場合には、ワイヤブラシを使用して古いシーラントを完全に除去します。
2. 少量のスレッドシーラントを管継手の最初の4本のネジ山に塗布（最初のネジ山はスキップ）します。
⚠ 警告 スレッドシーラントを取り扱う際には、必ず適切な防護具を着用してください。
シーラントは締め付けられるに連れて他のネジ溝に広がっていくので、わずかな量で足りません。量が多すぎると、管継手が締め付けられたとき、余分となったシーラントが押し出されることとなります。押し出された分はウェスで拭ってください。
3. 管継手をコネクタ内に指を使って締め込みます。それから適切なサイズのレンチを使用して2、3回転フルに締め付けます。
4. システムを加圧する前に、**最小24時間養生**させます。

液状スレッドシーラントかスレッドシールテープか？

QuickJack に対する批判ないしは保証関連の問題の多くは作動油のコンタミに起因するものであり、パワーユニット構成部品内やタンク内にスレッドシールテープの粒子が認められることが分かっています。



スレッドシール用テープが
パワーユニットのコンポー
ネントに付着している

このようなコンタミを回避しようと、弊社ではスレッドシールテープの代わりに液状スレッドシーラントを使用するようにしています。ユーザーの方が液状スレッドシーラントよりもスレッドシールテープを使用したいとおっしゃるなら、もちろんそれはそれで結構です。ただし、次の手順をお読みになり守っていただく必要があります。

重要注意事項：

- スレッドシールテープが正しく機能するためには、テープはネジ周りに時計方向に巻き付けられる必要があります。人によっては正しくない逆回りの方向に巻き付ける場合があり、金具が締め付けられるに連れテープが巻き戻されることになってしまいます。
- スレッドシールテープは2~3巻きのみに留めておきます。絶対にスレッドシールテープが **NPT** 管継手のネジの端にはみ出ることのないようにしてください。はみ出たテープは締め付けられてちぎれ、作動油内に入り、パワーユニット構成部品やタンクのコンタミとなり、装置の誤動作を招くことになります。



正しく使用され
ているスレッド
シール用テープ

誤って使用されているスレ
ッドシール用テープ

継手の端部にテープ
がかかっている

- 原則として、テーパーの付いているネジの場合は、ネジの質、ポートと管継手の材質、使用するシーラント、その他の要因によって必要トルクは異なるため、ある特定のトルクで締め付けられるべきではありません。
- QuickJack のホース金具を取り付ける際には、管継手を手で締めてから、レンチを使用して2~3回転させます。それが済んだら、車を上げる前にすべての油圧ホースと管継手の接続部分の状態を確認します。



スレッドシール用テープ

常にシールテープは
時計方向に巻き付ける

スレッドシール用テープはねじ
部が覆われるまでの2~3回の
重ね巻きのみにとどめる

絶対にスレッドシール用テー
プが NPT 継手の端に重なるよ
うな巻き方をしないこと

短い油圧ホースを準備する

短い油圧ホースを準備するためには、ボックス 3 からの次の品々が必要です。

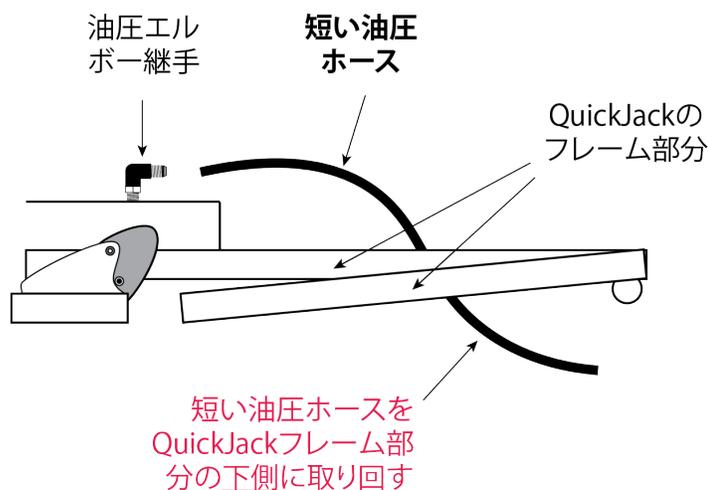
- 短い油圧ホース (5570233) 2 本
- クイックコネクト管継手、オス (5550032) 2 個

次の画像は短い油圧ホースで行う接続を示しています。



短い油圧ホースを段取りし接続するには：

1. 2本の短い油圧ホースを確認し、それぞれの保護キャップを取り外します。
2. 各短い油圧ホースのオス側管継手のネジ部にスレッドシーラントを塗布します。
3. クイックコネクト管継手オスを短い油圧ホースのオネジ部に接続します。レンチを使用し2、3回フル回転させて、しっかり締め付けます。
4. 短い油圧ホースの他の端を油圧シリンダーに取り付けてある油圧エルボー継手のオスコネクターに接続します。レンチを2、3回フル回転させて、しっかり締め付けます。
5. 短い油圧ホースをどちらもフレーム端部の下側に取り回します。ピンチポイントからは離しておくようにしてください。



⚠ 注意

誤って短い油圧ホースを通し QuickJack フレームの上側に取り回してしまった場合には、QuickJack は正常に動作せず、ホースが損傷したり、QuickJack 上の車が不安定な状態になったりする可能性があります。

クイックコネク tube継手について

クイックコネク tube継手によって、QuickJack の油圧ホースを迅速に接続したり外したりすることができます。



接続をロックするには：クイックコネク tube継手のオスをクイックコネク tube継手のメス側に押し込み、ロックボールが切り欠きに向き合わなくなるように可動部を回します。

ロックを解除して接続を外すには：可動部を回してロックボールが切り欠きに向き合う位置にしておいて、可動部を手前に引きながらクイックコネク tube継手のオスを抜き外します。

長い油圧ホースを準備し接続する

長い油圧ホースを接続するためには、ボックス 3 からの次の品々が必要です。

- 長い油圧ホース (5570216) **2** 本
- クイックコネク tube継手、メス (5550031) **4** 個

次の画像は長い油圧ホースで行う接続を示しています。



長い油圧ホースを準備し、接続するには：

1. 2本の長い油圧ホースを確認し、それぞれの保護キャップを取り外します。
2. ネジ端部を付属のスレッドシーラントを使用して準備します。
3. クイックコネク tube継手のメスを、2本の長い油圧ホースの両端のオネジ式コネクターにそれぞれ接続します。

締めるには、1本のレンチでオスコネクターを保持しておいて、もう1本のレンチでメスのクイックコネク tube継手側を回して締めます。レンチを2、3回フル回転させて、しっかり締め付けます。

4. 長い油圧ホースの一端を短い油圧ホースに接続します。長い油圧ホースの他の端は、パワーユニットに接続します。もう1本の長い油圧ホースと短い油圧ホースでも同様にします。

エアシリンダーを加圧する

エアシリンダーは、QuickJack を使用できるようにするために加圧する必要があります。

注： エアシリンダーに付いているバルブシステムは、工場に取り付けられたものです。

△ 注意 エアシリンダーを加圧する場合には、QuickJack フレームが完全に下がっていることを確認してください。

エアシリンダーを加圧するには：

1. エア充てんバルブが正常に動作することを確認するため、また、たまったオイルがあればそれを抜くために、バルブ工具を使って軽くエア抜きを試みます。

バルブをオープンにすると、エアシリンダー内に現在あるエアが解放されます。

2. ポンプまたはエアコンプレッサーを使用して、エアシリンダーを2.75～3.4バールまで（40～50psiまで）加圧します。**3.4バール（50 psi）を超えてはいけません。**

JackPak アクセサリーも、エアシリンダーを加圧するために使用できます。



3. 圧力が2.75～3.4バール（40～50psi）の範囲内になったら、ポンプもしくはエアコンプレッサーを取り外します。

△ 警告 QuickJack フレームが完全に下がった状態において、3.4バール（50psi）を超えないようにしてください。爆発の可能性があるからです。保守作業の前には、電源が切っており、エア圧が抜いてあることを確認してください。

4. もう1本のエアシリンダーについても、手順の1から3までを繰り返してください。

パワーユニットの配置場所を見極める

付属の油圧ホースをつなぎ合わせた長さから判断して、パワーユニットは、QuickJack フレームから約 **3～3.7m (10～12 フィート)** 離れた位置で、作業対象の車の邪魔にならない場所に置かれることになります。

注： パワーユニットによっては、キャリアとハンドルが付いているものもあれば、ハンドルだけのものもあります。働きは同じです。

△ 注意 車を油圧ホース 上に乗り入れないでください。ホースを損傷し、漏れを起こす可能性が高まります。

△ 警告 爆発のリスク。QuickJack パワーユニットには、アーク放電またはスパークする部分があるので、可燃性のガスにさらすべきではありません。パワーユニットは床面から少なくとも 46cm (18 インチ) の高さに配置するようにしてください。

油圧管継手をパワーユニットに取り付ける

パワーユニットを長い油圧ホースに接続できるようにするには、まずクイックコネクト管継手をパワーユニットの油圧ポートに取り付ける必要があります。



ヒント QuickJack では、最初に下側のパワーユニット・クイックコネクト管継手を取り付け、それから上側を取り付けるようお勧めしています。上側の金具を先に取り付けた場合、下側にアクセスするのが困難になるからです。

通常これらの金具は一度取る付ければ、それでおしまいです。その後 QuickJack を移動するときには、パワーユニットを長い油圧ホースから、クイックコネクト管継手を利用して外すだけです。

パワーユニット・クイックコネクト管継手をパワーユニットの油圧ポートに接続するには：

1. パワーユニットの前面にある2つの油圧ポートから、輸送用のプラスチック保護プラグを取り除きます。
2. パーツ収納袋からクイックコネクト管継手 (5550413) を取り出し、パワーユニット前面にある2つの油圧ポートのうちの一つにOリングボス端を挿入します。2つめのクイックコネクト管継手もパワーユニットのもう一つのポートで同様にします。

告知 ORB の端は所定の位置で手締めすることができる。ぴったりの状態を確保するために、ターンの半分を追加するためにレンチを使用してください。目標は、フィッティングがパワーユニットバルブブロックにぴったりとフィットすることです。

● リング付きのネジ部にスレッドシーラントを使用しないでください。



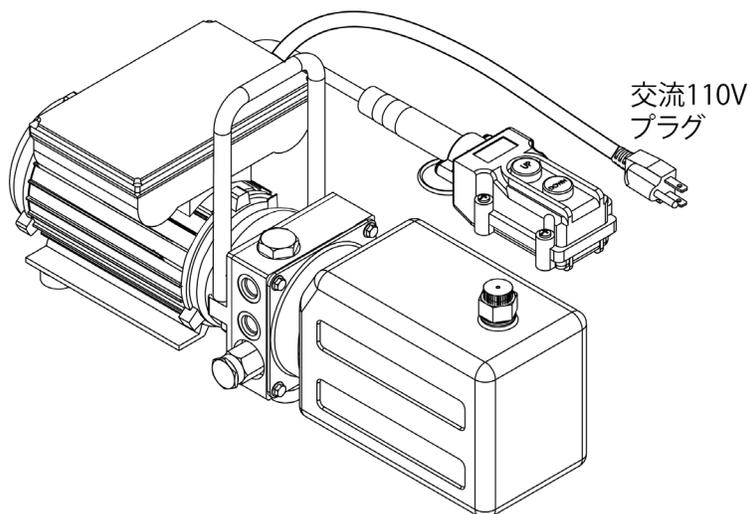
パワーユニットを電源に接続する

パワーユニットは適切な電源の近くに配置される必要があります。電源に接続する前に、お手許のユニットの電圧／電流要件を、QuickJack に付いているメーカーのデータ・タグを参照して確認してください。

機種シリーズ 5000、6000、7000 パワーユニット用の電源

QuickJack を適切な電源に接続します。

交流 110V パワーユニット 60 Hz. 単相、最小 10A

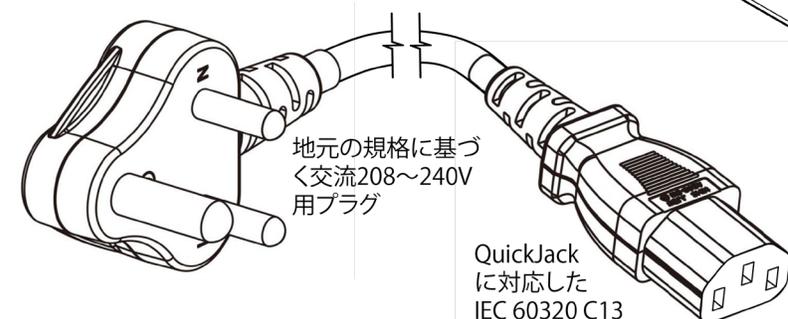


交流 208~240V パワーユニット 50/60 Hz. 単相、最小 5A

交流 208~240V のパワーユニットには、IEC 60320 C14 電源入力コネクタが搭載されています。

交流 **220V** 用プラグの種類は多岐にわたるため、**QuickJack** には対応するコードは含まれていません。

ユーザーご自身で、地元で使用されている対応するプラグ／レセプタクルを備えたコードを購入いただく必要があります。下図に D 型プラグを例として示します。接続コードは交流 **250V**、**5A** 以上の定格が必要です。

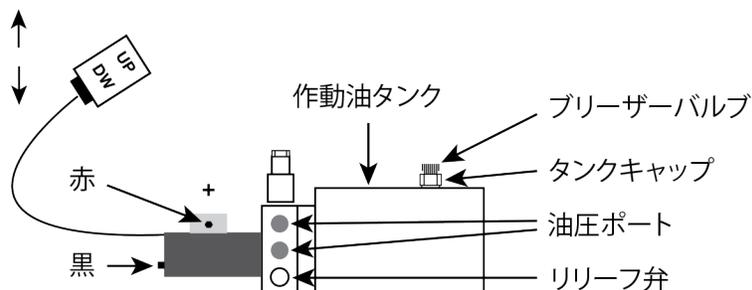


直流 12V パワーユニット用の電源

QuickJack に直流 12V パワーユニットをお使いの場合は、車用バッテリーに接続できます。

使用に関する情報については「[直流 12V パワーユニットを使用する](#)」の項を参照してください。

直流 12V パワーユニット



縮尺どおりに描かれているわけではありません。パワーユニットによっては多少異なる場合があります。

次の事項を念頭に置いておいてください。

- 直流 12V パワーユニットを 12V の電源に直接接続します。ブースターケーブルの最小要件は、10mm (7 ゲージ) です。
- 直流 12V 電源のマイナス側 (黒、-) をマイナス (黒、-) 端子に、直流 12V 電源のプラス側 (赤、+) をプラス (赤、+) 端子に確実に接続します。
- 直流 12V パワーユニットで作業している間は装身具を外しておきます。

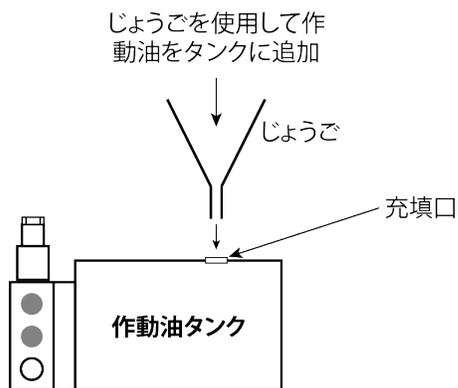
⚠ 警告 確実にプラスをプラスにそしてマイナスをマイナスに接続するようにしてください。プラスをマイナスに接続すると、ほぼ確実にバッテリーその物も含め、車の電気系統の損傷を引き起こしてしまうこととなります。また、12V QuickJack パワーユニットも損傷する可能性があり、さらには電気火災または爆発の原因となることもあります。

パワーユニットの作動油タンクを充填する

QuickJack を使用し始める前に、作動油タンクに作動油またはオートマチックトランスミッションフルードを充填する必要があります。

納品時には、作動油タンクは空です。パワーユニットは認定フルードで満たされるまでは、正常に動作しません。

フルードのレベルは、QuickJack を完全に下げた状態で、充填口の下ほぼ 12mm (0.5 インチ) ほどにしておきます。



△ 注意 タンク内にフルードが入っていない状態で QuickJack を使用すると、パワーユニットを損傷させかねません。

認定フルードとは、ISO-32、ISO-46、もしくは ISO-68 の任意の汎用作動油、または、Dexron III、Dexron VI、Mercon V、Mercon LV などの認定オートマチックトランスミッションフルードか、任意の化学合成多車種対応オートマチックトランスミッションフルードを指します。

注： フルードのレベルは、QuickJack を使用開始すると多少下がります。これはフルードの一部が油圧ホース内にとどまるからです。レベルが 1 リットル以上低下した場合には、充填口の下 12mm (0.5 インチ) の位置までつぎ足すように（フレームは下げた状態で）してください。

重要： フルードがホース内にある間に、作動油タンクを完全に満たさないでください。そうしますと、ホース内にあったフルードが戻ってきたとき（QuickJack フレームを下げたとき）にタンクからあふれ出るようになります。

QuickJack では、フルードが漏れた場合に備えて、近くにウエスを 2、3 枚用意しておくことをお勧めします。

ブリーザーバルブを確認する

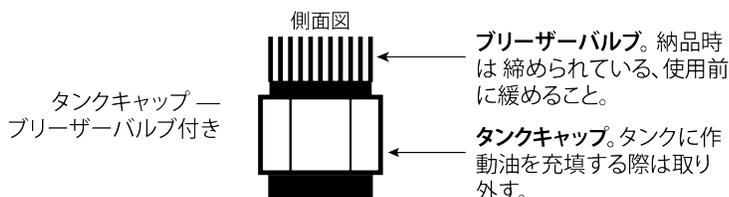
お手許のパワーユニットにブリーザーバルブを備えたタンクキャップが付いている場合は、パワーユニットを使用する**前に**ブリーザーバルブを緩めておく必要があります。輸送時にコンタミが起こらないよう、締め付けた状態で出荷されます。

自動通気式のタンクキャップ（下の図を参照）の付いたパワーユニットである場合は、緩める必要はありません。

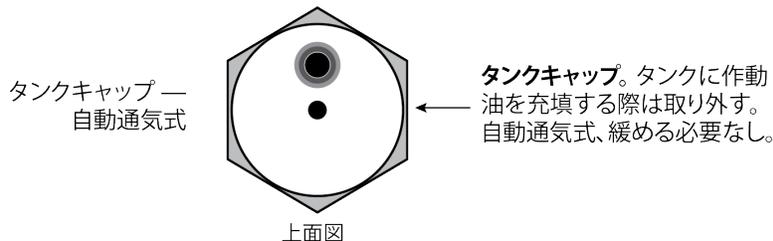
ブリーザーバルブを確認するには：

1. パワーユニットにどのようなブリーザーバルブが付いているかを見極めます。

- タンクキャップ、ブリーザーバルブ付き。ブリーザーバルブは工場出荷時に締め付けられています。パワーユニットを使用し始める前に緩める必要があります。



- タンクキャップ、自動通気式。緩めるものはありません。次の項に進んでください。



△ 注意 ブリーザーバルブの付いたタンクキャップであるなら、パワーユニットの使用前に、バルブを反時計回りに半回転ほど緩める必要があります。緩めておかないと、過剰な圧力によりポンプが壊れたり、タンクから作動油があふれ出たりすることがあります。

2. ブリーザーバルブを緩めるには、4分の1回転か半回転ほど**反時計回り**に回します。

3. パワーユニットを別な場所に移動する場合は、動かす前にブリーザーバルブを締め付けてください。

こうすることで、移動中の液漏れやタンク内へのコンタミの混入を防ぎます。

移動先ではパワーユニットを使用する**前に**、再びブリーザーバルブを緩めることをお忘れな。

油圧シリンダーのエア抜きを行う

油圧シリンダーのエア抜きを行うとは、油圧システムからエアを排除することです。

油圧システム内にエアがあると、フレームの昇降中に振動したり、ガクガクと動いたり、一方のフレームが他方より速く上昇したりなどが見られるでしょう。これで QuickJack または油圧シリンダーが損傷するというものではありませんが、体験していただきたい正常でスムーズな状態とは言えません。

油圧シリンダーのエア抜きを行う際に必要なものは次の通りです。

- こぼれを拭き取るための幾枚かのウエス
- 5mm の六角レンチ（アレンレンチとも呼ばれる）、エア抜き用ネジを緩めたり締めたりするため
- QuickJack に付属の 6 個のリフトブロック、高ブロック 4 個と低ブロック 2 個

油圧シリンダーのエア抜きを行う際には、QuickJack フレーム上に車は載せてはなりません。

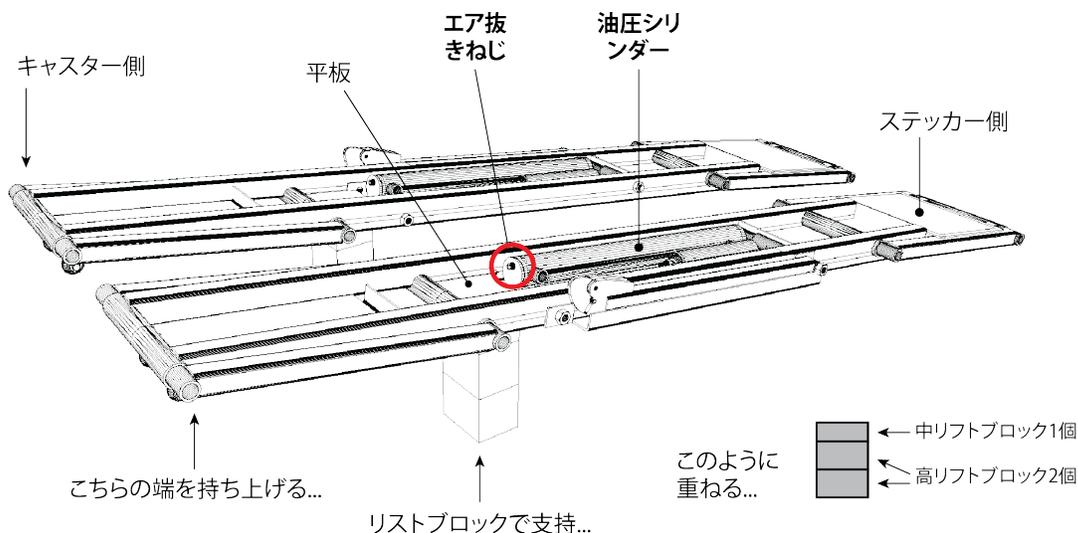
重要 一般的に、クイックジャックフレームを重量なしで上げないでください。ただし、油圧シリンダを出血させる場合は、QuickJack フレームに重量を追加しないことをお勧めします。重量なしで最初のロック位置を超えて上げないでください!

QuickJack の油圧シリンダーのエア抜きをするには：

1. 2基のQuickJackフレームを床に並べます。

△ 注意 常にピンチポイントには手を近づけないこと。怪我をすることになります。

2. 高いリフトブロック2個を積み重ね、その上に低ブロックを1個載せます。これを2回行い、3個のリフトブロックを積み重ねた2組を作ります。
3. QuickJackフレームのキャスター付きの端部側を持ち上げ、積み重ねたリフトブロックの1組をエア抜きネジの下にある平らなプレートの下に配置します。他方のフレームでも同様に行います。



△ 注意 積み重ねたリフトブロックをフレームのキャスター付き端部の下に配置してはなりません。フレームのキャスター付き端部は、QuickJack が上げ下げされる際に移動します。それによって積み重ねられたリフトブロックが倒れることになりかねません。

4. 各フレームを軽く揺り動かしてみて、積み重ねられたリフトブロックの上でそれが安定していること確かめます。
5. フレームが安定していない場合は、リフトブロックまたはQuickJackフレームを調整して安定するようにします。

両方のフレームが積み重ねたリフトブロック上で安定するまでは、先に進めないでください。

6. ペンダント型制御器を使用して、両方のフレームを上昇させ、次に床面から203mm（8インチ）ほどの高さまで下げます（最初のロック位置は超えないこと）。これを**3回**繰り返します。

注： 車両の荷重無しでは、QuickJack フレームは通常時と比較して下降が不揃いで遅いかもかもしれません。全く下がってこないような場合には、多少の荷重をかけてください。

フレームを上げ下げすることで、作動油が油圧システム内に移動して、エアをエア抜きネジの方に押しに行きます。

7. 最初にエア抜きしようとする油圧シリンダーのエア抜きネジの下にウエスを置いておきます。
まず間違いなく作動油が漏れ出てくるでしょうから、準備しておく方がいいでしょう。
8. 六角レンチを使用してエア抜きネジを緩めます。
9. エアの抜け出す音が聞こえたら、ネジを緩めるのを止めます。エアとともに作動油も幾らか出てきます。
10. もうエアが出てなくなったら、エア抜きネジを締め、作動油を拭き取ります。
11. エア抜きネジの下に別のウエスを置きます。
12. ペンダント型制御器で上昇ボタンを2秒ほど押してから、停止します。
これにより、残っているエアがあればそれをエア抜きネジの方に押しやることになります。
13. エア抜きネジをわずかに開きます。
14. ペンダント型制御器で上昇ボタンを2秒ほどのみ押してから、停止します。
エアと作動油が混じって出てきます。
15. エア抜きネジを締めます。
ペンダント型制御器の下降ボタンを押す前に、エア抜きネジは締めておく必要があります。締め付けられていないと、QuickJack フレームが下がるに伴い、エアが引き入れられてしまいます。
16. ペンダント型制御器で下降ボタンを押します。QuickJackフレームを平らな状態まで戻します。
注： 車両の荷重無しでは、QuickJack フレームは通常時と比較して下降が不揃いで遅いかもかもしれません。
17. エアがもう出なくなるまで、手順の13から16までを繰り返します。
18. 漏れた作動油をきれいに拭き取ります。
19. エア抜きネジを六角レンチで締め付けます。締め付けすぎないようにしてください。
20. QuickJackフレームの一方を持ち上げ、積み重ねリフトブロックを取り除き、フレームを床面に戻してから、他方のQuickJackフレームで同じことを繰り返します。

使用前の最終チェックリスト

QuickJack を使い始める *前*に以下の事項が行われていることを確認します。

- **段取りチェックリスト**に目を通して、すべての手順が実行されていることを確認する。
- パワーユニットが電源から電力を得ていることを確認する。
- 作動油タンクをチェックする。認定されている作動油もしくはオートマチックトランスミッションフルードが充填されている必要があります。 *十分な量のフルードが入っていない状態で運転してモーターを傷めることがあります。*
- 油圧システムに漏れがないかチェックする。フレームおよびパワーユニット上のすべての油圧ホース接続、油圧継手、および補助ポートプラグが安全であることを確認します。
- 両ロックバーがそれぞれの溝内を抵抗なく滑り動くことを確認する。溝内に障害物のないことを確認する。

QuickJack をテストする

車を上げるに先だって、すべての構成部品の目視チェックを行い、正常に動作する状態であることを確認します。QuickJack を使用する際は毎回実行してください。クイックコネクト**管継手**に摩滅や損傷、漏れがないかチェックします。クイックコネクト**管継手**に損傷や摩滅がある場合は車を上昇させてはなりません。交換する必要があります。

重要： **QuickJack** フレームは車両を載せた状態でのみ上昇させること。QuickJack フレームは車両の荷重を支えるよう設計・開発されています。車両が載っていない場合、時に最大上昇位置で動かなくなることがあります。

⚠ 警告 **QuickJack** を上げ下げする際は注意を払うこと！ 一般的安全上の問題は操作者の注意不足です。例えば、QuickJack を上げ下げしている間にスマホを見たりしてはなりません。注意を払うのはあなたの責任です。注意を怠れば、QuickJack またはその上に載せている車両を損傷させたり、付近に居る人に傷害を与えたりしかねません。

QuickJack フレームを上昇させるについての詳細情報は、「**QuickJack フレームを上昇させる**」の項を参照してください。

QuickJack をテストするには：

1. QuickJack フレームを望みの位置に、**両ロックバーを外側**にして配置します。
2. 両ロックバーおよび油圧ホースをすべてチェックします。

ロックバーはそれぞれの溝の底に沿って抵抗なく移動可能でなければなりません。フレームを上昇させたときにロックバーが中空に浮くようではいけません（中空に浮く場合は、多分ロックバーのボルトの締めがきつすぎます）。油圧ホースは、すべてが接続されている必要があります。

3. パワーユニットが正しく段取りされており、電源に接続されていることを確認します。

フルードのレベルは、充填口の下ほぼ 12mm (0.5 インチ) ほどにしておきます。

重要： タンクに作動油が十分に入っていない場合、QuickJack は上昇は始めるものの、上昇速度が遅くなり、タンク内のフルードを使い切って停止してしまいます。これに対処するには、QuickJack フレームを床面まで下げ、タンクにフルードを追加します。充填口の下ほぼ 12mm (0.5 インチ) のレベルまで充填します。

4. エアシリンダーのエア圧をチェックします。読み取り値は、2.75~3.4バール (40~50psi) であるべきです。

3.4 バール (50 psi) を超えてはいけません。

5. 車を所要位置に止めます。車の荷重無しで**QuickJack** フレームを上昇させないでください。

6. 上げようとする車に合わせて、レシーバートレイ内にリフトブロックを配置します。
必ず車のメーカー推奨のジャッキポイントを使用するようにしてください。
7. ペンダント型制御器で上昇ボタンを2秒ほど押します。
何秒か間を置いて、QuickJack フレームは上昇を開始します。初回使用であるため、油圧ホースが作動油で満たされるまでに2秒ほどかかります。
QuickJack フレームが動かない場合は、パワーユニットが適切な電源に接続されているか、油圧ホースがパワーユニットに接続されているか、タンク内に十分なレベルの作動油があるかを確認します。これらの問題のいずれでも見つけたら修正し、それから再度試みます。それでもフレームが動かない場合は、「[トラブルシューティング](#)」の項を参照してください。
8. フレームが車のジャッキポイントに当たるわずか前に、上昇ボタンを放します。
9. リフトブロックがジャッキポイントに当たる位置をチェックします。必要に応じ、リフトブロックの位置を調整します（調整するために車を下げる必要があるかもしれません）。
10. 上昇ボタンを押して、フレームを第一ロック位置を通過するまで上げ、それから 下降ボタンを1~2秒押しします。
△ 警告 車を載せた状態で、一方のフレームが他方よりも速く上昇する場合、これは安全上の問題です。直ちに上昇ボタンを放し、下降ボタンを押して車を床面に下ろします。1分ほど待ってから、再度試みます。問題が解消しない場合は、「[トラブルシューティング](#)」の項を参照してください。
ロックバーは第一ロック位置でロックし、フレームは動きを停止します。
11. QuickJackが第一ロック位置でロックされた状態で、漏れがないか油圧ホースのすべてをチェックします。漏れが見つかった場合は、漏れのある接続部を締め付け、漏れは拭き取ります。
モーターが過熱したり、異音を発したりする場合、パワーユニットおよび電気接続部をすべてチェックします。
12. 車を軽く揺り動かしてみてその安定性を試してみます。
それで車が安定しているようであれば、**QuickJack** は正常使用の準備ができたこととなります。
車が安定ではないようならば、床面に下ろして、レシーバートレイ内のリフトブロックの位置をチェックします。
13. すべてが正常に働いているようであれば、QuickJackフレームを床面まで下ろします。これをするには：
ロックバーがロック位置を通過するよう上昇ボタンを1~2秒押し、それから下降ボタンを押してロックバーにロック位置を通り越させます。
フレームが床面に達しても、さらに5秒ほど下降ボタンを押し続けて作動油をタンク内に戻します。
解消できない問題がある場合には、QuickJack の使用を停止し、「[トラブルシューティング](#)」を参照するか、**(888) 262-3880** 番もしくは**(805) 933-9970** 番で QuickJack にご連絡ください。

マニュアルをオーナー／オペレーターのために置いておく

段取り・操作マニュアルは、QuickJack を使用する誰もが利用できるように、必ずオーナー／オペレーターの許に置いておいてください。



操作

このセクションでは QuickJack を操作する方法を説明します。本マニュアルはオーナー／ユーザー／雇用主に届けられ、QuickJack の傍らに保管される必要があります。

対象車両の正しいジャッキポイントについてはカーメーカーにお問い合わせください。

QuickJack では、お買い上げいただいた QuickJack で車両を正しく配置していただくため、『*Vehicle Lifting Points for Frame-Engaging Lifts*』のご利用をお勧めしています。同書では多種の車両についてメーカー推奨ジャッキポイントが示されています。同書は **ALI のウェブサイト** から入手可能です。

また QuickJack では、SAE 規格 J2184 『*Vehicle Lift Points for Service Garage Lifting*』も、車両を持ち上げる際の正しい配置において役立つ資料として推奨します。

△ 警告 各車両をそのジャッキポイント上に正しく位置させるようにしてください。車を不適切に配置すると、不安定となり QuickJack から落下してしまう可能性につながりかねません。これは車を損傷させ、QuickJack を傷め、さらには近くにいる人に傷害を与えることになりかねません。

安全

QuickJack によって車を上げたり下げたりする前に：

- **QuickJack** をチェック。欠損している部品やひどく摩耗しているまたは傷んでいる部品がないか、QuickJack をチェックします。リフトブロックがレシーバートレイ内にあることを確認します。何らかの問題が見つかった場合には QuickJack を操作しないでください。その代わりに、使用を中止し、quickjack.com/support にアクセスするか、support@quickjack.com 宛にメールで、または **(888) 262-3880** 番に電話でお問い合わせください。

- 周囲をチェック。車の上げ下げに影響を及ぼすような何らかの障害物がないか QuickJack の周囲をチェックします。QuickJack の上をチェックすることも忘れないでください。障害物を見つけたら、邪魔にならない場所に移します。QuickJack を使用している間は、部外者や子ども、または動物を近寄らせないようにします。

- オペレーターをチェック。QuickJack を操作する者、全員が使用訓練を受け、装置上のラベルを読んでおり、薬剤やアルコールの影響下になく、そして本マニュアルを読んでいることを確認します。

△ 警告 **QuickJack** を上げ下げする際、オペレーターは注意を払うこと！一般的安全上の問題は注意不足です。例えば、オペレーターはスマホを見たりしてはいけません。

- 安全性を確認。QuickJack の近くに足を踏み入れる者全員が、その存在を認識し、適切な安全策を取ることを確認します。車を上げた場合、常に **QuickJack** はロック位置に入れておくようにします。QuickJack を下げる場合、それが床面に下りるまではその場を離れないでください。

△ 警告 常に両 QuickJack フレーム上で上昇させた車の下には補助安全スタンドを配置しておく必要があります。

△ 警告 爆発のリスク。QuickJack パワーユニットには、アーク放電またはスパークする部分があるので、可燃性のガスにさらすべきではありません。パワーユニットは床面から少なくとも 46cm (18 インチ) の高さに配置するようにしてください。

- 車をチェック。絶対に QuickJack の公称耐荷重を超えてはなりません。上げる車両内に乗車を許してはなりません。車がいずれかの端に寄りすぎていないことを確認します。車のメーカー推奨のジャッキポイントを使用する必要があります。絶対に車の片側、一コーナー、または一端のみを上げてはなりません。

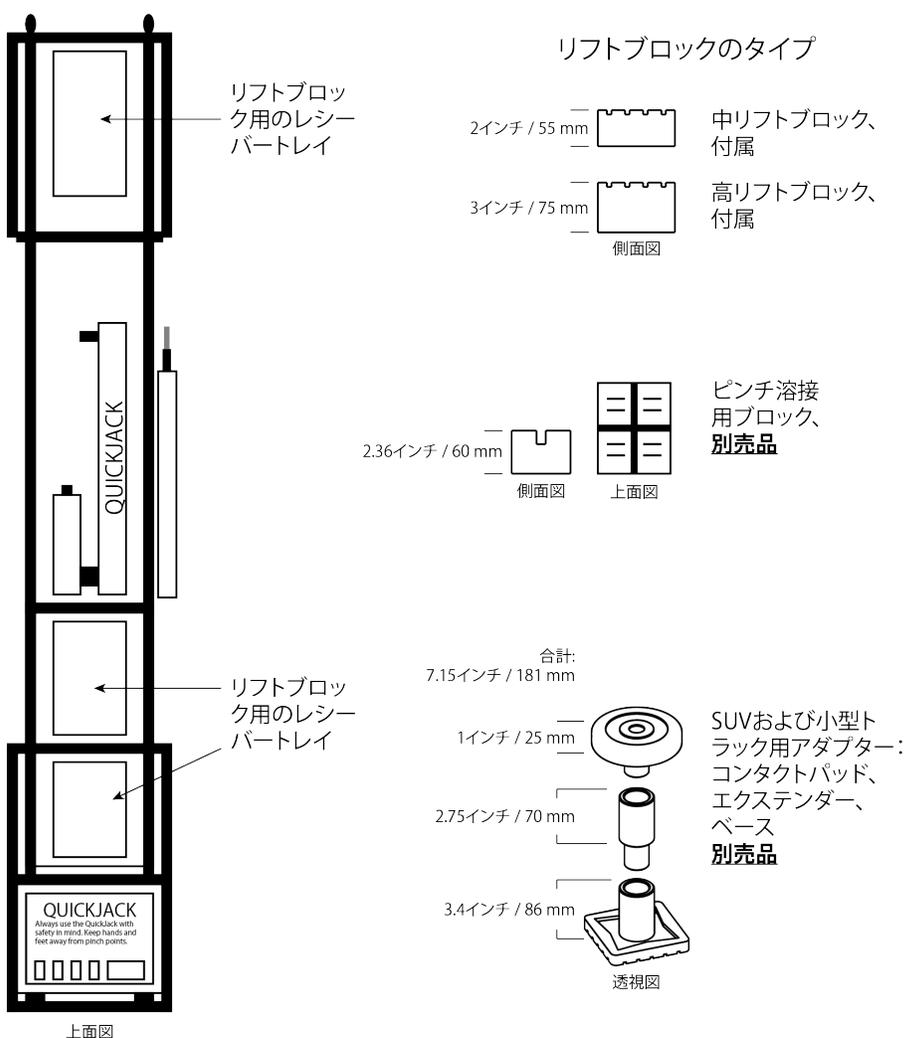
リフトブロックについて

QuickJack で車を上げる際、車は QuickJack フレームに接触すべきではありません。その代わりに、車は QuickJack のレシーバートレイ内に置かれたリフトブロックに接触するようになっています。

リフトブロックには3つのタイプがあります。

- 低/高。低いリフトブロック 4 個と高いリフトブロック 4 個が各 QuickJack に付属として付いています。1 個の高ブロックの上に 1 個の低ブロックを積み重ねられますが、それ以上はだめです。必ずジャッキポイントの真下に置くようにします。
- ピンチ溶接。車をそのピンチ溶接部でジャッキアップするために最適です。別売品。
- **SUV** および小型トラック用アダプター。各セットに含まれているのは、丸形コンタクトパッド 4 個、エクステンダー 4 個、ベース 4 個です。地上高の高い車や非標準のジャッキポイントの車に最適です。別売品。

△ 注意 QuickJack フレームだけで車を上げないでください。常にレシーバートレイ内でリフトブロック、ピンチ溶接ブロック、または SUV および小型トラック用アダプターを使用します。フレームに直接車を載せて上げると、車を損傷させたり、QuickJack を傷めたりすることになります。



縮尺どおりに描かれているわけではありません。すべての構成部品が表示されているわけではありません。

QuickJack の特別警告事項

QuickJack では留意いただく必要のある 2 つの特別なケースがあります。

- **QuickJack フレームはその上に車を載せずに上昇させないこと。** QuickJack フレームは車両の荷重がかかった状態で使用するよう設計・開発されています。QuickJack フレームはその上に車の荷重がかかっている状態でのみ上昇させる必要があり、これは初回使用時でさえもそうです。このルールに対する唯一の例外は、油圧シリンダーのエア抜き作業の場合です。

QuickJack フレームは、車の荷重なしの状態では上昇させる場合、時によって上昇位置で動かなくなってしまうことがあります。そうなった場合にもフレームに問題があるわけではなく、素早く簡単に修正できます。ただ単にフレームは、車両の荷重のかかった状態で働くよう設計・開発されているということです。**QuickJack** フレームは車両を載せた状態でのみ上昇させること。

- **無負荷での立ち上がりの余地がない位置から荷重を上昇させようとしないこと。** QuickJack は、荷重を押し上げるに十分な圧力を築き上げるために、地面と車の間にいくぶんかのスペースを必要とします。下図に示すように、完全に平らになった開始位置から全負荷を押し上げることはできません。

これは通常の作業では問題になりません。即ち、持ち上げたい車はタイヤによって地表から十分に上に保持されているからです。問題が生じるのは、車のタイヤを取り外した状態で、QuickJack を完全に平らな位置まで下げた場合です。



- ⚠ **警告** この画像は、完全に下降した位置で、タイヤのない車を支えている QuickJack を示しています。このようなことはしないでください。QuickJack はこのような状況で、車の重量を押し上げることはできません。発生してしまった場合には、「[トラブルシューティング](#)」を参照するか、または quickjack.com/support にアクセス、あるいは support@quickjack.com 宛にメールで処置方法をお問い合わせください。

リフトブロックとフレームを配置する

⚠ 警告 2基の QuickJack フレームは常に、車のジャッキポイントが許容する範囲内で行ける限り平行に近くなるように配置します。平行からあまりにもずれていると、荷重の安定性が損なわれる場合があります。

QuickJack フレームの配置には次の2通りの方法があります。

- 外から内へ：車を運転して目的とする位置に止め、QuickJack フレームを車の両サイド外側、ホイール間に配置します。前後輪間の距離が QuickJack フレームの全長を通すには十分ではない場合は、フレームの向きを変え、一端を車の下に押し入れてから、次に他端を押し入れます。この際クイックフレームハンドルは通常必要ではありません。絶対に QuickJack の油圧ホースを車のタイヤで踏みつけないようにしてください。準備が良ければ各フレームを車の下に目的とする位置に滑り入れます。各ロックバーが外側を向いていることを確認します。
- 内から外へ：QuickJack フレームを直接互いに隣り合わせに並べ、車を運転して両フレームをまたぐ位置につけ、それから、クイックフレームハンドルを使用して、各車両メーカーの推奨ジャッキポイントに合わせて、各フレームを目的の位置に調整します。絶対に QuickJack の油圧ホースを車のタイヤで踏みつけないようにしてください。各ロックバーが外側を向いていることを確認します。

⚠ 注意 QuickJack フレームを配置する前に、両フレームとも完全に下げられた状態であること、および作業区域内に障害物がないことを確認してください。また、持ち上げようとしている車が、バランスを崩すほどに前部または後部が重いものではないことを確認してください。

QuickJack フレームを配置するには：

1. QuickJackを配置する方式を選びます。
2. レシーバートレイ内にリフトブロック、ピンチ溶接ブロック、またはSUVおよび小型トラック用アダプターを配置します。

注： 低いリフトブロック1個と高いリフトブロック1個を積み重ねて使用できますが、それ以上はだめです。
- ⚠ **注意** どのような荷重もフレームのみで上げないでください。常にレシーバートレイ内にリフトブロック、ピンチ溶接ブロック、またはSUVおよび小型トラック用アダプターを配置します。
3. 配置方法に合わせて、QuickJackフレームを適当な位置に移動します。
4. 内から外への方式にした場合は、車を運転してフレームをまたぐ位置に止めます。
5. QuickJackフレームを、各車両メーカーの推奨ジャッキポイントに合わせて、車の下に正しい位置に動かします。

対象車両の正しいジャッキポイントについてはカーメーカーにお問い合わせください。

⚠ 警告 上げようとする車のメーカー推奨ジャッキポイントが不明である場合は、車両を持ち上げる際の正しい配置において役立つ資料として、『*Vehicle Lifting Points for Frame-Engaging Lifts*』およびSAE規格J2184『*Vehicle Lift Points for Service Garage Lifting*』を参考にしてください。これらの資料は **ALI** のウェブサイトから入手可能です。車に追加の荷重やユニークに配置された荷重がある場合は、有資格者に車の重心を計算してもらうか、車両用重量計で重心を割り出してもらってください。

6. 各リフトブロックが上げようとしている車のメーカー推奨ジャッキポイントの真下に来るように、レシーバートレイ内で位置調整します。

これで QuickJack フレームとリフトブロックは車を上げるために正しく配置されたことになります。

QuickJack フレームを上昇させる

QuickJack フレームには2つのロック位置があります。QuickJack フレームを上昇させる場合には、常に両フレームを同じ高さのロック位置に入れるか、それとも床面に戻すかします。

⚠ 警告 以下の条件が揃わない限りは車を上昇させないでください。即ち、QuickJack フレームが車の下に正しく配置されていること、フレームは互いにできる限り平行になっていること、全要員は車から十分な距離を保っていること、ロックバーは両方とも外側にあること、車の全周および上には空間があること、オペレーターは注意を払っていること（オペレーターは QuickJack フレームを上げ下げする間、車と周囲の状況から目を離してはなりません）。

車を上げるには：

1. レシーバートレイ内にリフトブロック、ピンチ溶接ブロック、またはSUVおよび小型トラック用アダプターを配置します。

注： 低いリフトブロック1個を高いリフトブロック1個の上に積み重ねることはできますが、それ以上はだめです。リフトブロックをピンチ溶接ブロックやSUVおよび小型トラック用アダプターの上に重ねないでください。

⚠ 注意 どのような荷重もフレームのみで上げないでください。常にレシーバートレイ内にリフトブロック、ピンチ溶接ブロック、またはSUVおよび小型トラック用アダプターを配置します。

2. 配置方法に合わせて、QuickJackフレームを適切な位置に移動します。
3. 内から外への方式にした場合は、車を運転してフレームをまたぐ位置に止めます。

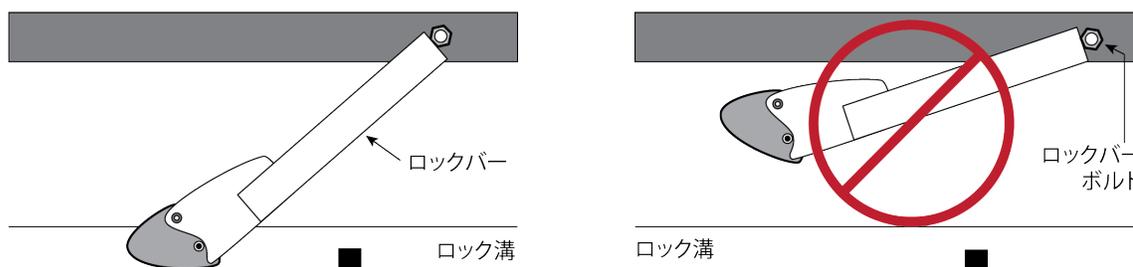
QuickJack フレームは車両を載せた状態でのみ上昇させること。

4. QuickJackフレームを、各車両メーカーの推奨ジャッキポイントに合わせて、車の下の正しい位置に動かします。

対象車両の正しいジャッキポイントについてはカーメーカーにお問い合わせください。

⚠ 警告 上げようとする車のメーカー推奨ジャッキポイントが不明である場合は、車両を持ち上げる際の正しい配置において役立つ資料として、『*Vehicle Lifting Points for Frame-Engaging Lifts*』およびSAE規格J2184『*Vehicle Lift Points for Service Garage Lifting*』を参考にしてください。これらの資料は **ALI** のウェブサイトから入手可能です。車に追加の荷重やユニークに配置された荷重がある場合は、有資格者に車の重心を計算してもらるか、車両用重量計で重心を割り出してもらってください。

5. 各リフトブロックが上げようとしている車のメーカー推奨ジャッキポイントの真下に来るように、レシーバートレイ内で位置調整します。
6. 両方のロックバーをチェックします。手で押し上げてから、放して落ちるに任せます。



縮尺どおりになっているわけではありません。すべての構成部品が表示されているわけではありません。左図の場合、ロックバーはロック溝の中を抵抗なく動きますが、右図のロックバーは中空に浮いた状態で動かなくなっており、修正が必要です。

ロックバーのボルトが締め付けすぎになっていると、ロックバーはロック溝の中を抵抗なしに動くことができません。これは安全上の問題です。各ロックバーがそれぞれのロック溝の中で抵抗なく動き回れなければ、QuickJack のロックはかかりません。車が上昇するに連れて右図に示されているようにロックバーが上がってしまうと、ロックはかかることができません。

- ⚠ **警告** ロックバーはロック溝内を抵抗なく動くことができます必要があります。動けなければ、QuickJack を安全なロック位置に入れることができません。

締め付けすぎのロックバーのボルトを修正するには、ロックバーが自由に動いて、ロック溝内に収まるように（上図の左に示されているように）なるまでロックバーボルトを緩めます。

7. 車とQuickJackフレームの周りを歩いて回ります。すべてが正しく設定されているか確認します。
8. ペンダント型制御器で上昇ボタンを押し続けます。
9. フレームが車と接触する 寸前のところで、上昇ボタンを放します。フレームの動きは停止します。
10. リフトブロックが車のメーカー推奨ジャッキポイントに当たることになる箇所をチェックします。必要に応じて、リフトブロックが正しく配置されるよう位置を調整します（リフトブロックを調整するために車を多少下げる必要があるかもしれません）。
11. 両方のロックバーがそれぞれのロック溝の中を抵抗なく動くかを確認します。
12. リフトブロックとロックバーの位置関係を確認したら、上昇ボタンを押します。

QuickJack フレームが上昇し始め、リフトブロックが車のジャッキポイントに当たります。

- ⚠ **警告** 第一ロック位置を通り越すまでは、フレームの上昇を止めないでください。

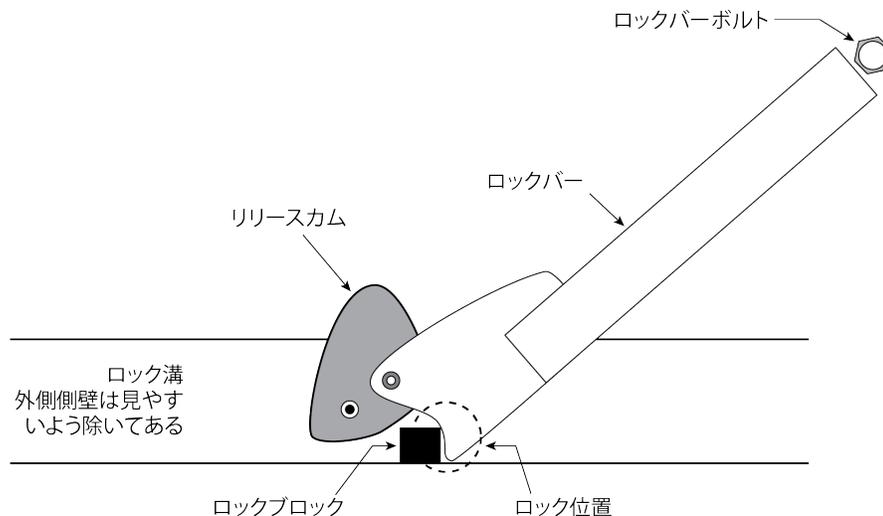
13. すべてのリフトブロックがなおメーカー推奨ジャッキポイントに当たっていることを確認します。

リフトブロックが正しい位置にある場合は、QuickJack フレームの上昇を継続します。

リフトブロックが正しい位置にない場合は、ペンダント型制御器の下降ボタンを押して、注意して車を床面に戻し、必要な調整を行います。

14. QuickJackをロック位置に入れるには、上昇ボタンを放してから下降ボタンを押して、フレームがロックするまで下げます。

次のイラストは、フレームがロック位置にしっかり収まっている状態を示しています。

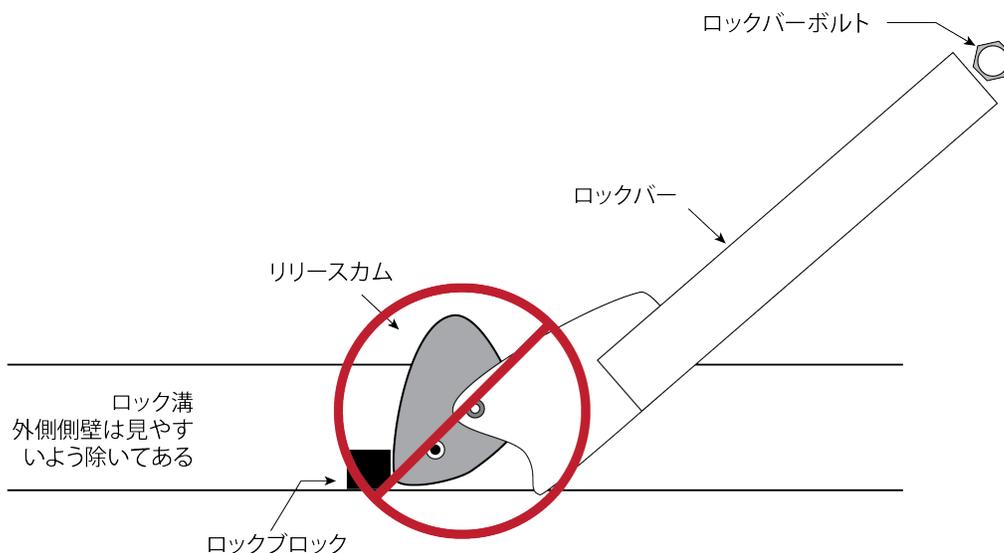


縮尺どおりではありません。すべての構成部品が表示されているわけではありません。ロック位置にあるリリースカムとロックバーを示しています。

15. 下降ボタンを放します。

16. 両方のQuickJackフレームが同じロック位置に入っていることを目視確認します。

次のイラストは、ロック位置に収まっていないリリースカムの状態を示しています。フレームをこのような状態のまま離れないでください。



⚠ 警告 他の何かに取りかかる（例えば、車に対する作業を始めたり、その場を離れたりなど）前に、**両方**の QuickJack フレームが同じロック位置に入っていること、すべてのリフトブロックが車のメーカー推奨ジャッキポイントに当たっていることを **目視確認**してください。

両方の QuickJack フレームが同じロック位置に入っており、すべてのリフトブロックが車のメーカー推奨ジャッキポイントに当たっていることを目視確認したら、車に対し作業を行うことができます。

⚠ 警告 二重の安全措置として、**常に両方**の QuickJack フレーム上に上昇させた車の下に補助安全スタンドを配置する必要があります。

フレームを第一ロック位置から下降させる

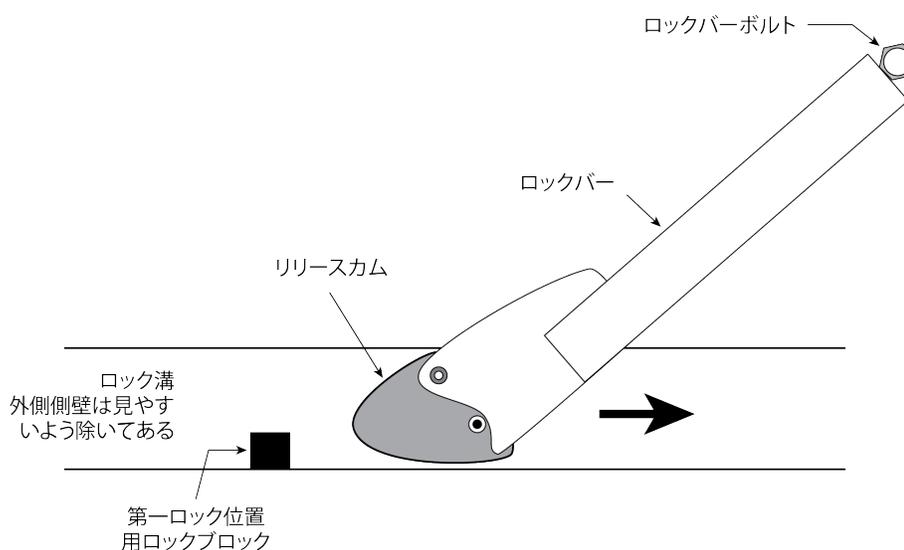
QuickJack フレームを第一ロック位置から下げる場合と上部のロック位置から下げる場合とでは違いがあるため、以下個別に説明します。

警告 QuickJack フレームを下げる際には、ロックバーとリリースカムがそれぞれのロック溝にとどまっていることを確認します。横方向に外れると、ロック溝のレール上に突っかかってしまい、QuickJack が正常に下がらなくなります。

QuickJack フレームを第一ロック位置から下げるには：

1. ペンダント型制御器で上昇ボタンを、リリースカムがロックブロックを通過するまで押し続け、通り越したら上昇ボタンを放します。

リリースカムとロックバーは、上部ロック位置に向かってロックブロックから離れて行きます。



縮尺どおりになっているわけではありません。すべての構成部品が表示されているわけではありません。リリースカムとロックバーが、第一ロック位置を後にして、上部ロック位置に向かう状態が示されています。

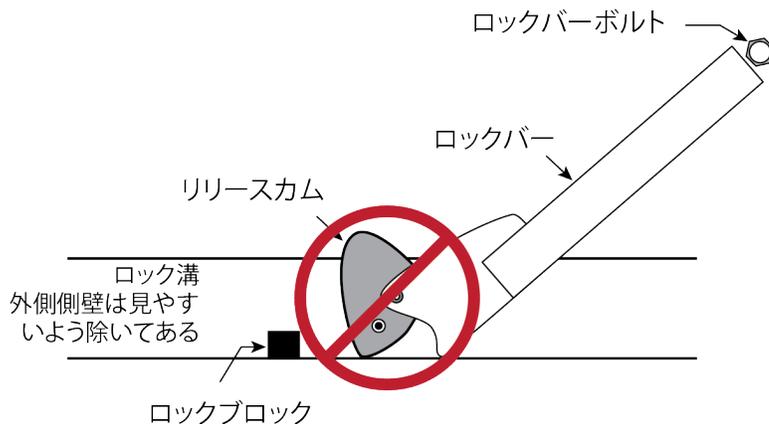
2. リリースカムとロックバーがロックブロックを通り越えたら、QuickJackフレームが下がり始めるまで下降ボタンを押し続けます。

リリースカムがロックバーをロックブロック上に移動させます。

注： ロックバーが再びロックブロック上にロックしてしまう場合には、再度上昇させ、今度は前回より多少上まで上げます。ここでやりたいことは、リリースカムを上図に示されているように下位置にすることです。

下の図のようにリリースカムが上位置にある場合は、リリースカムとロックバーを下げないでください。リリースカムは、前ページの図に示されているように、下位置になっている必要があります。

リリースカムが上位置にある場合は、注意して手でそれを下位置になるようにします。



縮尺どおりになっているわけではありません。すべての構成部品が表示されているわけではありません。リリースカムが上位置にある状態が示されており、これは下降にかかる前に下位置に変更する必要があります。

片側がロックブロックに再びかみ合い、他の側はそうならない場合は、直ちに下降ボタンを放し、上昇ボタンを押して、ロックブロックを通り越して前回より先に進めてから上昇ボタンを放し、それから下降ボタンを押します。この問題が解消しない場合は、「トラブルシューティング」の項を参照してください。

注： QuickJack では、フレームが床面に達した後も 5 秒間ほど下降ボタンを押していることを推奨しています。こうすることにより、できる限り多くの作動油を作動油タンクに戻します。

3. 車の下側からQuickJackフレームを取り出します。この際、クイックフレームハンドルを使用することもできます。
4. 必要に応じて、車を移動します。

⚠ 注意 QuickJack フレームや油圧ホースを車のタイヤで踏みつけないでください。

フレームを上部のロック位置から下降させる

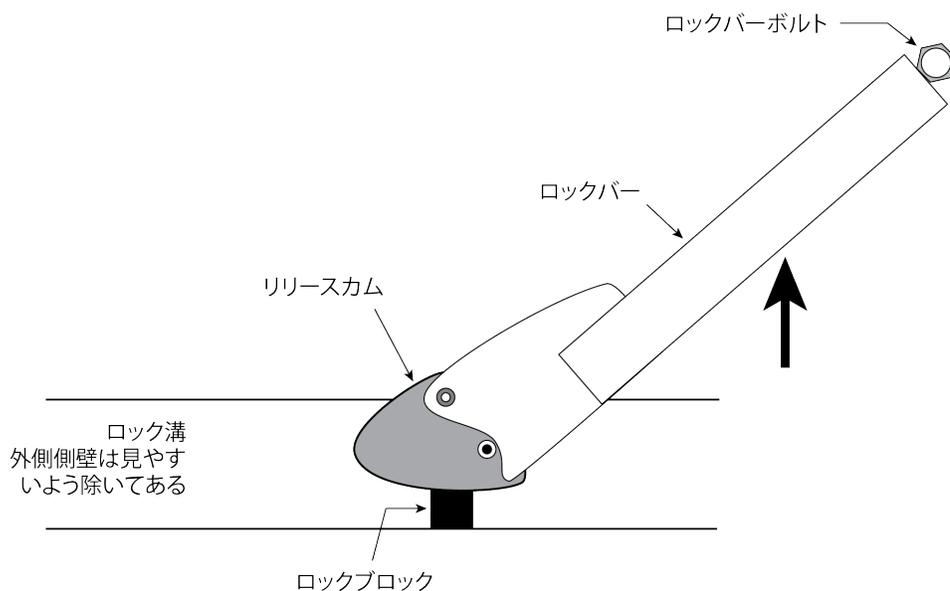
QuickJack フレームを上部ロック位置から下げる場合と第一ロック位置から下げる場合とは違いがあるため、分けて説明します。

⚠ 警告 QuickJack フレームを下げる際には、ロックバーとリリースカムがそれぞれのロック溝にとどまっていることを確認します。横方向に外れると、ロック溝のレール上に突っかかってしまい、QuickJack が正常に下がらなくなります。

QuickJack フレームを上部ロック位置から下げるには：

1. ロックバーがロックブロックから外れるまで上昇ボタンを押し続けてから、上昇ボタンを放します。
2. 下図に示すように、両フレームでリリースカムがロックブロックの上に乗るように両方の**QuickJack** フレーム上でロックバーを軽く持ち上げます。

ロックバーを持ち上げるのは、手でも足でも構いません。



縮尺どおりに描かれているわけではありません。すべての構成部品が表示されているわけではありません。ロックブロック上に乗った状態のリリースカムを示す。

3. リリースカムがロックブロック上に乗っている状態で、QuickJack フレームが床面に下がるまで 下降ボタンを押し続けます。

フレームが下がり始めて、ロックバーがロックブロックにかみ合ってしまったら、同手順をやり直します。

片側がロックブロックに再びかみ合い、他の側はそうならない場合は、直ちに下降ボタンを放し、手順をやり直します。この問題が解消しない場合は、「[トラブルシューティング](#)」の項を参照してください。

注： QuickJack では、フレームが床面に達した後も 5 秒間ほど下降ボタンを押していることを推奨しています。こうすることにより、できる限り多くの作動油を作動油タンクに戻します。

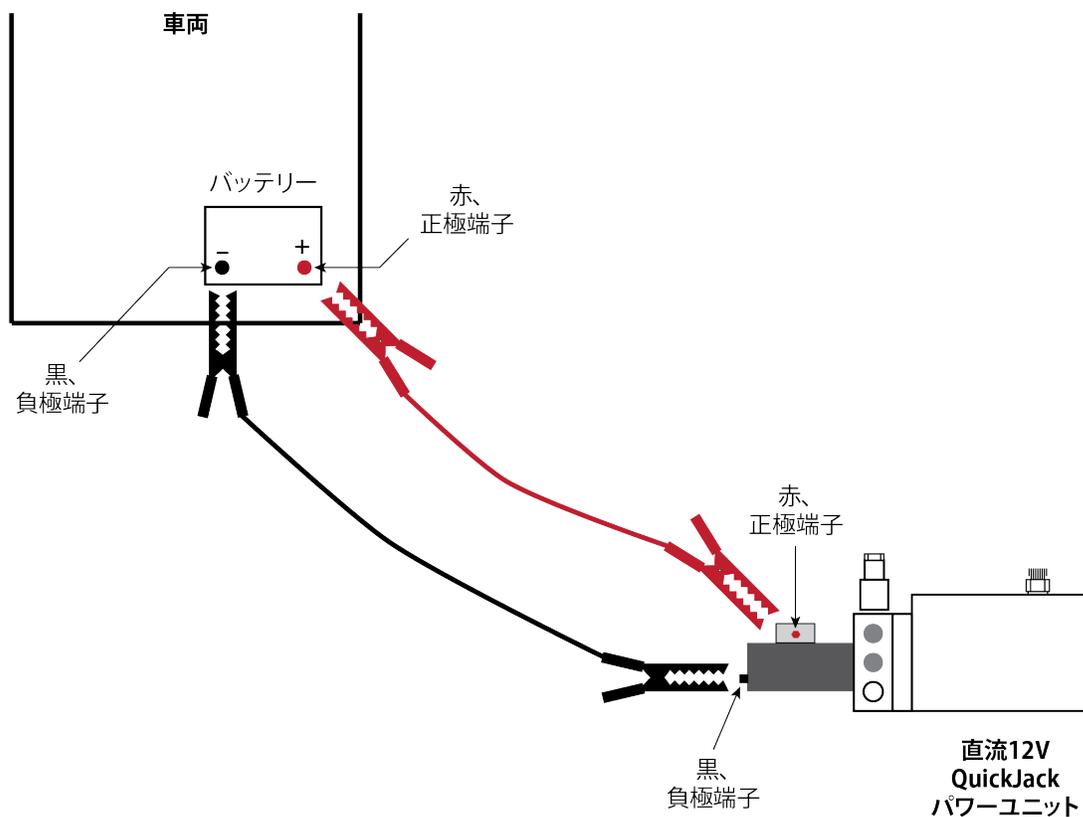
4. 車の下側から QuickJack フレームを取り出します。この際、クイックフレームハンドルを使用することもできます。
5. 必要に応じて、車を移動します。

⚠ 注意 QuickJack フレームや油圧ホース上に車を運転して乗り入れないでください。

直流12Vパワーユニットを使用する

直流 12V パワーユニットにより QuickJack を車用バッテリーとブースターケーブルを使用して駆動することが可能となり、QuickJack を様々な場所で使用できる柔軟性が得られます。

次の図では直流 12V パワーユニットを車のバッテリーに接続する方法を示します。



縮尺どおりではありません。すべての構成部品が表示されているわけではありません。ブースターケーブルおよび車用バッテリーは、直流 12V QuickJack パワーユニットに付属するものではありません。

重要： お手許の直流 12V QuickJack パワーユニットにブリーザーバルブを備えたタンクキャップが付いている場合は、パワーユニットを持ち運ぶ前にはブリーザーバルブを締めておきます。そしてパワーユニットを使用する前には必ずブリーザーバルブを開くようにします。

次に示す手順は直流 12V QuickJack パワーユニットのみに該当するものです。その他のどの QuickJack パワーユニットも車のバッテリーでは使用できません。

⚠ 警告 QuickJack では、直流 12V QuickJack パワーユニットを車のバッテリーに接続する前に、安全メガネを着用し、装身具は取り外しておくことをお勧めしています。金属が誤った箇所に触れた場合、バッテリーの爆発、車載コンピューターの損壊、手指の火傷、バッテリーの酸による火傷などにつながるようになる、短絡を引き起こしかねません。

以下の手順では、ブースターケーブルの 1 本は赤で、もう 1 本は黒であるとして説明します。

直流 **12V QuickJack** パワーユニットを車のバッテリーに接続するには：

1. QuickJack フレームを目的とする場所に置き、QuickJack パワーユニットのために適切な場所を選び、油圧ホースを使用して双方を接続します。
2. 使用しようとするバッテリーを搭載している車を直流12V QuickJack パワーユニットの近くの適切な場所に乗り入れます。

ブースターケーブルは車載バッテリーから直流 12V QuickJack パワーユニットに届くだけの長さが必要です。

3. 赤のブースターケーブルの一端を車載バッテリーのプラス端子に、他端を直流12V QuickJack パワーユニットのプラス端子に接続します。

前ページの図を参照してください。

⚠ 警告 確実にプラスをプラスにそしてマイナスをマイナスに接続するようにしてください。プラスをマイナスに接続すると、ほぼ確実にバッテリーその物も含め、車の電気系統の損傷を引き起こしてしまうこととなります。また、12V QuickJack パワーユニットも損傷する可能性があり、さらには電気火災または爆発の原因となることもあります。

4. 黒のブースターケーブルの一端を車載バッテリーのマイナス端子に、他端を直流12V QuickJack パワーユニットのマイナス端子に接続します。

5. 車のエンジンを始動させます。

BendPak では、バッテリーをあがらせることのないように、QuickJack を使用している間はエンジンをかけたままにしておくことをお勧めします。

6. QuickJack を使用します。

7. QuickJack の使用を終えたら、手順を逆にたどります。車のエンジンを切り、ブースターケーブルを車のバッテリーと直流12V QuickJack パワーユニットから取り外し、最後に QuickJack フレームを片付けます。

。

操作に関する追加情報

QuickJack の操作時には、次の事項を念頭に置いておいてください。

- 堅い平らな面でのみ使用すること。QuickJack はポータブル。新しい場所に移したら、新しい場所が堅く平らな面を備えていることを確認すること。
- 車を持ち上げようとする前に、その重量を確認する。推量ではいけない。使用する QuickJack の定格耐荷重を決して超過しないこと。
- 常にリフトブロックを使用すること。QuickJack フレームのみで荷重を上げないこと。
- リフトブロックはレシーバートレイ内のみで使用される必要がある。付属のリフトブロックはピンチ溶接フレームで使用するには設計されていない。ピンチ溶接フレームの車両の場合、QuickJack では **QuickJack** のウェブサイトから入手可能なオプションのピンチ溶接用ブロックを注文されることを推奨しています。
- SUV および小型トラック用アダプターキットをお買い上げいただいた場合、方形のパーツは QuickJack フレーム上のレシーバートレイ内にラバー面を下にして配置します。それから、丸形の積み重ね可能アダプターを方形パーツ上部の穴に、そのままあるいは延長パーツと組み合わせてセットできます。
- 毎回使用前に **QuickJack** を目視検査する。損傷やひどい摩耗が認められる場合には使用しないこと。
- 上げられている状態で車を揺さぶらない、また、過度な重量移動を引き起こすことになりかねない重量物を取り除かないこと。
- QuickJack は平行四辺形リフティングシステムを採用しています。フレームが上昇するに連れ、ジャッキの機械的力と油圧システムの圧は、平行なアーム部が上昇動作を通して高くなるに伴って、大幅に低減します。
- 平行なリフティングアームが高くなると（角度が増し）、油圧システムの圧は低減し、構造体への機械的負荷は最小になります。
- QuickJack を上部ロック位置まであげ、そこにかみ合わせることで、支持する最も安全な方法です。
- 第一ロック位置に達する前に QuickJack を停止することは、油圧システムにとって等しい圧力を維持し荷重を正しく支えることが困難な状態となります。
- 第一ロック位置を通り越すまでは、QuickJack フレームの上昇を止めないでください。
- QuickJack フレームをロック位置に入れない限りは、荷重を上昇させたままでその場を絶対離れないでください。ロック位置に入れたくないのであれば、上昇させた荷重を床面まで戻してください。

油圧システムの警告事項

▲ 警告 これらの注意事項を守らない場合には、まれではあるものの死亡事故も含む、重大な人身傷害をもたらす恐れがあります。

- すべての油圧ホース接続部は、QuickJack の使用前に正しく締め付けられている必要があります。
- 装置に負荷がかかっている状態、または油圧システムが加圧状態である間に、油圧ホースの接続を行おうとしたり、接続を外そうとしたりしてはいけません。
- クイックコネクト管継手は、清浄で汚れのないように保ちます。油圧システムにゴミが侵入することのないよう、あらゆる注意を怠らないようにします。
- 油圧管継手にスレッドシールテープを使用しないこと。
- 作動油を素手で扱わないようにします。油圧シリンダーや油圧ホースを取り扱う際は常に作業用手袋を着用してください。
- 作動油を取り扱う際は、メーカーの安全注意事項を守ってください。
- 油圧システムを扱う際には、保護具（安全メガネ、安全手袋、専用作業着、安全靴、その他）を使用してください。
- 作動油が眼に入ったり、血中に混入したり、飲み込んだりした場合には、直ちに医師の診察を受けてください。

メンテナンス

QuickJack の安全な保守に関する詳細情報については、ANSI/ALI ALIS: (R2015) Standard for Automotive Lifts – Safety Requirements for Installation and Service (ANSI/ALI ALIS (R2015) 自動車用リフト規格 – 設置とサービスに関する安全上の要件) を参照してください。

⚠ 警告 いかなるメンテナンス作業を実行する前にも、QuickJack を電源から切り離してください。QuickJack への電気供給は完全に停止し、メンテナンス作業が完了するまでは、電気供給ができないことを確実にするような措置を取る必要があります。

ラベルや摩滅した、損傷した、または壊れたパーツは、quickjack.com/replacement-parts から再発注してください。交換部品にはメーカー供給部品のみを使用してください。

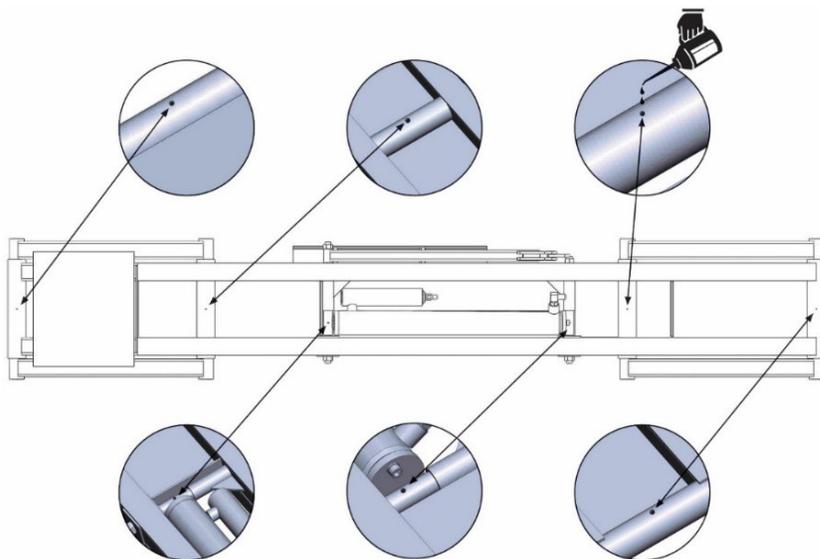
メンテナンス作業のすべては QuickJack のオーナー／オペレーターによって実施可能です。

QuickJack のメンテナンス：

- 日常。すべての可動部を目視点検し、損傷や過度の摩耗の有無をチェックする。装置を使用に復帰させる前に、損傷部品または摩耗部品は交換する。
- 日常。QuickJack のすべての構成部品を清浄に保つこと。
- 日常。安全ロックが良好に機能する状態であることを確認する。安全ロックが損傷していたり、過度に摩耗していたりする場合、その QuickJack は使用しないこと。
- 日常。リフトブロックに損傷や過度の摩耗がないか点検する。必要に応じ交換する。
- 週例。すべてのホースと管継手の接続部をチェックし、しっかり締まっていることを確認する。
- 月例。すべての蝶番部に潤滑を施し、過度の摩耗の有無をチェックする。
- 月例。エアシリンダーをチェックし、正しい圧力状態であることを確認する。
- 2 か月ごと。作動油レベルをチェックし、必要に応じ再充填する。
- 気付いた時点で。注意、警告、安全関連のラベルで、判読できなかつたり、無くなっていたりするものがあれば貼り替える。

潤滑ポイント

QuickJack では、潤滑に白色リチウムグリース（または同等品）と適切なチップ（例：Lube-Link™）を付けたグリースガンを使用を推奨しています。潤滑ポイントを以下に示します。



屋外での使用について

QuickJack は屋内での設置・使用専用で認証されています。屋外設置は禁止です。

とは言え、QuickJack はポータブルなので、屋外に持ち出すようなことになった場合には、風雨から保護すること（例えば、土埃や雨、みぞれ、雪などから）をお忘れなく。

QuickJack を屋外に持ち出して使うことになってしまった場合に考慮すべき、追加事項を何点か記しておきます。

- **厳しい環境条件は回避する必要があります。** QuickJack の保証は、雨、雪、みぞれ、過度の湿度、腐食性物質、危険で可燃性の繊維や飛散物、その他の汚染物質による損害は保証対象外とします。QuickJack はこのような環境条件から常時保護しておいてください。
- **QuickJack の寿命が短くなる場合があります。** QuickJack を屋外に持ち出すということは、より厳しい環境にさらすということになります。QuickJack は外に出れば出るほど劣化が早くなります。
- **メンテナンスと交換部品の費用が増す可能性があります。** QuickJack を外に長く置いておけばおくほど、天候からは保護してしようと、メンテナンスの必要性は増えます。金属部品は錆び、プラスチック部品は劣化・乾燥し、作動油は早く汚れるなど、など。QuickJack を屋外に長期間置いておくと、余分のメンテナンスやより頻繁な部品交換が通常は必要となります。

以下は、QuickJack を屋外に持ち出したときにどうされたかをお客様からお聞きした幾つかの事例です。

- **済んだ時点で屋内に戻した。** 当たり前のようにありますが、それでも、外での QuickJack の使用が終わったなら、天候から保護してあったとしても、屋内に戻してしっかりと清掃してください。
- **パワーユニットをカバーしておく。** これは非常に重要です。パワーユニットには電気モーターが入っています。モーターが濡れると、人が感電したり、火事になったりすることがあり、また、ほぼ確実にモーターはショートを起こして動かなくなります。こうした事故は **QuickJack** の保証ではカバーされていません。このアドバイスはお使いの QuickJack に常に当てはまります。パワーユニットはすべての湿気の元から保護しておいてください。
- **天蓋付き簡易カーポートやパーティー用天幕、その他類似の物を設営。** そしてその下に QuickJack を設置。これによって日光や雨は遮られ、QuickJack に対する屋外環境の影響が削減されます。
- **漏電遮断器 (GFCI) を使用する。** 利用可能であれば、配電盤内で GFCI 回路遮断器を使用して、回路全体を保護します。
- **メンテナンスの頻度を増やす。** メンテナンス手順書が何かを 1 日 1 回行うようにと言うなら、1 日に 2 回行います。何かを 1 週に 1 回行うようにと言うなら、1 週に 2 回行いう、といった具合です。こうすることにより、QuickJack に対する屋外の環境の影響を最小にすることができます。
- **交換部品を増やす。** 屋外に持ち出す QuickJack の部品は、通常の使用ほどは長持ちしません。早めに交換部品の発注を始めることになるでしょう。

トラブルシューティング

このセクションでは QuickJack でのトラブルシューティング方法を説明します。すべての補修作業は資格ある要員によって行われなければなりません。

⚠ 警告 交換部品にはメーカー供給部品のみを使用してください。異なる供給源からの部品を使用する場合には、保証は無効となり、QuickJack を使用する全員の安全を危うくすることになります。

注：お使いの QuickJack が正しく動作しない場合には、修正されるまでは使用を中止する必要があります。

不具合が解消しない場合には、quickjack.com/support にアクセスするか、QuickJack のサポートに support@quickjack.com 宛にてメールで、または**(888) 262-3880** 番もしくは**(805) 933-9970** 番を介して電話でご相談ください。

不具合	取るべき処置
フレームが上がりも下がりもしない。	パワーユニットに正しく電力が供給されていることを確認します。供給されていない場合は、ブレーカーをチェックします。どの油圧ホースもはさまれていたり、漏れていたりしないことを確認します。タンク内に十分なレベルの作動油があることを確認します。シリンダーのエア抜きをします。
フレームが下がらない。	フレーム上に車が載っている事を確認します。載っていなければ、荷重を加えます（QuickJackは荷重がかかった状態で機能するよう設計されています）。エアシリンダーのエア圧をチェックします。圧を40~50psiまで上げますが、50psiは超えないように。
無荷重状態のフレームが最大高さで動かなくなりました。	QuickJackフレームが最大上昇位置から下降するには荷重が必要です。「 無負荷で最大高さにあるフレーム 」を参照してください。
フレームが車輛積載状態で、床面へと下降しない。	エアシリンダーのエア圧をチェックします。40~50 psi (2.75~3.4バール) まで、ただし50 psi (3.4バール) は超えないように加圧します。これで問題が解消しない場合は、QuickJackの技術サポートに support@quickjack.com 宛にてメールで、または (888) 262-3880 番もしくは (805) 933-9970 番をダイヤルしてご相談ください。
フレームが無負荷での立ち上がりの余地がない位置から上昇しない。	QuickJackフレームは、完全に平らになった開始位置から全荷重を押し上げることはできません。「 完全に下げられたタイヤなしの車 」を参照してください。
作動油が汚れている。	汚れている作動油をきれいな作動油と入れ替えます。
ジャッキが異音を発する。	白色リチウムグリースを使用して、蝶番部に潤滑を施します。
ペンダント型制御器を使用しないのにフレームが降下する。	QuickJackがロック位置に入っていることを確認します（入っていないければ、フレームはゆっくり下がります）。
エアシリンダーが圧力を保持しない。	バルブ軸内にあるバルブコアがその場にしっかりと収まっているか確認します。つまり、エアが漏れ出していないかチェックします。チェックするには、標準的なバルブツールを使用できます。バルブコアを締め付けすぎないようにしてください。

クイックコネクト管継手の接続が次第に難しくなっている。	油圧システム内で圧力が高まっています。圧を解放するには、フレームが床面に達した後も、ペンダント型制御器の下降ボタンを5秒間ほど押し続け、作動油をできる限り多く作動油タンク内に戻すようにします。
フレームが上部ロック位置に達する前に上昇を停止してしまう。	タンク内の作動油の量が十分にありません。QuickJackフレームを床面まで下ろして、作動油をタンクに、充填口の下12mm (0.5インチ) のレベルまでつぎ足します。
ポンプからの圧がない。	ポンプをプライミングします。

無負荷で最大高さにあるフレーム

問題は、QuickJack がその上に車の荷重のかかった状態で働くよう設計・開発されていることです。最大高さで QuickJack に車が載っていない場合、時によって QuickJack は動かなくなることがあります。

車の荷重がかかっていない限り、**QuickJack** フレーム を上昇させないこと。

この問題を修正する方法には以下があります。

- つり上げ機器を使用して QuickJack フレーム上に荷重を載せる。
- QuickJack フレームを保持している油圧力を低下させる。これを行う場合には、作動油の漏れがある場合に備えてウェスを用意しておきます。

依然としてフレームを下げるできない場合は、QuickJack 技術サポートに支援を求めてください。

完全に下げられたタイヤなしの車

問題は、QuickJack フレームの上に重量がありすぎ、さらには上昇の勢いをつけるための空間的余地がないことです。荷重を少なくとも半分に減らすか、または何らかの方法で QuickJack フレームから車を持ち上げる必要があります。

この問題を修正する方法には以下があります。

- フロアジャッキを使用して車両を 10~15cm (4~6 インチ) 持ち上げる。
- つり上げ機器を使用して車両をつり上げる。

依然としてフレームを上げるできない場合は、QuickJack 技術サポートに支援を求めてください。

ポンプをプライミングする

ポンプをプライミングして、作動油をシステム内に押し入れます。希なケースですが、ポンプが圧を発生するために必要な作動油が、システム内に十分な量入っていない場合があります。ポンプをプライミングすることで、通常はこの問題は解消します。

注： ただし、リリーフバルブが備わっていないパワーユニットの場合には、プライミングすることはできないことにご留意ください。

QuickJack パワーユニットのプライミングの仕方の動画は、[オンラインでご覧いただけます](#)。

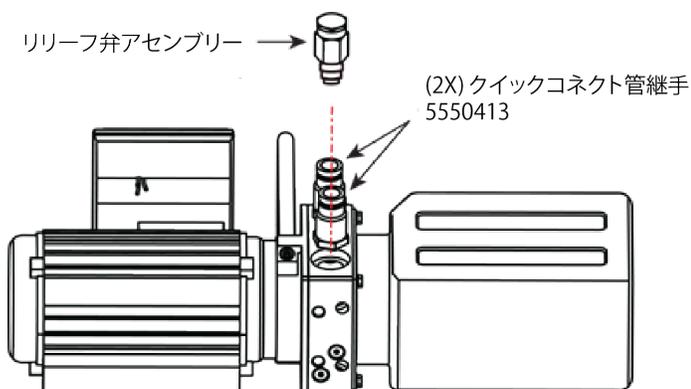
△ 注意 この手順では安全メガネと安全手袋が必要です。

通知 各パワーユニットの間では外観や感じに多少の違いがある場合がありますが、どのパワーユニットも同一タイプであれば、同一レベルの機能性を備えています。

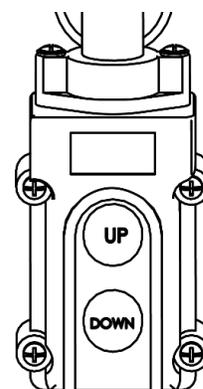
ポンプをプライミングするには：

1. 平らでしっかりした面に、パワーユニットをその背面を下にして置きます。
2. 2個の管継手の隣にあるリリーフ弁（5550413）を確認します。
3. 下図に示すように、リリーフ弁アセンブリを取り外します。キャップだけを外すのではなく、必ずアセンブリ全体を外してください。

パワーユニット：

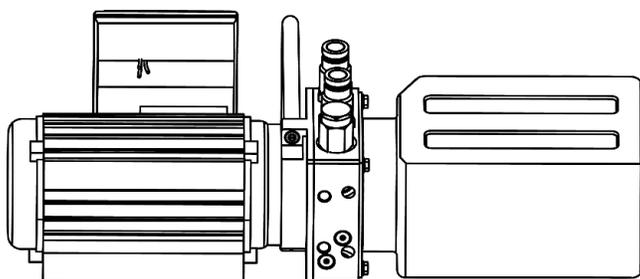


ペンダント型制御器：



4. 開口部にウエスをかけ、親指で押さえておきます。
5. ペンダント型制御器の「上昇」ボタンを、作動油がウエスにしみ通ってくるのが感じられるようになるまで何秒間か押します。
6. リリーフ弁アセンブリを取り付け戻します。

これでポンプには正常な動作のために十分な作動油が行き渡ったはずです。



油圧ホースから油圧を抜く

両フレームをロック位置にした後、ホース内の油圧を抜くために下降ボタンをさらに5秒間押し続けるのを、ユーザーが怠ることが時にあります。これを怠る場合には、油圧ホースをいったん外した後で再度接続することが極めて困難なものになります。

重要 圧を抜こうとクイックコネク tube継手のシール部を押すようなことはしないでください。圧力下の油圧ホースから作動油が噴き出すことになります。

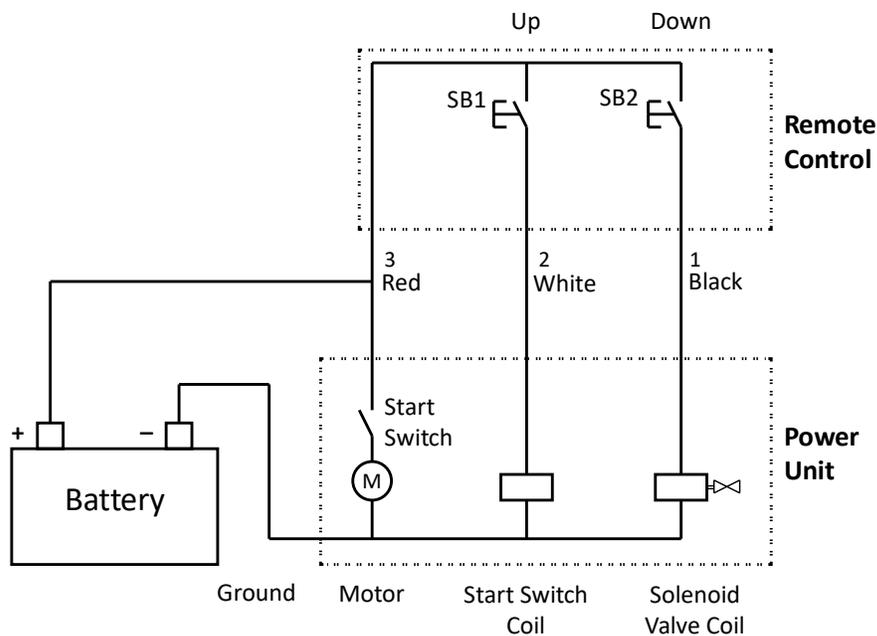
警告 圧力下にある作動油は危険です。油圧関連の取り扱い時には常に、OSHA 承認（広報 3151）の個人用保護具を着用する必要があります。目の保護と革手袋は必須です。

油圧ホースから油圧を抜く方法：

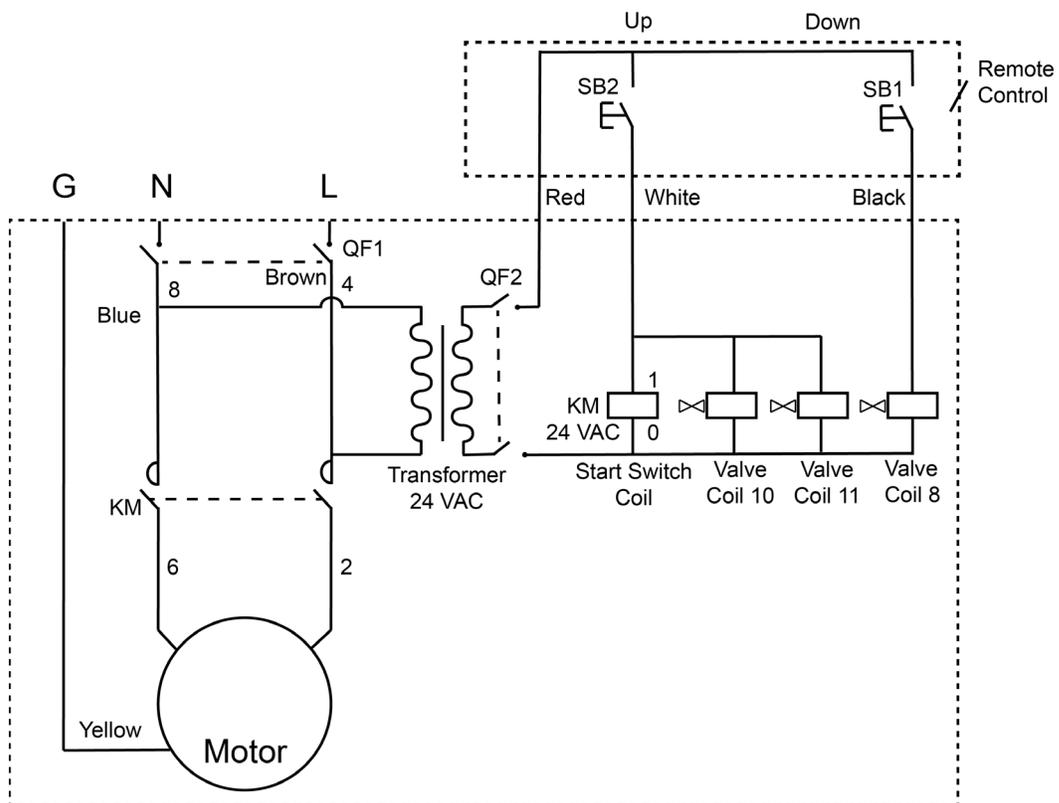
1. シューダーバルブのピンを押して、エアシリンダから空気圧を解放します。
2. 油圧ホースをクイックディスコネク tube継手部に再接続します。
3. ペンダント型制御器で「上昇」を押して、フレームを上昇させてロック位置から外します。
4. リフトを床面まで完全に下げます。
5. エアシリンダを40~50 psiまで再加圧します。

配線図

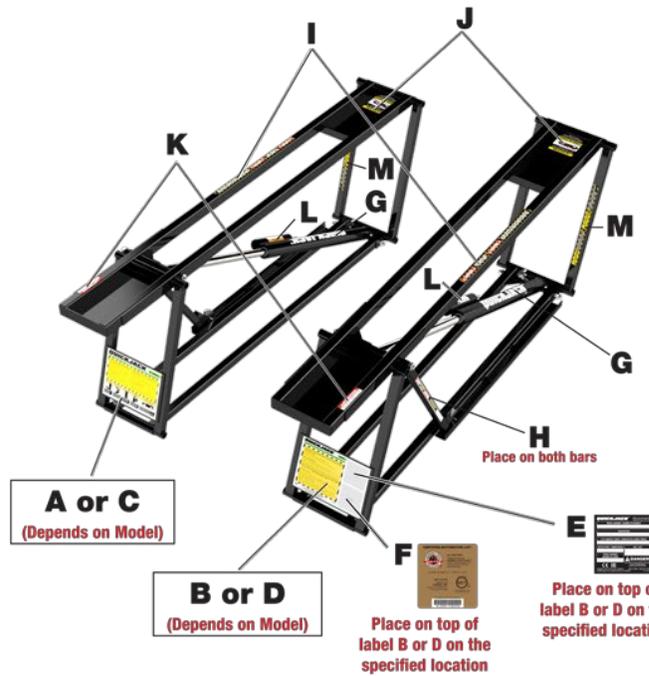
直流12V配線図



交流220V配線図 (CE認定)



ラベル



A

5000TL

QUICKJACK™ 5000TL

NET FRAME WT. (A, 77.5 kg) | POIDS NET DU CADRE: 77,5 kg | MAX. CAPACITY / PAIN: 5,000 kg | CAPACITE MAX. / PAIN: 5,000 kg

IMPORTANT OPERATION INSTRUCTIONS:

- Always check vehicle gross weight before attempting to use this equipment.
- DO NOT attempt to raise any load higher than the upper frame rails. Use the Rubber Contact Blocks to lift load. Rubber blocks MUST be in the Rubber Contact Traps.
- Always inspect all components for damage prior to use. If any damage is found, DO NOT USE THE EQUIPMENT.

HYDRAULIC POWER SYSTEM WARNINGS:

- All hose couplings MUST be correctly and positively locked together before using the equipment to prevent leakage.
- NEVER ATTEMPT to connect or disconnect hose couplings while hydraulic system is under pressure.
- Always check and wear the safety glasses. Guard against air entering the system.
- Check fluid for leaks to ensure that you are not exposed and NOT enter the hydraulic system. Turn off power switch in fluid will repair fluid from causing a sudden hydraulic.

INSTRUCTIONS UTILISATION:

- Avant toute utilisation, vérifiez le poids brut de la charge.
- NE PAS tenter de soulever une charge plus haute que les rails supérieurs du cadre. Utilisez les Blocs de Contact en Caoutchouc pour soulever la charge. Les Blocs de Contact en Caoutchouc DOIVENT être dans les Pièges à Blocs de Contact en Caoutchouc.
- Inspectez toujours tous les composants avant utilisation. En cas de dommage, NE PAS UTILISER L'ÉQUIPEMENT.

PRECAUTIONS DE SÉCURITÉ:

- Avant d'utiliser l'équipement, vérifiez que les raccords hydrauliques sont correctement et fermement verrouillés avant utilisation.
- NE PAS tenter de connecter ou déconnecter les raccords hydrauliques pendant que le système est sous pression.
- Portez toujours vos lunettes de sécurité. Protégez-vous contre l'air entrant dans le système.
- Inspectez le fluide pour les fuites afin de vous assurer que vous n'êtes pas exposés et NE PAS entrer dans le système hydraulique. Arrêtez le bouton d'arrêt d'urgence si du fluide est entré dans le système hydraulique. Ne tentez pas de réparer le fluide sans l'aide d'un technicien qualifié en réparation de fluide et empêchez un débordement de fluide.

RIGHT FRAME ONLY

PN 5905691

B

5000TL

QUICKJACK™ 5000TL

NET FRAME WT. (B, 77.5 kg) | POIDS NET DU CADRE: 77,5 kg | MAX. CAPACITY / PAIN: 5,000 kg | CAPACITE MAX. / PAIN: 5,000 kg

IMPORTANT OPERATION INSTRUCTIONS:

- Always check vehicle gross weight before attempting to use this equipment.
- DO NOT attempt to raise any load higher than the upper frame rails. Use the Rubber Contact Blocks to lift load. Rubber blocks MUST be in the Rubber Contact Traps.
- Always inspect all components for damage prior to use. If any damage is found, DO NOT USE THE EQUIPMENT.

HYDRAULIC POWER SYSTEM WARNINGS:

- All hose couplings MUST be correctly and positively locked together before using the equipment to prevent leakage.
- NEVER ATTEMPT to connect or disconnect hose couplings while hydraulic system is under pressure.
- Always check and wear the safety glasses. Guard against air entering the system.
- Check fluid for leaks to ensure that you are not exposed and NOT enter the hydraulic system. Turn off power switch in fluid will repair fluid from causing a sudden hydraulic.

INSTRUCTIONS UTILISATION:

- Avant toute utilisation, vérifiez le poids brut de la charge.
- NE PAS tenter de soulever une charge plus haute que les rails supérieurs du cadre. Utilisez les Blocs de Contact en Caoutchouc pour soulever la charge. Les Blocs de Contact en Caoutchouc DOIVENT être dans les Pièges à Blocs de Contact en Caoutchouc.
- Inspectez toujours tous les composants avant utilisation. En cas de dommage, NE PAS UTILISER L'ÉQUIPEMENT.

PRECAUTIONS DE SÉCURITÉ:

- Avant d'utiliser l'équipement, vérifiez que les raccords hydrauliques sont correctement et fermement verrouillés avant utilisation.
- NE PAS tenter de connecter ou déconnecter les raccords hydrauliques pendant que le système est sous pression.
- Portez toujours vos lunettes de sécurité. Protégez-vous contre l'air entrant dans le système.
- Inspectez le fluide pour les fuites afin de vous assurer que vous n'êtes pas exposés et NE PAS entrer dans le système hydraulique. Arrêtez le bouton d'arrêt d'urgence si du fluide est entré dans le système hydraulique. Ne tentez pas de réparer le fluide sans l'aide d'un technicien qualifié en réparation de fluide et empêchez un débordement de fluide.

LEFT FRAME ONLY

PN 5905380

C

5000TLX

QUICKJACK™ 5000TLX

NET FRAME WT. (A, 81.75 kg) | POIDS NET DU CADRE: 81,75 kg | MAX. CAPACITY / PAIN: 5,000 kg | CAPACITE MAX. / PAIN: 5,000 kg

IMPORTANT OPERATION INSTRUCTIONS:

- Always check vehicle gross weight before attempting to use this equipment.
- DO NOT attempt to raise any load higher than the upper frame rails. Use the Rubber Contact Blocks to lift load. Rubber blocks MUST be in the Rubber Contact Traps.
- Always inspect all components for damage prior to use. If any damage is found, DO NOT USE THE EQUIPMENT.

HYDRAULIC POWER SYSTEM WARNINGS:

- All hose couplings MUST be correctly and positively locked together before using the equipment to prevent leakage.
- NEVER ATTEMPT to connect or disconnect hose couplings while hydraulic system is under pressure.
- Always check and wear the safety glasses. Guard against air entering the system.
- Check fluid for leaks to ensure that you are not exposed and NOT enter the hydraulic system. Turn off power switch in fluid will repair fluid from causing a sudden hydraulic.

INSTRUCTIONS UTILISATION:

- Avant toute utilisation, vérifiez le poids brut de la charge.
- NE PAS tenter de soulever une charge plus haute que les rails supérieurs du cadre. Utilisez les Blocs de Contact en Caoutchouc pour soulever la charge. Les Blocs de Contact en Caoutchouc DOIVENT être dans les Pièges à Blocs de Contact en Caoutchouc.
- Inspectez toujours tous les composants avant utilisation. En cas de dommage, NE PAS UTILISER L'ÉQUIPEMENT.

PRECAUTIONS DE SÉCURITÉ:

- Avant d'utiliser l'équipement, vérifiez que les raccords hydrauliques sont correctement et fermement verrouillés avant utilisation.
- NE PAS tenter de connecter ou déconnecter les raccords hydrauliques pendant que le système est sous pression.
- Portez toujours vos lunettes de sécurité. Protégez-vous contre l'air entrant dans le système.
- Inspectez le fluide pour les fuites afin de vous assurer que vous n'êtes pas exposés et NE PAS entrer dans le système hydraulique. Arrêtez le bouton d'arrêt d'urgence si du fluide est entré dans le système hydraulique. Ne tentez pas de réparer le fluide sans l'aide d'un technicien qualifié en réparation de fluide et empêchez un débordement de fluide.

RIGHT FRAME ONLY

PN 5905692

D

5000TLX

QUICKJACK™ 5000TLX

NET FRAME WT. (B, 81.75 kg) | POIDS NET DU CADRE: 81,75 kg | MAX. CAPACITY / PAIN: 5,000 kg | CAPACITE MAX. / PAIN: 5,000 kg

IMPORTANT OPERATION INSTRUCTIONS:

- Always check vehicle gross weight before attempting to use this equipment.
- DO NOT attempt to raise any load higher than the upper frame rails. Use the Rubber Contact Blocks to lift load. Rubber blocks MUST be in the Rubber Contact Traps.
- Always inspect all components for damage prior to use. If any damage is found, DO NOT USE THE EQUIPMENT.

HYDRAULIC POWER SYSTEM WARNINGS:

- All hose couplings MUST be correctly and positively locked together before using the equipment to prevent leakage.
- NEVER ATTEMPT to connect or disconnect hose couplings while hydraulic system is under pressure.
- Always check and wear the safety glasses. Guard against air entering the system.
- Check fluid for leaks to ensure that you are not exposed and NOT enter the hydraulic system. Turn off power switch in fluid will repair fluid from causing a sudden hydraulic.

INSTRUCTIONS UTILISATION:

- Avant toute utilisation, vérifiez le poids brut de la charge.
- NE PAS tenter de soulever une charge plus haute que les rails supérieurs du cadre. Utilisez les Blocs de Contact en Caoutchouc pour soulever la charge. Les Blocs de Contact en Caoutchouc DOIVENT être dans les Pièges à Blocs de Contact en Caoutchouc.
- Inspectez toujours tous les composants avant utilisation. En cas de dommage, NE PAS UTILISER L'ÉQUIPEMENT.

PRECAUTIONS DE SÉCURITÉ:

- Avant d'utiliser l'équipement, vérifiez que les raccords hydrauliques sont correctement et fermement verrouillés avant utilisation.
- NE PAS tenter de connecter ou déconnecter les raccords hydrauliques pendant que le système est sous pression.
- Portez toujours vos lunettes de sécurité. Protégez-vous contre l'air entrant dans le système.
- Inspectez le fluide pour les fuites afin de vous assurer que vous n'êtes pas exposés et NE PAS entrer dans le système hydraulique. Arrêtez le bouton d'arrêt d'urgence si du fluide est entré dans le système hydraulique. Ne tentez pas de réparer le fluide sans l'aide d'un technicien qualifié en réparation de fluide et empêchez un débordement de fluide.

LEFT FRAME ONLY

PN 5905381

A

7000TL

QUICKJACK™ 7000TL
NET FRAME WT. (LBS.) / POIDS NET DU CADRE (KG.) SMALL CAPACITY PAIR (LBS.) / CAPACITÉ PAIR (LBS.)

WARNING / RANGER CANNOT BE RESPONSIBLE FOR DAMAGE OR INJURY RESULTING FROM LACK OF MAINTENANCE OR IMPROPER USE OF THIS PRODUCT. READ AND UNDERSTAND ALL WARNINGS AND INSTRUCTIONS BEFORE USE.

IMPORTANT OPERATION INSTRUCTIONS:
Always check vehicle gross weight before attempting to use this equipment.
NEVER attempt to raise any load on the upper frame rails. Use RIBBED CONTACT BLOCKS ONLY.
Always inspect all components for damage prior to use. If any damage is found, DO NOT USE THIS EQUIPMENT.

HYDRAULIC POWER SYSTEM WARNINGS:
All hose couplers must be correctly and completely fastened together before using the equipment or operating controls.
NEVER ATTEMPT to connect or disconnect hose couplers while hydraulic system is under pressure.
Keep fingers clear and feet of vehicle. Guard against oil splashing the system.
Care must be taken to ensure that type of thread used does not enter the hydraulic system. Type of thread used in fluid will enter fluid flow causing system malfunction.

INSTRUCTIONS D'UTILISATION:
Vérifier que votre véhicule ne soit pas au-dessus de sa charge.
NE PAS tenter de lever une charge sur les rails supérieurs de la caisse. Utiliser uniquement les blocs à contact à rainures.
Inspecter minutieusement tous les composants avant utilisation. En cas de dommage, NE PAS UTILISER L'ÉQUIPEMENT.

NE PAS tenter de connecter ou déconnecter les raccords de tuyaux alors que le système hydraulique est sous pression.
Gardez les doigts et les pieds à l'écart. Évitez les éclaboussures d'huile sur le système.
Prenez soin d'assurer l'utilisation adéquate de la vis de serrage. Le type de vis de serrage utilisé dans le fluide hydraulique entrera dans le fluide et causera un dysfonctionnement du système.

USE ONLY AN ULTIMATED UPFRONT LIFTING POINT AS SHOWN IN THE ILLUSTRATION.

CE

Right Frame Only PN 5905693

B

QUICKJACK™ 7000TL
NET FRAME WT. (LBS.) / POIDS NET DU CADRE (KG.) SMALL CAPACITY PAIR (LBS.) / CAPACITÉ PAIR (LBS.)

WARNING / RANGER CANNOT BE RESPONSIBLE FOR DAMAGE OR INJURY RESULTING FROM LACK OF MAINTENANCE OR IMPROPER USE OF THIS PRODUCT. READ AND UNDERSTAND ALL WARNINGS AND INSTRUCTIONS BEFORE USE.

IMPORTANT OPERATION INSTRUCTIONS:
Always check vehicle gross weight before attempting to use this equipment.
NEVER attempt to raise any load on the upper frame rails. Use RIBBED CONTACT BLOCKS ONLY.
Always inspect all components for damage prior to use. If any damage is found, DO NOT USE THIS EQUIPMENT.

HYDRAULIC POWER SYSTEM WARNINGS:
All hose couplers must be correctly and completely fastened together before using the equipment or operating controls.
NEVER ATTEMPT to connect or disconnect hose couplers while hydraulic system is under pressure.
Keep fingers clear and feet of vehicle. Guard against oil splashing the system.
Care must be taken to ensure that type of thread used does not enter the hydraulic system. Type of thread used in fluid will enter fluid flow causing system malfunction.

INSTRUCTIONS D'UTILISATION:
Vérifier que votre véhicule ne soit pas au-dessus de sa charge.
NE PAS tenter de lever une charge sur les rails supérieurs de la caisse. Utiliser uniquement les blocs à contact à rainures.
Inspecter minutieusement tous les composants avant utilisation. En cas de dommage, NE PAS UTILISER L'ÉQUIPEMENT.

NE PAS tenter de connecter ou déconnecter les raccords de tuyaux alors que le système hydraulique est sous pression.
Gardez les doigts et les pieds à l'écart. Évitez les éclaboussures d'huile sur le système.
Prenez soin d'assurer l'utilisation adéquate de la vis de serrage. Le type de vis de serrage utilisé dans le fluide hydraulique entrera dans le fluide et causera un dysfonctionnement du système.

USE ONLY AN ULTIMATED UPFRONT LIFTING POINT AS SHOWN IN THE ILLUSTRATION.

CE

Left Frame Only PN 5905383

C

7000TLX

QUICKJACK™ 7000TLX
NET FRAME WT. (LBS.) / POIDS NET DU CADRE (KG.) SMALL CAPACITY PAIR (LBS.) / CAPACITÉ PAIR (LBS.)

WARNING / RANGER CANNOT BE RESPONSIBLE FOR DAMAGE OR INJURY RESULTING FROM LACK OF MAINTENANCE OR IMPROPER USE OF THIS PRODUCT. READ AND UNDERSTAND ALL WARNINGS AND INSTRUCTIONS BEFORE USE.

IMPORTANT OPERATION INSTRUCTIONS:
Always check vehicle gross weight before attempting to use this equipment.
NEVER attempt to raise any load on the upper frame rails. Use RIBBED CONTACT BLOCKS ONLY.
Always inspect all components for damage prior to use. If any damage is found, DO NOT USE THIS EQUIPMENT.

HYDRAULIC POWER SYSTEM WARNINGS:
All hose couplers must be correctly and completely fastened together before using the equipment or operating controls.
NEVER ATTEMPT to connect or disconnect hose couplers while hydraulic system is under pressure.
Keep fingers clear and feet of vehicle. Guard against oil splashing the system.
Care must be taken to ensure that type of thread used does not enter the hydraulic system. Type of thread used in fluid will enter fluid flow causing system malfunction.

INSTRUCTIONS D'UTILISATION:
Vérifier que votre véhicule ne soit pas au-dessus de sa charge.
NE PAS tenter de lever une charge sur les rails supérieurs de la caisse. Utiliser uniquement les blocs à contact à rainures.
Inspecter minutieusement tous les composants avant utilisation. En cas de dommage, NE PAS UTILISER L'ÉQUIPEMENT.

NE PAS tenter de connecter ou déconnecter les raccords de tuyaux alors que le système hydraulique est sous pression.
Gardez les doigts et les pieds à l'écart. Évitez les éclaboussures d'huile sur le système.
Prenez soin d'assurer l'utilisation adéquate de la vis de serrage. Le type de vis de serrage utilisé dans le fluide hydraulique entrera dans le fluide et causera un dysfonctionnement du système.

USE ONLY AN ULTIMATED UPFRONT LIFTING POINT AS SHOWN IN THE ILLUSTRATION.

CE

Right Frame Only PN 5905694

D

QUICKJACK™ 7000TLX
NET FRAME WT. (LBS.) / POIDS NET DU CADRE (KG.) SMALL CAPACITY PAIR (LBS.) / CAPACITÉ PAIR (LBS.)

WARNING / RANGER CANNOT BE RESPONSIBLE FOR DAMAGE OR INJURY RESULTING FROM LACK OF MAINTENANCE OR IMPROPER USE OF THIS PRODUCT. READ AND UNDERSTAND ALL WARNINGS AND INSTRUCTIONS BEFORE USE.

IMPORTANT OPERATION INSTRUCTIONS:
Always check vehicle gross weight before attempting to use this equipment.
NEVER attempt to raise any load on the upper frame rails. Use RIBBED CONTACT BLOCKS ONLY.
Always inspect all components for damage prior to use. If any damage is found, DO NOT USE THIS EQUIPMENT.

HYDRAULIC POWER SYSTEM WARNINGS:
All hose couplers must be correctly and completely fastened together before using the equipment or operating controls.
NEVER ATTEMPT to connect or disconnect hose couplers while hydraulic system is under pressure.
Keep fingers clear and feet of vehicle. Guard against oil splashing the system.
Care must be taken to ensure that type of thread used does not enter the hydraulic system. Type of thread used in fluid will enter fluid flow causing system malfunction.

INSTRUCTIONS D'UTILISATION:
Vérifier que votre véhicule ne soit pas au-dessus de sa charge.
NE PAS tenter de lever une charge sur les rails supérieurs de la caisse. Utiliser uniquement les blocs à contact à rainures.
Inspecter minutieusement tous les composants avant utilisation. En cas de dommage, NE PAS UTILISER L'ÉQUIPEMENT.

NE PAS tenter de connecter ou déconnecter les raccords de tuyaux alors que le système hydraulique est sous pression.
Gardez les doigts et les pieds à l'écart. Évitez les éclaboussures d'huile sur le système.
Prenez soin d'assurer l'utilisation adéquate de la vis de serrage. Le type de vis de serrage utilisé dans le fluide hydraulique entrera dans le fluide et causera un dysfonctionnement du système.

USE ONLY AN ULTIMATED UPFRONT LIFTING POINT AS SHOWN IN THE ILLUSTRATION.

CE

Left Frame Only PN 5905384

E

QUICKJACK™ 1645 Lemonwood Dr. Santa Paula, CA USA

MODEL NUMBER / NUMÉRO DE MODÈLE

DESCRIPTION

LIFT CAPACITY (PAIR) / CAPACITÉ DE LEVAGE (PAIRE)

DATE CODE / CODE DATE

UPC / CUP

SERIAL NUMBER / NUMÉRO DE SÉRIE

CE **ETL**

WARRANTY VOID IF DATE PLATE IS REMOVED / GARANTIE NULLE SI LA PLAQUE DE DATE A ÉTÉ ENLEVÉE

MADE IN CHINA / FABRIQUÉ EN CHINE

PN 5905433

PN 5905433

F

CERTIFIED AUTOMOTIVE LIFT

INDEPENDENTLY TESTED
ALI
CERTIFIED
AND VALIDATED

ALI CERTIFIED
To the provisions of **ANSI/ALI ALCVTY-2017**
SAFETY REQUIREMENTS FOR CONSTRUCTION, TESTING AND VALIDATION

Automotive Lift Institute, Inc. | Corland, NY 13045

MET LISTED
Conforms to **ANSI/UL 201**
SAFETY STANDARD FOR GARAGE EQUIPMENT

NET LISTED
MET
US

MET Laboratories, Inc. BALTIMORE, MD 21230

Certification Label Serial Number

A L 0 0 6 1 7 0 0 0 N

PN 5905653

PN 5905653

G

PN 5905745

H

PN 5905428

I

PN 5905429

J

PN 5905432

K

PN 5905438

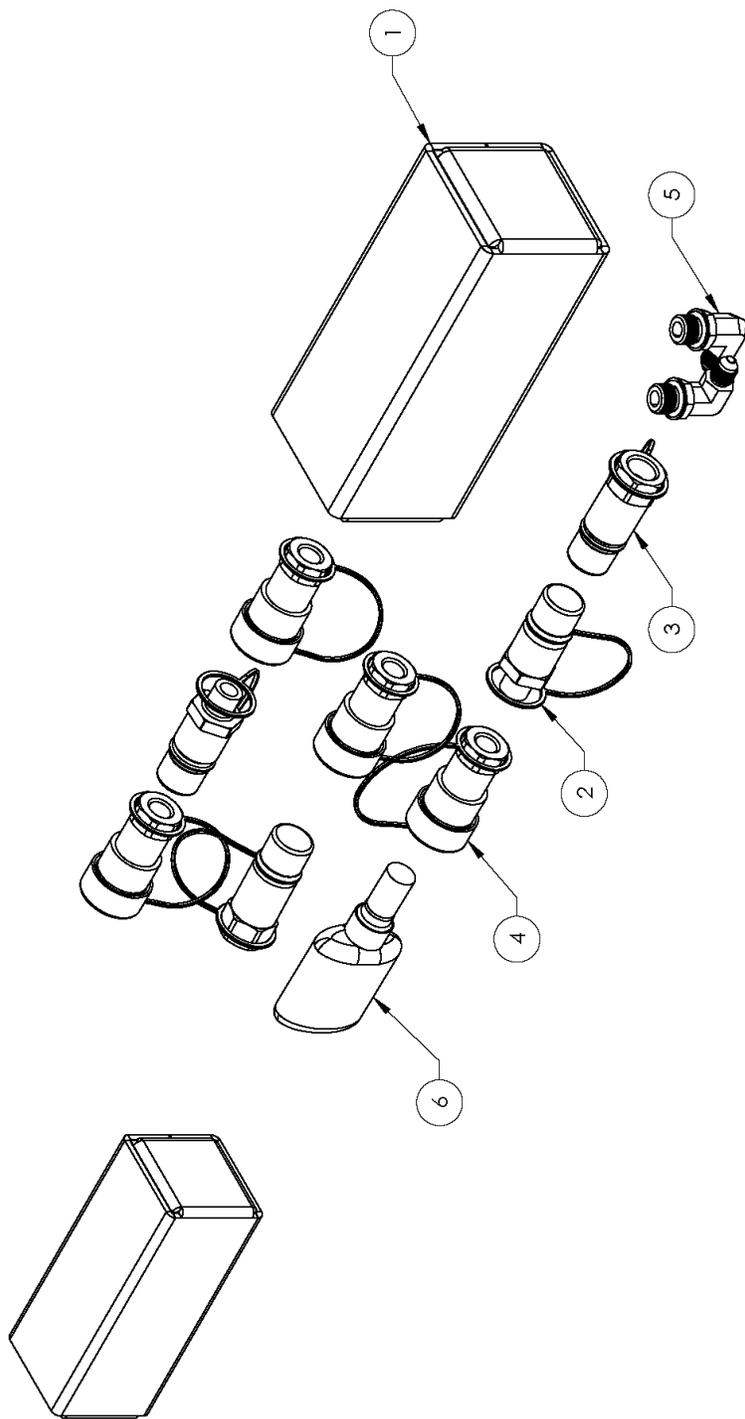
L

PN 5905434

M

PN 5905036

部品詳細図

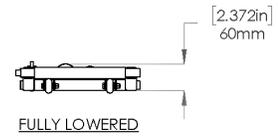
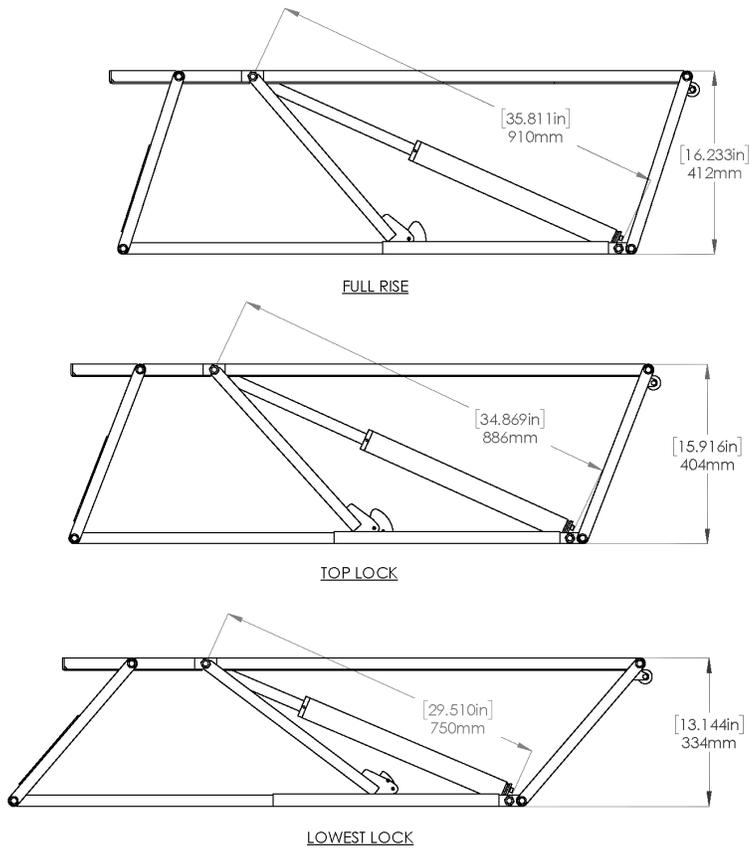


ITEM NO	PART NUMBER	DESCRIPTION	QTY	REV
1	5910092	QUICKJACK PARTS BAG BOX	1	B
2	5550413	FIG NPL-06 ORB x 1/4NS; QUICK-CON COUP MALE	2	--
3	5550032	FIG NPL-04 NPT Fx 1/4 QUICK-CONNECTOR COUPLER MALE; NON SPILL DESIGN	2	--
4	5550031	FIG NPL-04 NPT Fx 1/4 QUICK-CONNECTOR COUPLER FEMALE; NON SPILL DESIGN	4	--
5	5550103	FIG ELB-04 JIC -06 ORB	2	--
6	5580012	LIQUID PIPE THREAD SEALANT 50ml	1	--

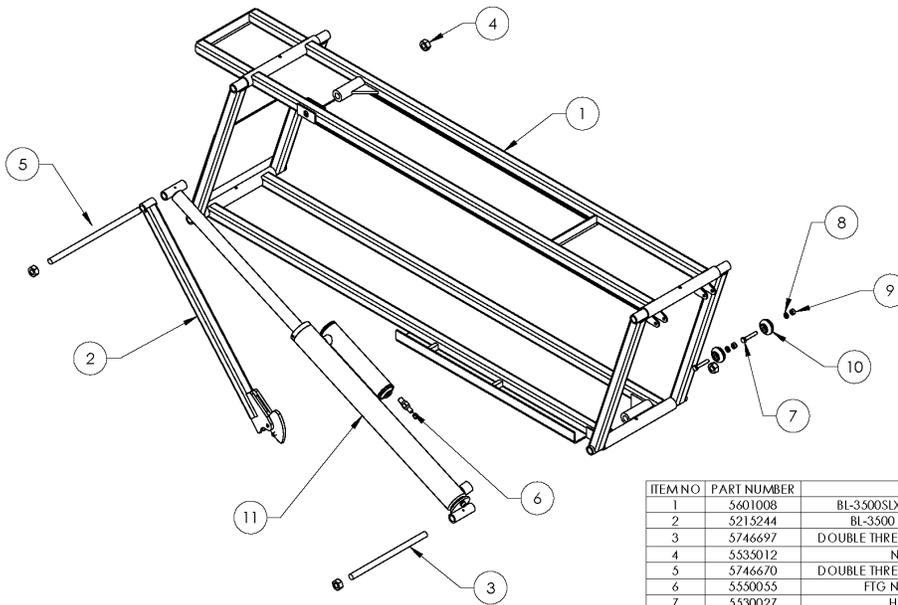
DO NOT SCALE DRAWING		NAME	DATE
DRAWN	TM	10/28/2019	
CHECKED	OR	09/03/2020	
THIRD ANGLE PROJECTION			
DIMENSIONS ARE IN MM			

1645 LEMONWOOD DR. SANTA PAULA, CA 93060	
TITLE: QUICKJACK PARTS BAG	
SEE DWG. NO.	REV
A	5174043
SCALE: 1:3	
SHEET 1 OF 1	

PROPRIETARY AND CONFIDENTIAL
THIS DRAWING IS THE SOLE PROPERTY OF BENDPAK INC. ANY REPRODUCTION OR DISTRIBUTION WITHOUT THE WRITTEN PERMISSION OF BENDPAK INC. IS PROHIBITED.

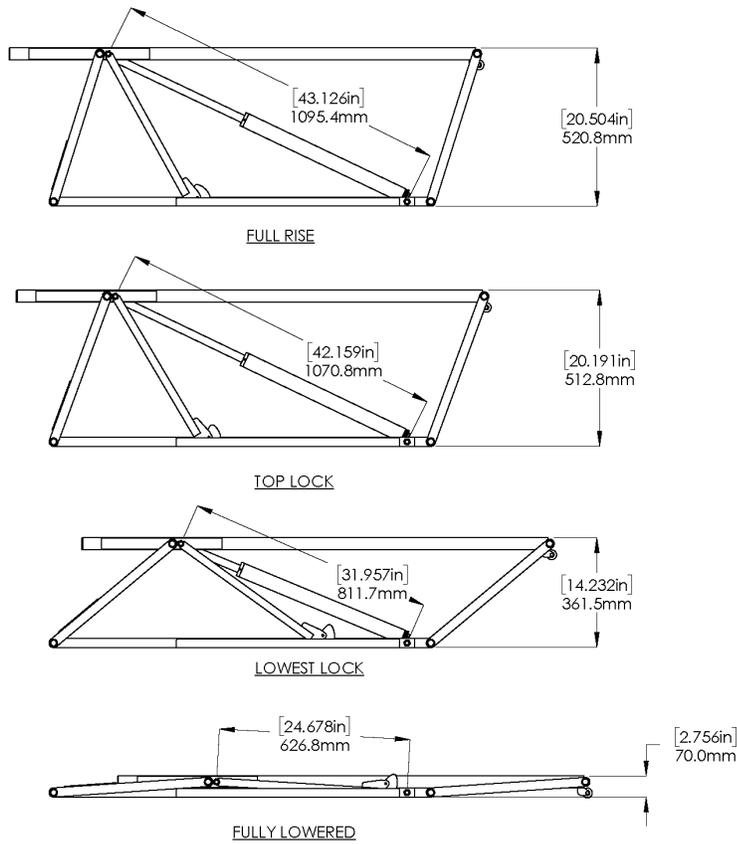


BP BendPak.	
1645 LEMONWOOD DR. SANTA PAULA, CA 93060	
TITLE: 3500SLX FRAME ASSEMBLY	
SIZE: DWG. NO.	REV
A 5215416	U
SCALE: 1:10	SHEET 2 OF 2



ITEM NO	PART NUMBER	DESCRIPTION	QTY	REV
1	5601008	BL-3500SLX FRAME WELDMENT, L.H.	1	K
2	5215244	BL-3500 SAFETY BAR ASSEMBLY	1	D
3	5746697	D DOUBLE THREADED ROD M12 x 1.75 x 212	1	B
4	5535012	NUT M12x1.75 NL	4	-
5	5746670	D DOUBLE THREADED ROD M12 x 1.75 x 254	1	G
6	5550055	FTG NPT-02 STM x -02 NPT	1	-
7	5530027	HHB M6 x 1.0 x 35	2	-
8	5545026	WASHER M6 x Ø12 SL	2	-
9	5535357	NUT M6 x 1.0 NL	2	-
10	5716192	QUICKJACK POLYURETHANE WHEEL	2	E
11	5502520	OFFSET CYLINDER ASSEMBLY Ø1.5 x 15	1	M

DO NOT SCALE DRAWING		NAME	DATE	BP BendPak. 1645 LEMONWOOD DR. SANTA PAULA, CA 93060
DIMENSIONS ARE IN MM		DRAWN	06/18/2015	
THIRD ANGLE PROJECTION		CHECKED	OR 10/30/2020	TITLE: 3500SLX FRAME ASSEMBLY
		SIZE: DWG. NO.	REV	
		A 5215416	U	SCALE: 1:10
<small>PROPRIETARY AND CONFIDENTIAL THE INFORMATION CONTAINED IN THIS DRAWING IS THE SOLE PROPERTY OF BENDPAK INC. REPRODUCTION IN PART OR AS A WHOLE WITHOUT THE WRITTEN PERMISSION OF BENDPAK INC. IS PROHIBITED.</small>				SHEET 1 OF 2

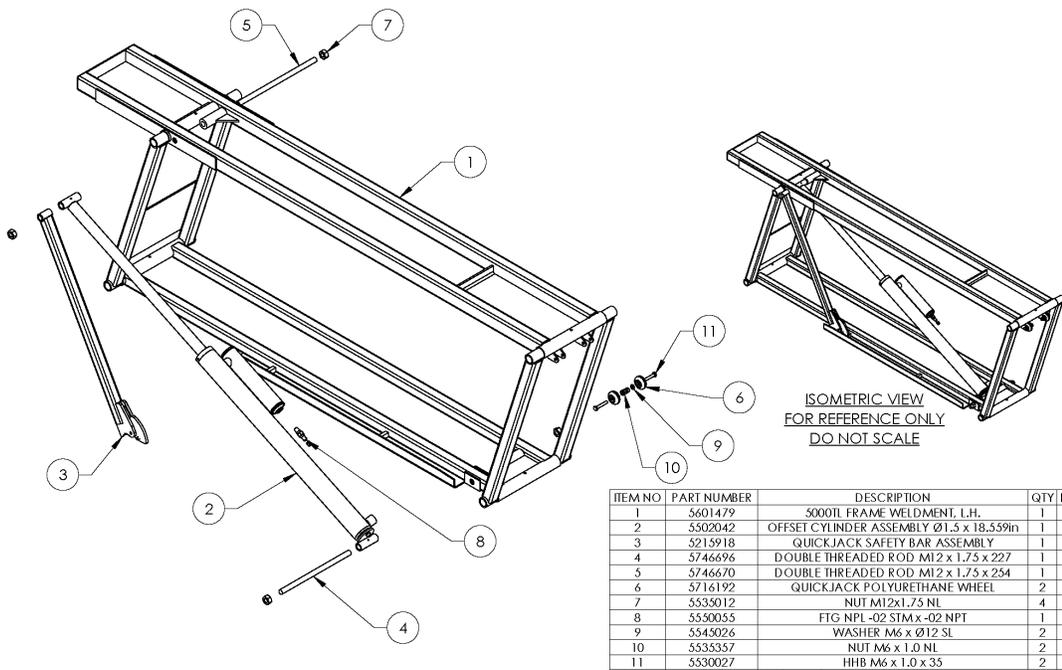


BP BendPak.
 1645 LEMONWOOD DR.
 SANTA PAULA, CA 93060

TITLE: 5000TL FRAME ASSEMBLY

SIZE DWG. NO. REV
 A 5215920 C

SCALE: 1:15 SHEET 2 OF 2



ITEM NO	PART NUMBER	DESCRIPTION	QTY	REV
1	5601479	5000TL FRAME WELDMENT, L.H.	1	D
2	5502042	OFFSET CYLINDER ASSEMBLY Ø1.5 x 18.559in	1	C
3	5215918	QUICKJACK SAFETY BAR ASSEMBLY	1	B
4	5746696	DOUBLE THREADED ROD M12 x 1.75 x 227	1	E
5	5746670	DOUBLE THREADED ROD M12 x 1.75 x 234	1	G
6	5714192	QUICKJACK POLYURETHANE WHEEL	2	E
7	5533012	NUT M12x1.75 NL	4	-
8	5550055	FIG NPT -02 STM x -02 NPT	1	-
9	5545026	WASHER M6 x Ø12 SL	2	-
10	5533357	NUT M6 x 1.0 NL	2	-
11	5530027	HHB M6 x 1.0 x 35	2	-

DO NOT SCALE DRAWING

NAME DATE
 TM 04/03/2020

CHECKED OR
 01/25/2021

THIRD ANGLE PROJECTION

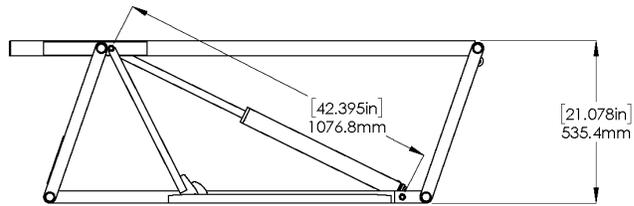
BP BendPak.
 1645 LEMONWOOD DR.
 SANTA PAULA, CA 93060

TITLE: 5000TL FRAME ASSEMBLY

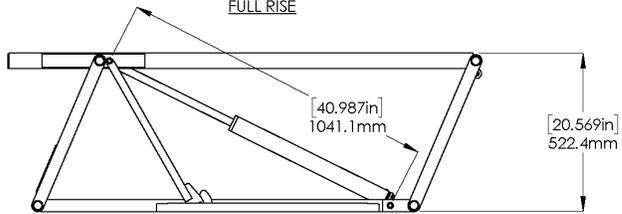
SIZE DWG. NO. REV
 A 5215920 D

SCALE: 1:10 SHEET 1 OF 2

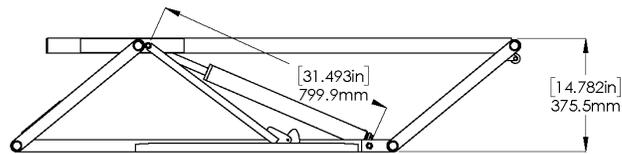
PROPRIETARY AND CONFIDENTIAL
 THIS DRAWING IS THE PROPERTY OF BENDPAK INC. AND IS NOT TO BE REPRODUCED OR TRANSMITTED IN ANY FORM OR BY ANY MEANS, WITHOUT THE WRITTEN PERMISSION OF BENDPAK INC. © 2020



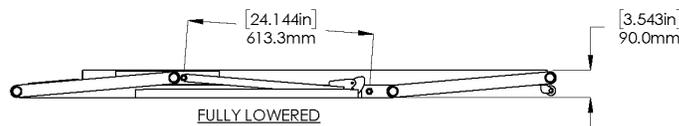
FULL RISE



TOP LOCK



LOWEST LOCK



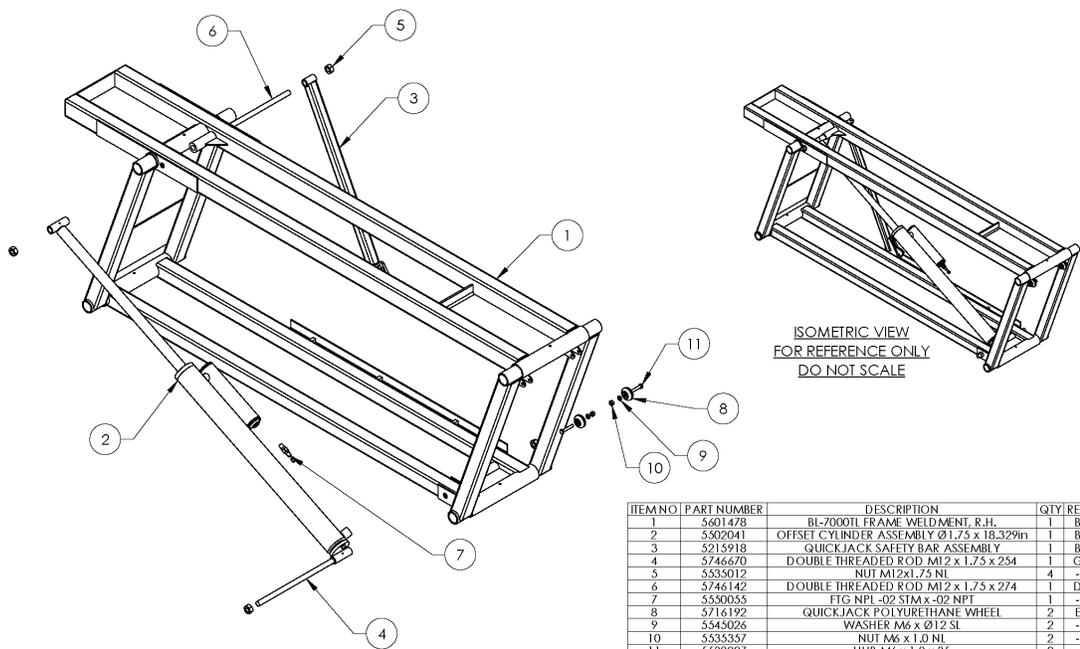
FULLY LOWERED

BP BendPak.
1645 LEMONWOOD DR.
SANTA PAULA, CA 93060

TITLE: 7000TL FRAME ASSEMBLY

SIZE	DWG. NO.	REV
A	5215919	D

SCALE: 1:15 SHEET 2 OF 2



ITEM NO	PART NUMBER	DESCRIPTION	QTY	REV
1	3601478	BL-7000TL FRAME WELDMENT, R.H.	1	B
2	5502041	OFFSET CYLINDER ASSEMBLY Ø1.75 x 18.329in	1	B
3	5215918	QUICK JACK SAFETY BAR ASSEMBLY	1	B
4	3746670	DOUBLE THREADED ROD M12 x 1.75 x 254	1	G
5	5535012	NUT M12x1.75 NL	4	-
6	3746142	DOUBLE THREADED ROD M12 x 1.75 x 274	1	D
7	5530055	FTG NPL -02 STM X -02 NPT	1	-
8	3716192	QUICK JACK POLYURETHANE WHEEL	2	E
9	5545026	WASHER M6 x Ø12 SL	2	-
10	5535357	NUT M6 x 1.0 NL	2	-
11	5530027	HHB M6 x 1.0 x 35	2	-

DO NOT SCALE DRAWING

NAME: DATE: **BP BendPak.**
1645 LEMONWOOD DR.
SANTA PAULA, CA 93060

DRAWN: TM 04/17/2020
CHECKED: OR 10/30/2020

DIMENSIONS ARE IN MM

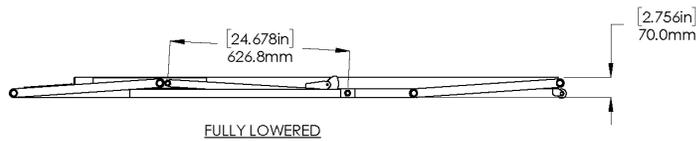
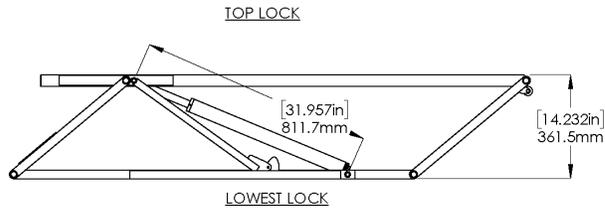
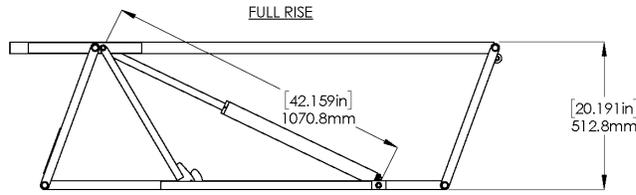
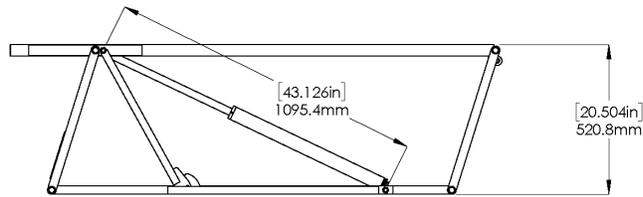
THIRD ANGLE PROJECTION

TITLE: 7000TL FRAME ASSEMBLY

SIZE	DWG. NO.	REV
A	5215921	B

SCALE: 1:10 SHEET 1 OF 2

PROPRIETARY AND CONFIDENTIAL
NO INFORMATION DISCLOSED TO THE TRADE OR
BE SOLE PROPERTY OF BENDPAK INC. ANY
REPRODUCTION IN WHOLE OR IN PART WITHOUT
THE WRITTEN PERMISSION OF BENDPAK INC. IS
PROHIBITED.

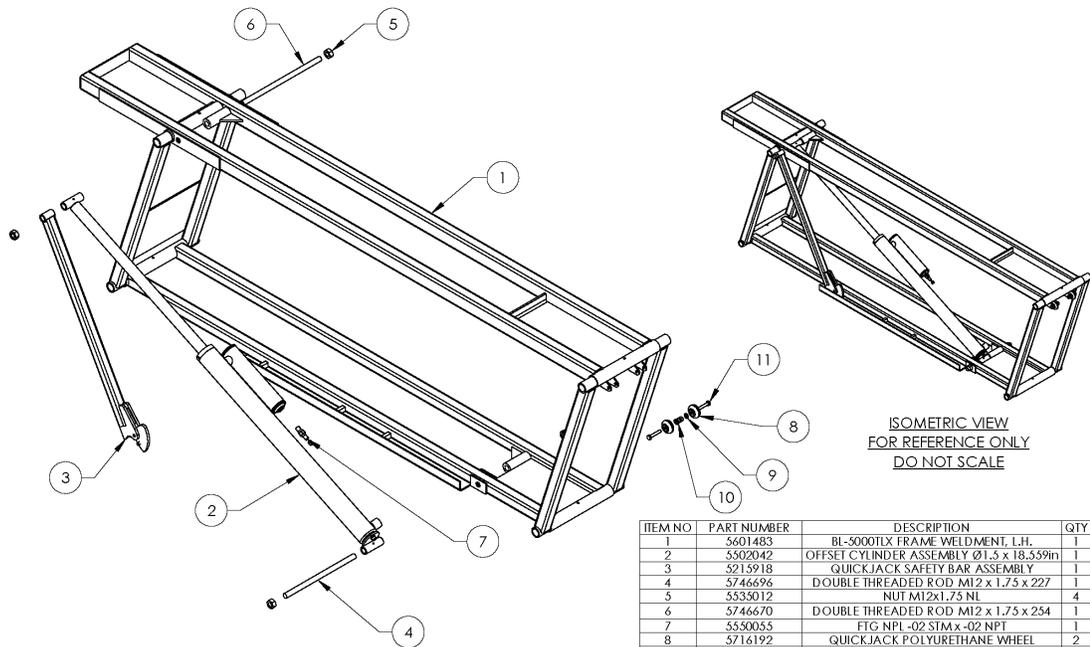


BendPak.
1645 LEMONWOOD DR.
SANTA PAULA, CA 93060

TITLE: 5000TLX FRAME ASSEMBLY

SIZE DWG. NO. REV
A 5215924 B

SCALE: 1:15 SHEET 2 OF 2



ITEM NO.	PART NUMBER	DESCRIPTION	QTY	REV
1	5601483	BL-5000TLX FRAME WELDMENT, L.H.	1	B
2	5502042	OFFSET CYLINDER ASSEMBLY Ø1.5 x 18.559in	1	B
3	5215918	QUICKJACK SAFETY BAR ASSEMBLY	1	B
4	5746696	DOUBLE THREADED ROD M12 x 1.75 x 227	1	E
5	5535012	NUT M12x1.75 NL	4	-
6	5746670	DOUBLE THREADED ROD M12 x 1.75 x 254	1	G
7	5550055	FTG NPI -02 STM x -02 NPT	1	-
8	5716192	QUICKJACK POLYURETHANE WHEEL	2	E
9	5545026	WASHER M6 x Ø12 SL	2	-
10	5535357	NUT M6 x 1.0 NL	2	-
11	5530027	HHB M6 x 1.0 x 35	2	-

DO NOT SCALE DRAWING

NAME: DATE: **BendPak.**
1645 LEMONWOOD DR.
SANTA PAULA, CA 93060

DRAWN: TM 04/03/2020
CHECKED: OR 10/30/2020

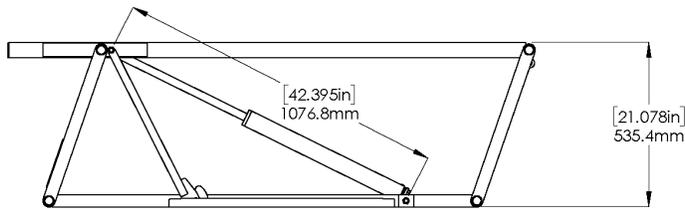
THIRD ANGLE PROJECTION

TITLE: 5000TLX FRAME ASSEMBLY

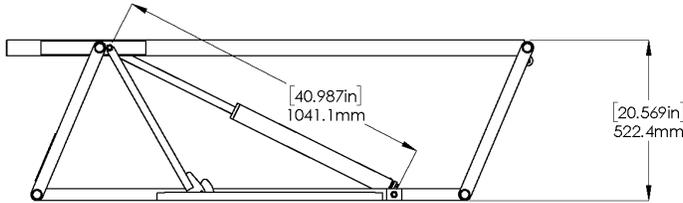
SIZE DWG. NO. REV
A 5215924 B

SCALE: 1:10 SHEET 1 OF 2

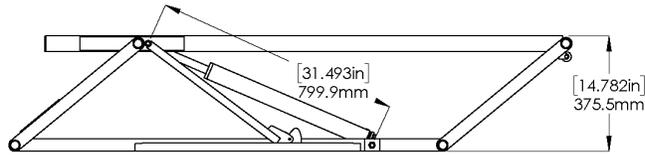
PROPRIETARY AND CONFIDENTIAL
THE INFORMATION CONTAINED HEREIN IS THE SOLE PROPERTY OF BENDPAK, INC. ANY REPRODUCTION IN PART OR AS A WHOLE WITHOUT THE WRITTEN PERMISSION OF BENDPAK, INC. IS PROHIBITED.



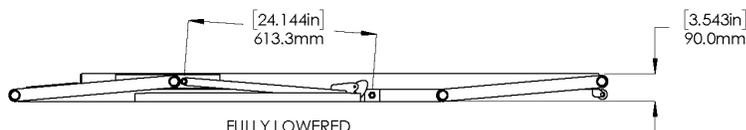
FULL RISE



TOP LOCK

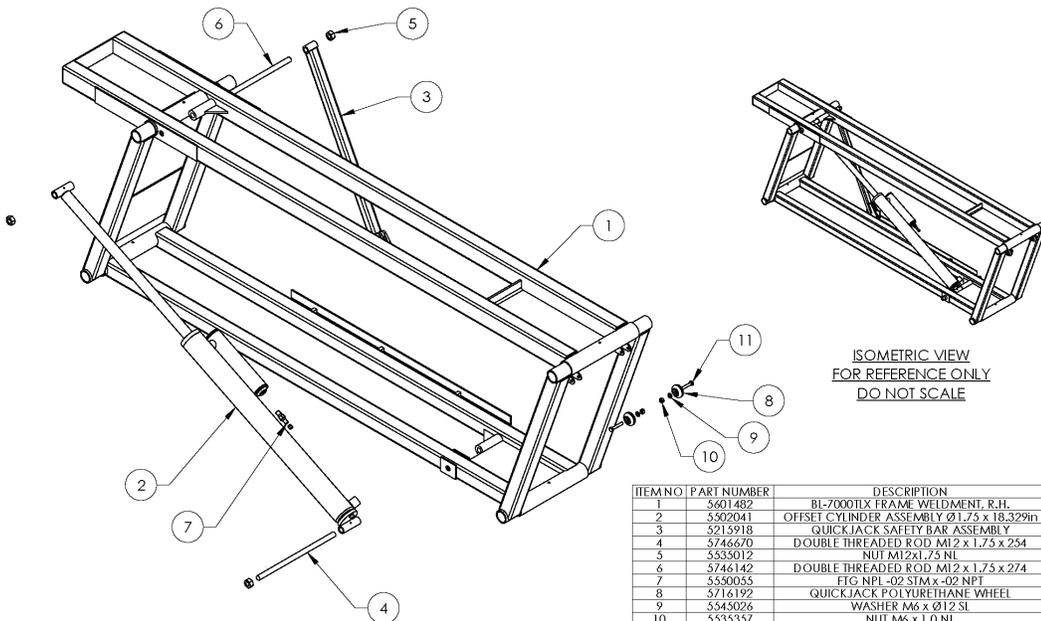


LOWEST LOCK



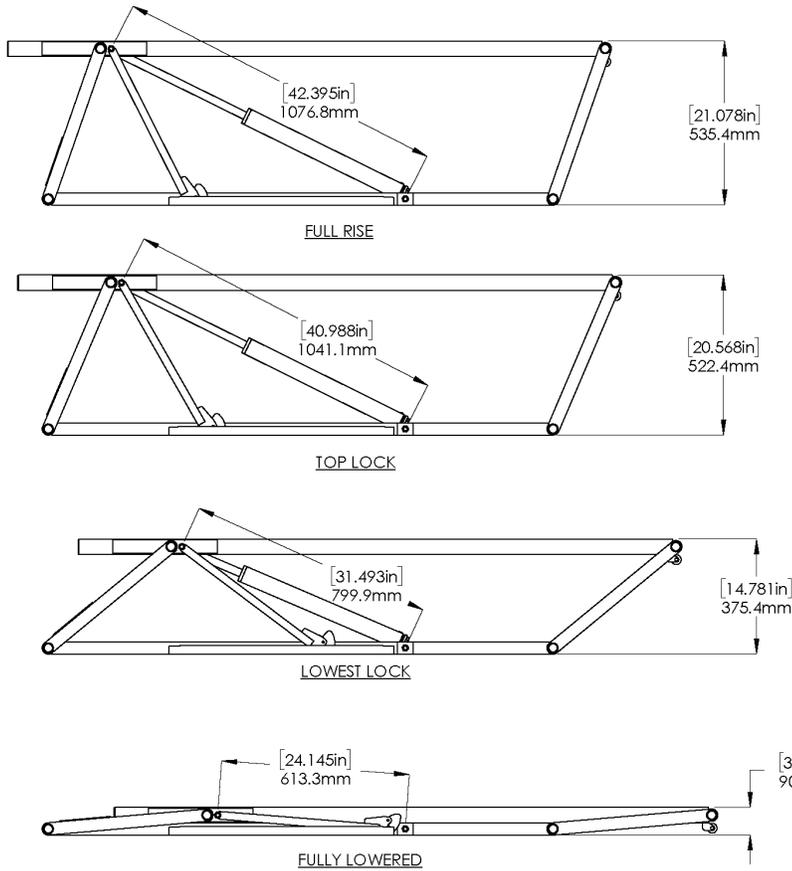
FULLY LOWERED

BendPak		
1645 LEMONWOOD DR. SANTA PAULA, CA 93060		
TITLE: 7000TLX FRAME ASSEMBLY		
SIZE	DWG. NO.	REV
A	5215923	D
SCALE: 1:15		SHEET 2 OF 2



ITEM NO	PART NUMBER	DESCRIPTION	QTY	REV
1	5601482	BL-7000TLX FRAME WELDMENT, R.H.	1	B
2	5502041	OFFSET CYLINDER ASSEMBLY Ø1.75 x 18.329in	1	B
3	5215918	QUICK JACK SAFETY BAR ASSEMBLY	1	B
4	5746670	DOUBLE THREADED ROD M12 x 1.75 x 254	1	G
5	5535012	NUT M12x1.75 NL	4	-
6	5746142	DOUBLE THREADED ROD M12 x 1.75 x 274	1	D
7	5530055	FTG NPL-02 STMx-02 NPT	1	-
8	5716192	QUICK JACK POLYURETHANE WHEEL	2	E
9	5545026	WASHER M6 x Ø12 SL	2	-
10	5535357	NUT M6 x 1.0 NL	2	-
11	5530027	HHB M6 x 1.0 x 35	2	-

DO NOT SCALE DRAWING	NAME	DATE	BendPak	
	DRAWN	TM	1645 LEMONWOOD DR. SANTA PAULA, CA 93060	
	CHECKED	OR	TITLE: 7000TLX FRAME ASSEMBLY	
DIVISIONS ARE IN MM	THIRD ANGLE PROJECTION		SIZE	REV
			A	B
<small>PROPRIETARY AND CONFIDENTIAL THIS INFORMATION CONTAINED HEREIN IS THE SOLE PROPERTY OF BENDPAK INC. AND IS NOT TO BE DISCLOSED OR REPRODUCED IN ANY MANNER WITHOUT THE WRITTEN PERMISSION OF BENDPAK INC. © 2020</small>			SCALE: 1:10 SHEET 1 OF 2	

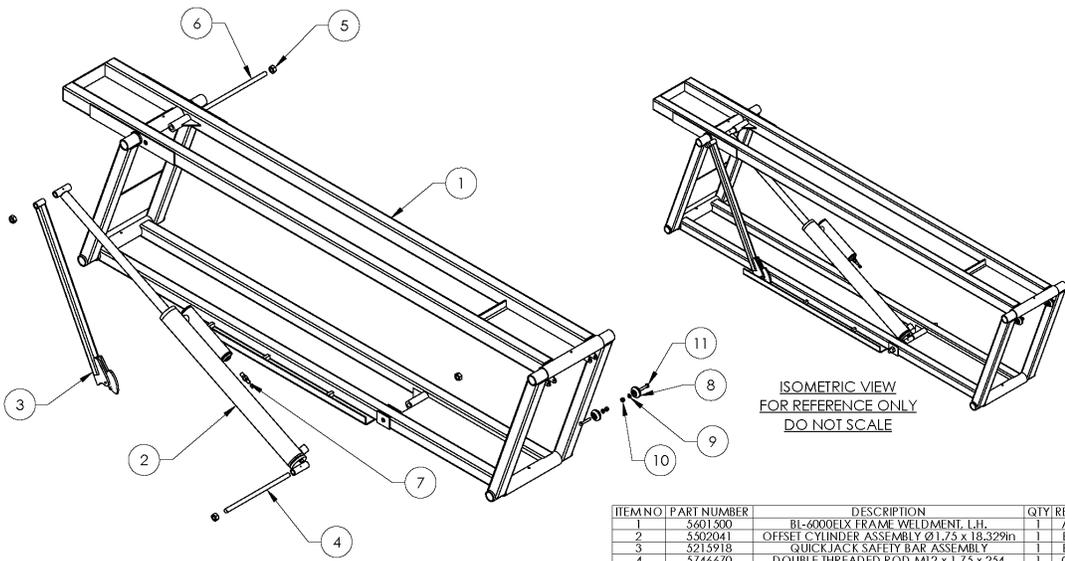


EP BendPak.
 1645 LEMONWOOD DR.
 SANTA PAULA, CA 93060

TITLE: 6000ELX FRAME ASSEMBLY

SEE DWG. NO.	REV
A 5215937	D

SCALE: 1:15 SHEET 2 OF 2



ITEM NO.	PART NUMBER	DESCRIPTION	QTY	REV
1	5601300	BL-6000ELX FRAME WELDMENT, L.H.	1	A
2	5302041	OFFSET CYLINDER ASSEMBLY Ø1.75 x 18.329in	1	B
3	5215918	QUICKJACK SAFETY BAR ASSEMBLY	1	B
4	5746670	DOUBLE THREADED ROD, M12 x 1.75 x 254	1	G
5	5335012	NUT M12x1.75 NL	4	-
6	5746142	DOUBLE THREADED ROD, M12 x 1.75 x 274	1	D
7	5530055	FTG NPT -02 STM x -02 NPT	1	-
8	5716192	QUICKJACK POLYURETHANE WHEEL	2	E
9	5545026	WASHER M6 x Ø12 SL	2	-
10	5335357	NUT M6 x 1.0 NL	2	-
11	5330027	HHB M6 x 1.0 x 35	2	-

DO NOT SCALE DRAWING

NAME	DATE
TM	05/28/2020
OR	10/30/2020

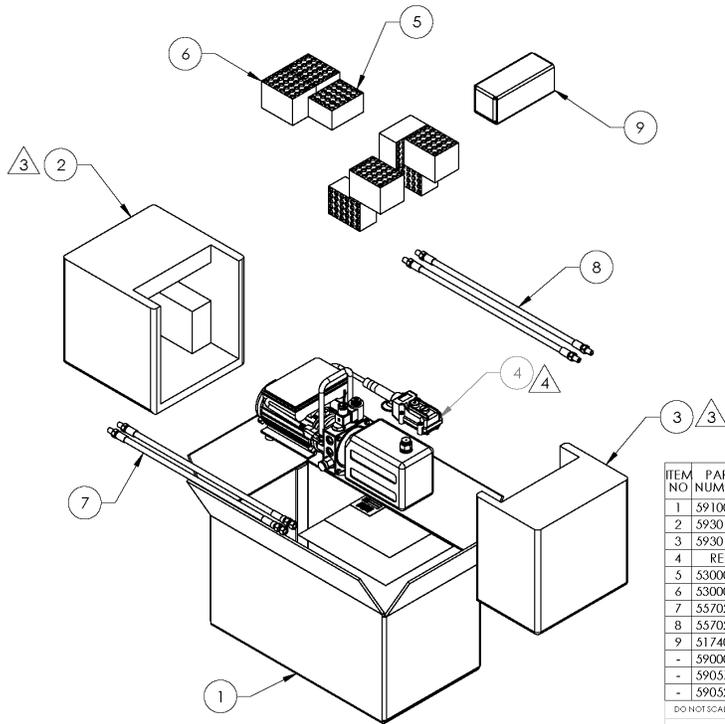
EP BendPak.
 1645 LEMONWOOD DR.
 SANTA PAULA, CA 93060

TITLE: 6000ELX FRAME ASSEMBLY

SIZE DWG. NO.	REV
A 5215937	B

SCALE: 1:12 SHEET 1 OF 2

PROPRIETARY AND CONFIDENTIAL
 THE INFORMATION CONTAINED IN THIS DRAWING IS THE SOLE PROPERTY OF BENDPAK INC. AND IS NOT TO BE REPRODUCED OR TRANSMITTED IN ANY FORM OR BY ANY MEANS WITHOUT THE WRITTEN PERMISSION OF BENDPAK INC. © 2020



ITEM NO	PART NUMBER	DESCRIPTION	QTY	REV
1	5910038	QUICKJACK SLX/TLX/ELX PRINTED BOX 3 ENG-FRE	1	A
2	5930171	QUICKJACK POWER UNIT BOX STYROFOAM PACKAGING, MOTOR	1	--
3	5930169	QUICKJACK POWER UNIT BOX STYROFOAM PACKAGING, TANK	1	--
4	REF	QUICKJACK POWER UNIT AC-110	1	--
5	5300014	55mm DIMPLED RUBBER PAD	4	A
6	5300016	75mm DIMPLED RUBBER PAD	4	A
7	5570233	HOSE ASSEMBLY Ø6.4 x 1005mm	2	B
8	5570216	HOSE ASSEMBLY Ø6.4 x 3734mm DS MALE	2	B
9	5174043	QUICKJACK PARTS BAG	1	B
-	5900088	DO NOT RETURN SHEET	1	-
-	5905756	DO NOT RETURN LABEL	1	-
-	5905250	QUICKJACK BOX 3 UPC-LOT NUMBER PACKAGING LABEL	1	-

DO NOT SCALE DRAWING

DRAWN	CA	12/21/2020
CHECKED		

DIMENSIONS ARE IN MM

THIRD ANGLE PROJECTION

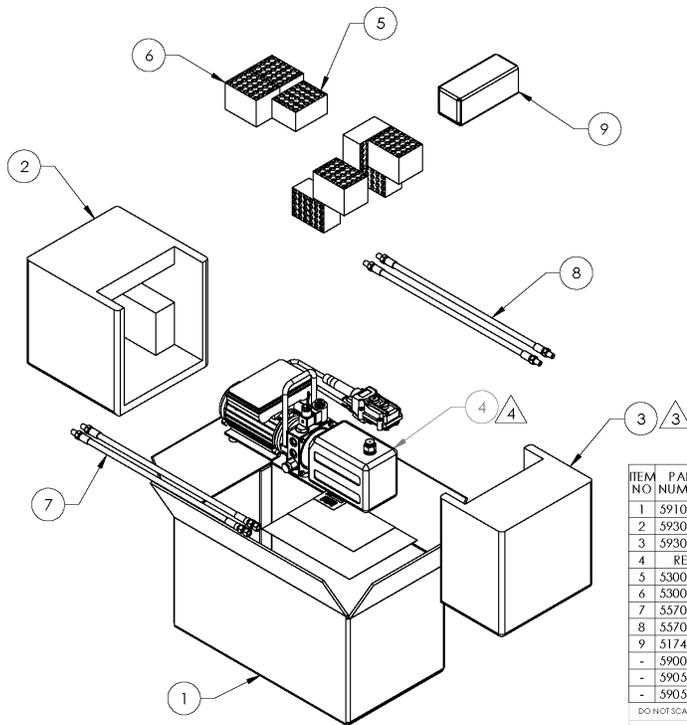
PROPRIETARY AND CONFIDENTIAL
THE INFORMATION CONTAINED IN THIS DRAWING IS THE SOLE PROPERTY OF BENDPAK INC. ANY REPRODUCTION IN PART OR AS A WHOLE WITHOUT THE WRITTEN PERMISSION OF BENDPAK INC. IS PROHIBITED.

BendPak
1645 LEMONWOOD DR.
SANTA PAULA, CA 93060

TITLE: QUICKJACK
SLX/TLX/ELX BOX 3 OF 3
EN-FR: 110V AC

SEE DWG. NO. A 5174064 REV C

SCALE: 1:10 SHEET 1 OF 1



ITEM NO	PART NUMBER	DESCRIPTION	QTY	REV
1	5910038	QUICKJACK SLX/TLX/ELX PRINTED BOX 3 ENG-FRE	1	A
2	5930171	QUICKJACK POWER UNIT BOX STYROFOAM PACKAGING, MOTOR	1	--
3	5930169	QUICKJACK POWER UNIT BOX STYROFOAM PACKAGING, TANK	1	--
4	REF	QUICKJACK POWER UNIT 208-240V AC	1	--
5	5300014	55mm DIMPLED RUBBER PAD	4	A
6	5300016	75mm DIMPLED RUBBER PAD	4	A
7	5570233	HOSE ASSEMBLY Ø6.4 x 1005mm	2	B
8	5570216	HOSE ASSEMBLY Ø6.4 x 3734mm DS MALE	2	B
9	5174043	QUICKJACK PARTS BAG	1	B
-	5900088	DO NOT RETURN SHEET	1	-
-	5905756	DO NOT RETURN LABEL	1	-
-	5905250	QUICKJACK BOX 3 UPC-LOT NUMBER PACKAGING LABEL	1	-

DO NOT SCALE DRAWING

DRAWN	CA	12/21/2020
CHECKED		

DIMENSIONS ARE IN MM

THIRD ANGLE PROJECTION

PROPRIETARY AND CONFIDENTIAL
THE INFORMATION CONTAINED IN THIS DRAWING IS THE SOLE PROPERTY OF BENDPAK INC. ANY REPRODUCTION IN PART OR AS A WHOLE WITHOUT THE WRITTEN PERMISSION OF BENDPAK INC. IS PROHIBITED.

BendPak
1645 LEMONWOOD DR.
SANTA PAULA, CA 93060

TITLE: QUICKJACK
SLX/TLX/ELX BOX 3 OF 3
EN-FR: 220V AC

SEE DWG. NO. A 5174065 REV C

SCALE: 1:10 SHEET 1 OF 1

オートモーティブ・リフト・インスティテュート (ALI) ストア

直近のリフト装置ご購入に先だって、多分 **ALI** の認定リフト装置要覧 (www.autolift.org/ali-directory-of-certified-lifts/) をご覧になっていることと思いますが、**ALI** ストア (www.autolift.org/ali-store/) では、あなたの整備工場を安全な職場にする、プロ用の、使いやすい、妥当な価格のトレーニングと安全に関する資料が豊富に提供されていることをご存知ですか？

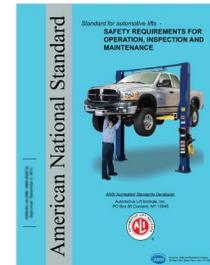
ALI ストアは職場の安全性に関して信頼いただける情報源です。



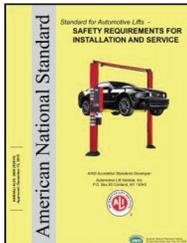
Lifting It Right Online Certificate Course. Make *sure* you and your people are lifting vehicles the right way.



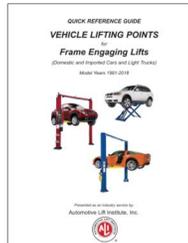
ALI Lift Inspector Certification Program Registration. Become a **ALI Certified Lift Inspector**.



ANSI/ALI ALOIM Standard for Automotive Lifts. Safety Requirements for Operation, Inspection, and Maintenance.



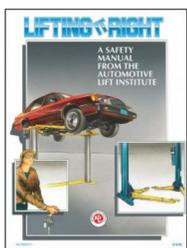
ANSI/ALI ALIS Standard. Safety Requirements for Installation and Service.



Guide to Identifying Vehicle Lifting Points for Frame-Engaging Lifts. Don't eyeball your lifting points, *know* where they are.



Lift Operator Safety Materials. Five safety documents in a single package.



Lifting It Right. A hardcopy version of the *Lifting It Right* safety manual from the Automotive Lift Institute.



Uniform Warning Labels and Placards for 2-Posts. Labels in Mandarin, French Canadian, and Spanish are also available.



Safety Tips Card. Reminds your people of 13 key safety tips to follow daily.

今日にでも次の **URL** にアクセスして、安全に作業するためにあなたが必要とするトレーニングおよび資料を入手してください：<http://www.autolift.org/ali-store/>



1645 Lemonwood Drive
Santa Paula, CA 93060 USA